

米原市民意識調査

【調査報告書】

令和5年7月

米 原 市

【目次】

I	調査概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の設計	2
3.	調査の項目	2
4.	アンケート回収結果	3
5.	報告書の見方	4
II	調査結果	5
	あなたご自身のことについて	6
	まちづくり全般について	13
	市のまちづくりについて	14
1.	健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくりについて	26
2.	ともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくりについて	33
3.	水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくりについて	41
4.	地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくりについて	51
5.	心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくりについて	52
6.	まちづくりを進めるための基盤について	58
	人口減少対策について	68
	新型コロナウイルス感染症対策について	76
	自由意見記述の割合	79
III	資料編（調査票）	80

I 調査概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

米原市のまちづくりや都市経営などについて市民の意見を伺い、市民の市政に対する評価、これからのまちづくりに対するニーズや意識を把握し、今後の市政運営に当たっての基礎資料とするためアンケート調査を実施しました。

2. 調査の設計

(1) 調査区域：米原市全域

(2) 調査対象：市内に住所を有する 18 歳以上の男女 2,000 人

(3) 抽出方法：令和 5 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法：郵送またはインターネット

※回収率向上の取組として、調査票送付から 2 週間後に案内ハガキを送付

(5) 回答期間：令和 5 年 4 月 10 日（月）から 5 月 8 日（月）まで

3. 調査の項目

(1) 回答者自身の属性（性別、年代、職業、小学校区、家族構成、居住歴、居留意向）

(2) まちづくり全般について（1 問）

(3) 市のまちづくりについて（1 問：34 施策）

(4) 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくりについて（3 問）

(5) とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくりについて（5 問）

(6) 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくりについて（8 問）

(7) 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくりについて（1 問）

(8) 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくりについて（2 問）

(9) まちづくりを進めるための基盤について（6 問）

(10) 人口減少対策について（1 問：4 取組）

(11) 新型コロナウイルス感染症対策について（2 問）

(12) 自由記述

4. アンケート回収結果

回収数／回収率 1,140 票／57.0%

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
全体	2,000	1,140	896	(78.6%)	244	(21.4%)	57.0%

【性別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
男性	1011	529	392	(74.1%)	137	(25.9%)	52.3%
女性	989	605	499	(82.5%)	106	(17.5%)	61.2%
その他	－	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	－
不明・無回答	－	6	5	(83.3%)	1	(16.7%)	－
合計	2,000	1,140	896	(78.6%)	244	(21.4%)	57.0%

【年代別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
10歳代	40	17	11	(64.7%)	6	(35.3%)	42.5%
20歳代	180	66	36	(54.5%)	30	(45.5%)	36.7%
30歳代	245	106	69	(65.1%)	37	(34.9%)	43.3%
40歳代	338	148	97	(65.5%)	51	(34.5%)	43.8%
50歳代	341	187	124	(66.3%)	63	(33.7%)	54.8%
60歳代	385	272	225	(82.7%)	47	(17.3%)	70.6%
70歳代	341	247	238	(96.4%)	9	(3.6%)	72.4%
80歳以上	130	93	92	(98.9%)	1	(1.1%)	71.5%
不明・無回答	－	4	4	(100.0%)	0	(0.0%)	－
合計	2,000	1,140	896	(78.6%)	244	(21.4%)	57.0%

【居住地域別】

	標本数	回収数					回収率
		全体	郵便(割合)		インターネット(割合)		
山東地域	604	351	289	(82.3%)	62	(17.7%)	58.1%
伊吹地域	264	160	128	(80.0%)	32	(20.0%)	60.6%
米原地域	593	339	268	(79.1%)	71	(20.9%)	57.2%
近江地域	539	282	205	(72.7%)	77	(27.3%)	52.3%
不明・無回答	－	8	6	(75.0%)	2	(25.0%)	－
合計	2,000	1,140	896	(78.6%)	244	(21.4%)	57.0%

※（ ）内は構成比を表しています。

5. 報告書の見方

- 集計に当たっては、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の文章、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100%を超える場合があります。
- グラフまたは図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていないもの、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフの N 数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが煩雑になる場合は省略しています。
- 本文中の「ポイント」とは、「%」の差を表しています。

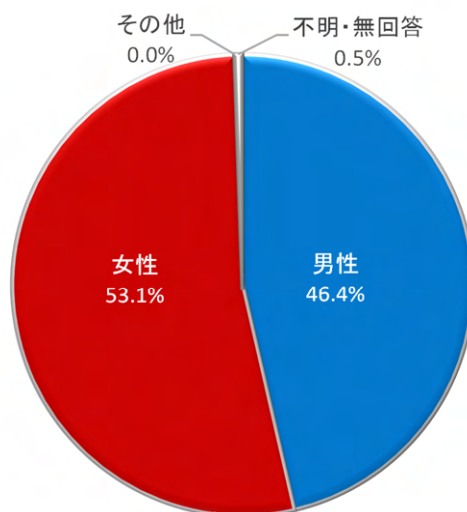
Ⅱ 調査結果

あなたご自身のことについて、お伺いします。

問 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

回答者の性別は、「男性」が46.4%、「女性」が53.1%となっています。

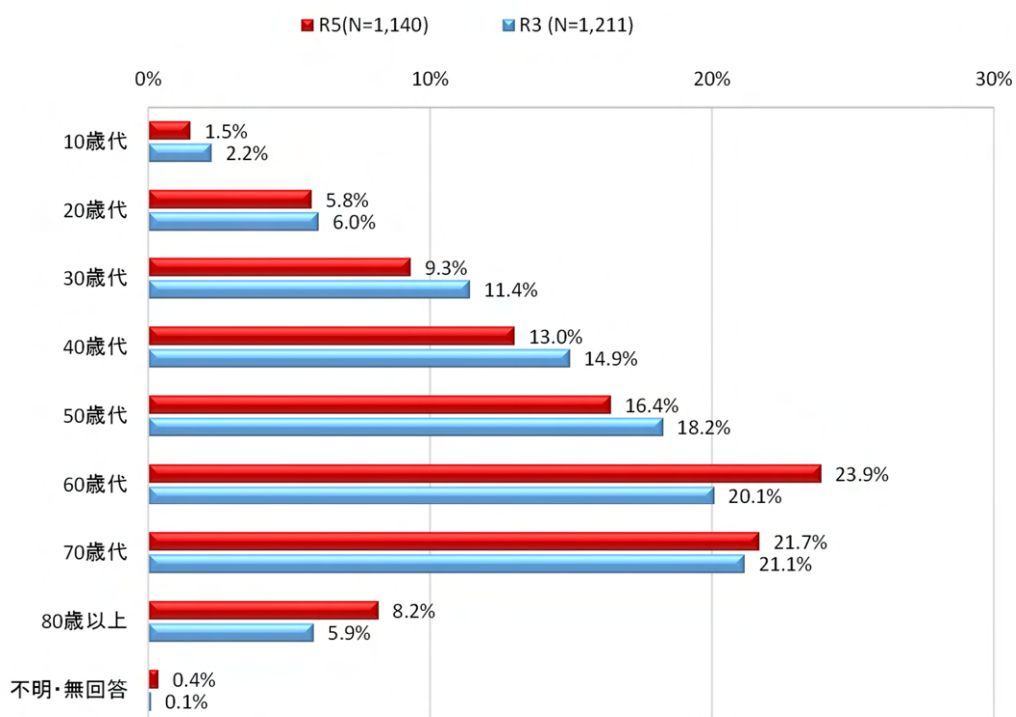
(N=1,140)



※性別の「その他」回答者がいなかったため、これ以降の考察やグラフについては表示しません。

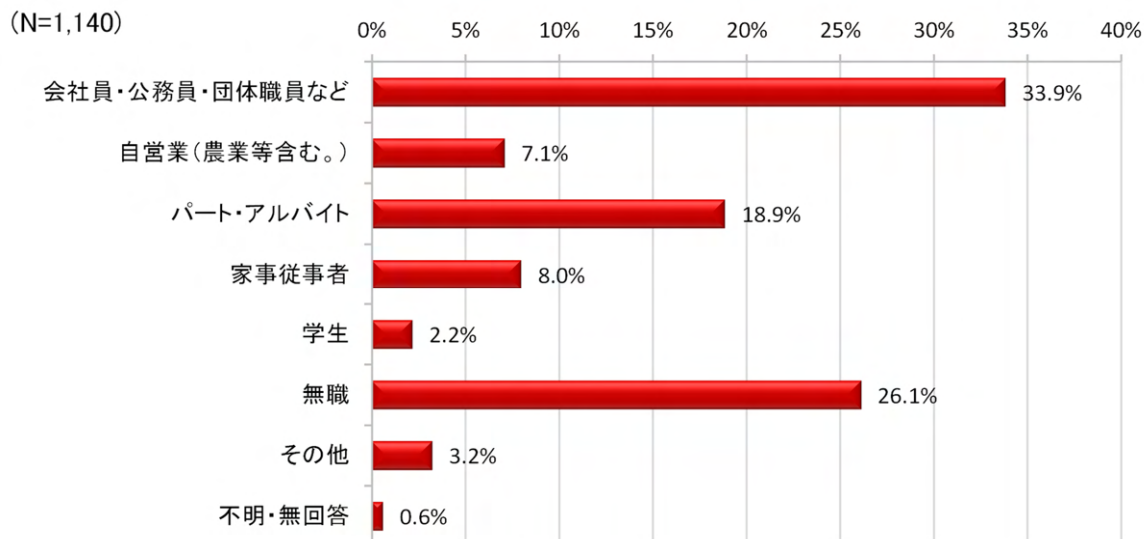
問 2 あなたの年齢は満でおいくつですか。(1つ)

回答者の年代は、「60歳代」が23.9%と最も高く、次いで「70歳代」が21.7%となっています。前回調査（令和3年度）と同様に、年齢が上がるにつれて回答率が高くなる傾向が伺えます。



問3 あなたのご職業は何ですか。(1つ)

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員など」が33.9%と最も高く、次いで「無職」が26.1%となっています。

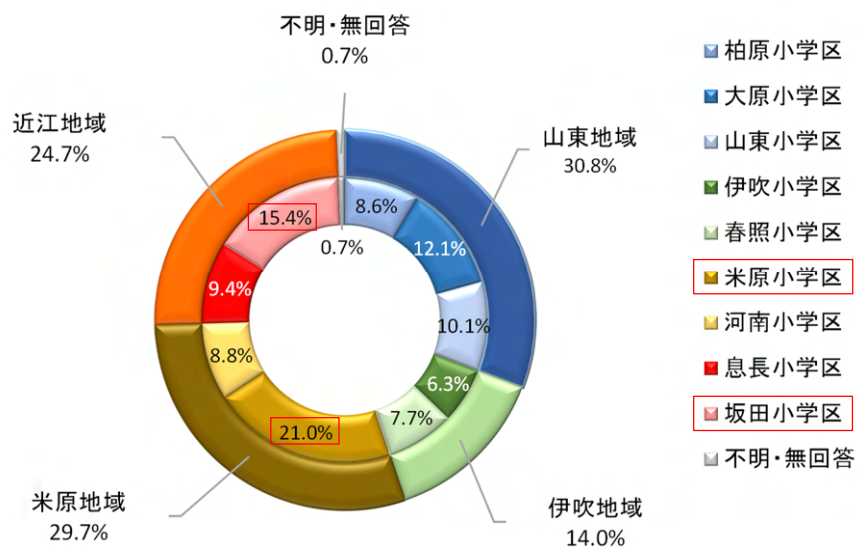


問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つ)

回答者の居住地は、「米原小学区」が21.0%と最も高く、次いで「坂田小学区」が15.4%となっています。

地域別では、「山東地域」「米原地域」「近江地域」「伊吹地域」の順で高くなっています。

(N=1,140)



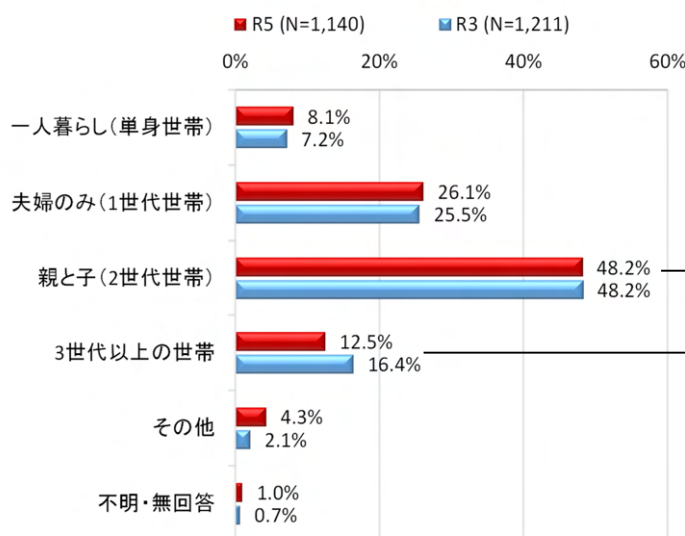
問5 あなたのご家族の構成はどれですか。また、「3.親と子(2世代世帯)」、「4.3世代以上の世帯」と答えられた方は15歳以下の子どもが「いる」、「いない」についてもお答えください。(1つ)

家族構成については、「親と子(2世代世帯)」が48.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ(1世代世帯)」が26.1%、「3世代以上の世帯」が12.5%となっており、前回調査とほぼ同様の傾向が伺えます。

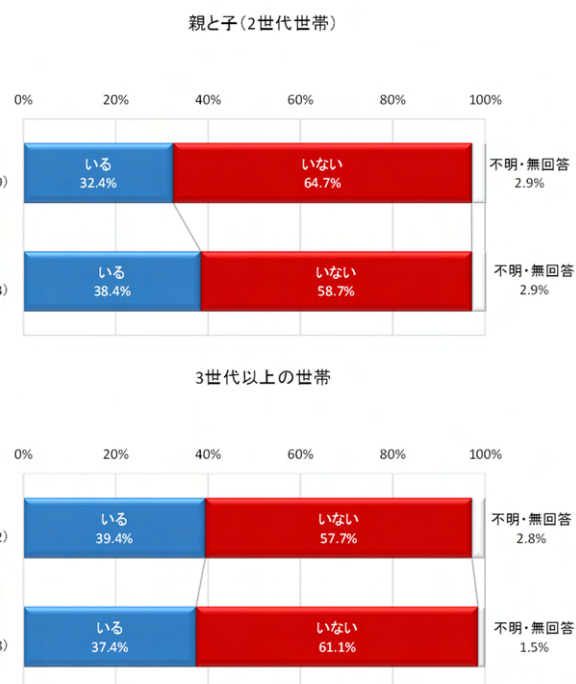
家族構成で「親と子(2世代世帯)」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が64.7%となっています。また、「3世代以上の世帯」と答えた方のうち、15歳以下の子どもについては「いない」が57.7%となっています。

前回調査と比較すると、「いない」と答えた方のうち「親と子(2世代世帯)」では6.0ポイント高く、「3世代以上の世帯」では3.4ポイント低くなっています。

■家族構成



■15歳以下の子どもの有無

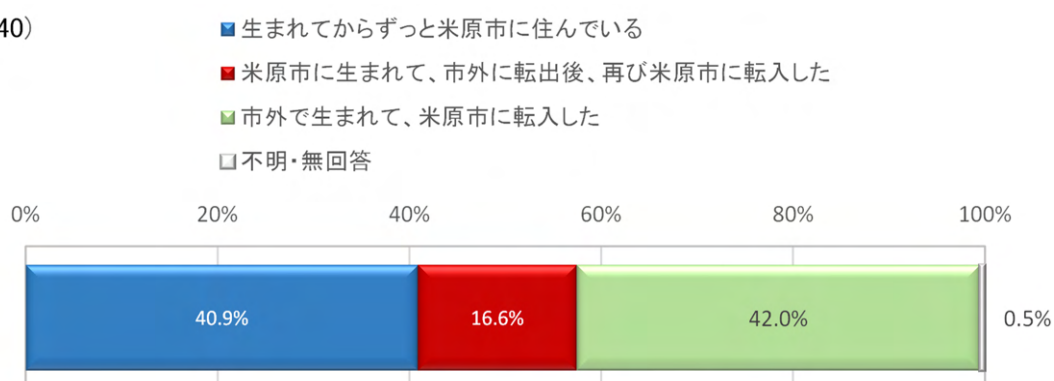


問 6 あなたは、いつから米原市にお住まいですか。(1つ)

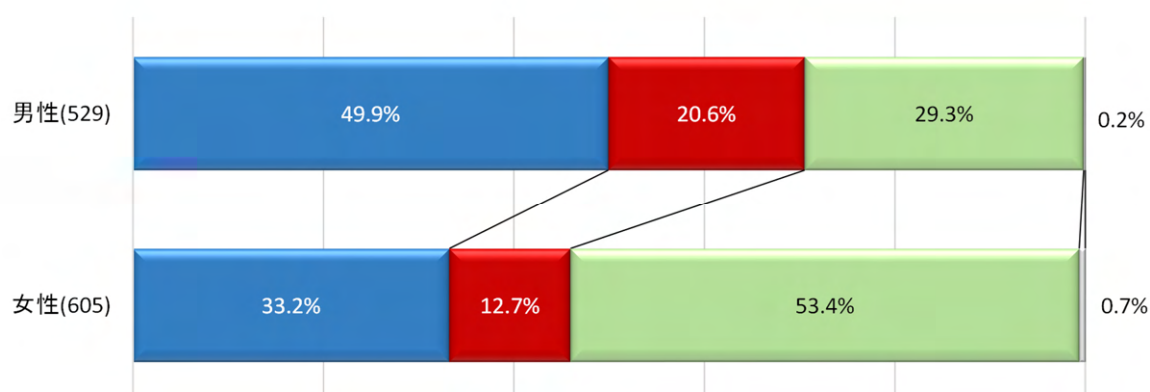
いつから米原市に住んでいるかについて見ると、「市外で生まれて、米原市に転入した」が42.0%と最も高く、次いで「生まれてからずっと米原市に住んでいる」が40.9%となっています。

性別に見ると、男性は「生まれてからずっと米原市に住んでいる」、女性は「市外で生まれて、米原市に転入した」が最も高くなっています。

(N=1,140)



【性別】



問 7 あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか。(1つ)

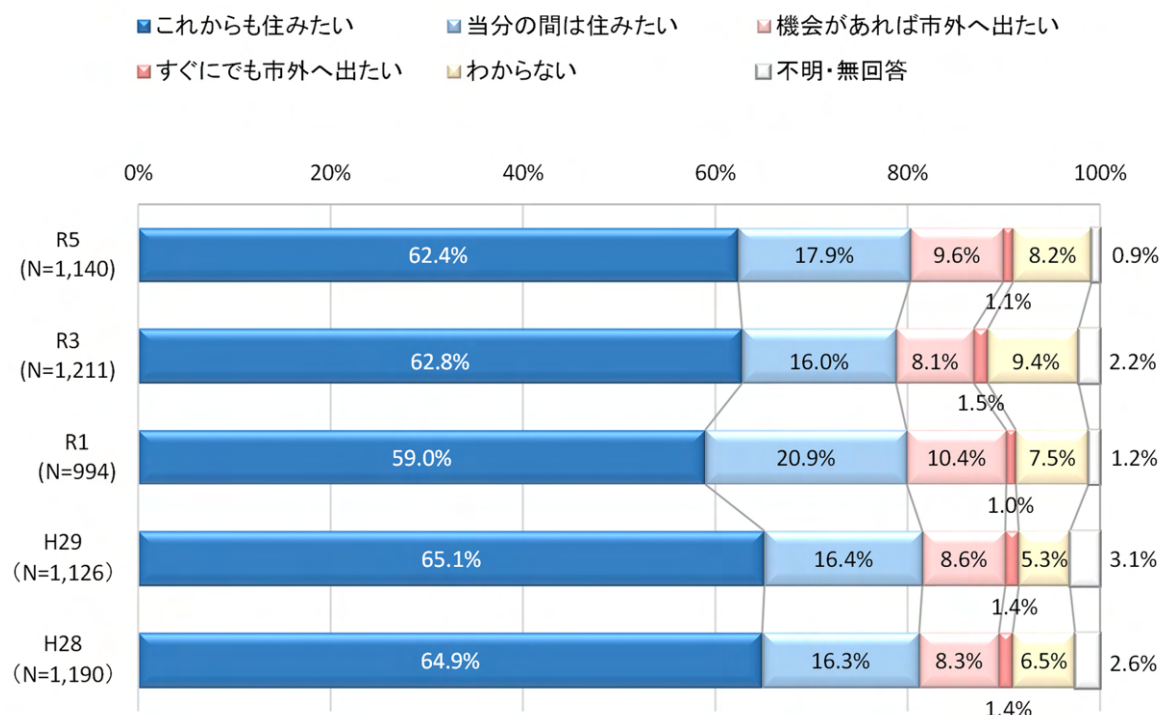
これからも米原市に住みたいと思いますかの設問については、「これからも住みたい」が62.4%と最も高く、次いで「当分の間は住みたい」の17.9%となっており、合わせて約8割の市民が米原市への定住を希望しています。

経年変化を見ると、「これからも住みたい」が前回調査より0.4ポイント低くなっています。

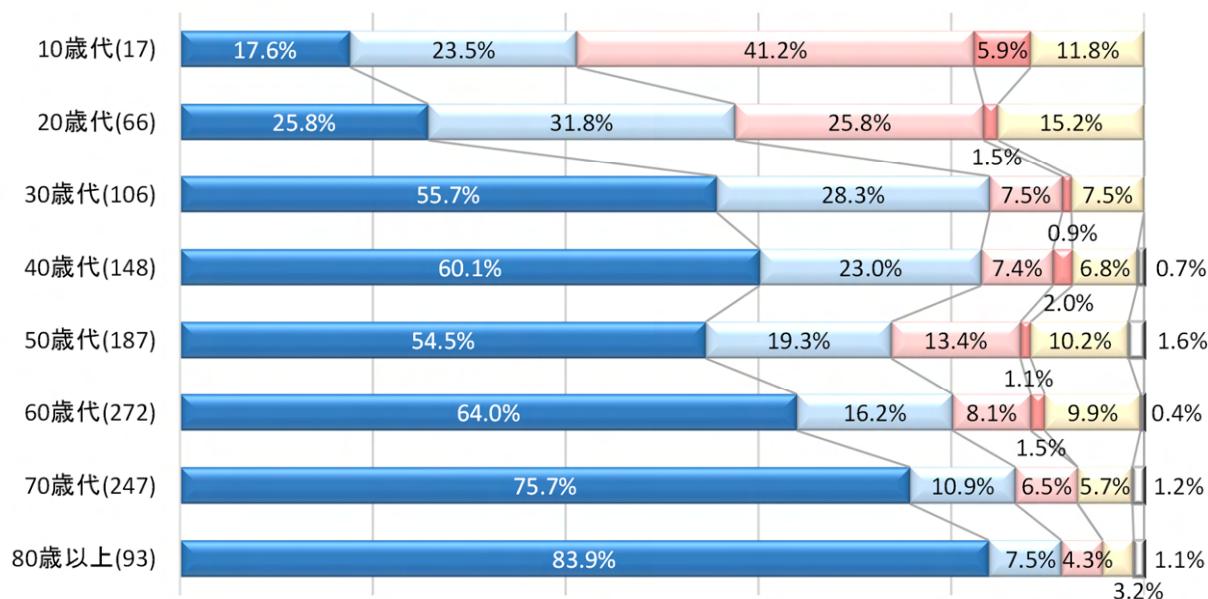
また、「機会があれば市外へ出たい」と「すぐにでも市外へ出たい」を合わせた『市外へ出たい』は、1割前後で推移しています。

年代別を見ると、「これからも住みたい」では年齢が上がるにつれて高くなる傾向が伺えます。

また、『市外へ出たい』では10歳代が47.1%と最も高くなっています。



【年代別】

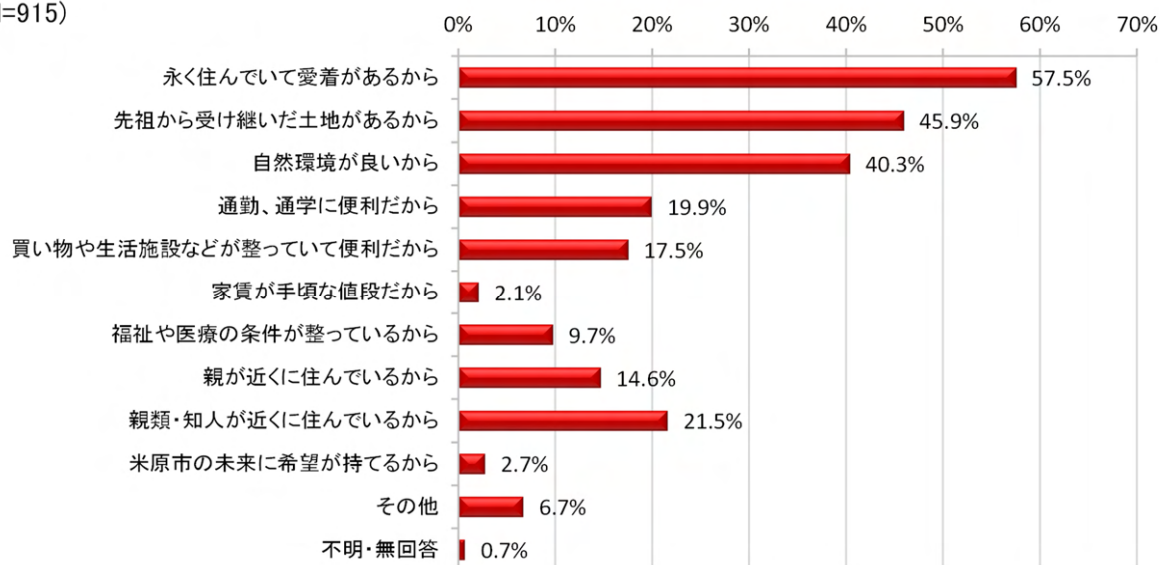


付問 1 【問 7 で「これからも住みたい」、「当分の間は住みたい」と答えられた方】
今後も住みたい理由は何ですか。(4 つまで)

「これからも住みたい」または「当分の間は住みたい」と答えられた方の理由について見ると、「永く住んでいて愛着があるから」が 57.5%と最も高く、次いで「先祖から受け継いだ土地があるから」が 45.9%、「自然環境が良いから」が 40.3%となっています。

また、「その他」の具体的な理由としては、「家を建てたから」「交通の便が良いから」などが挙げられています。

(N=915)

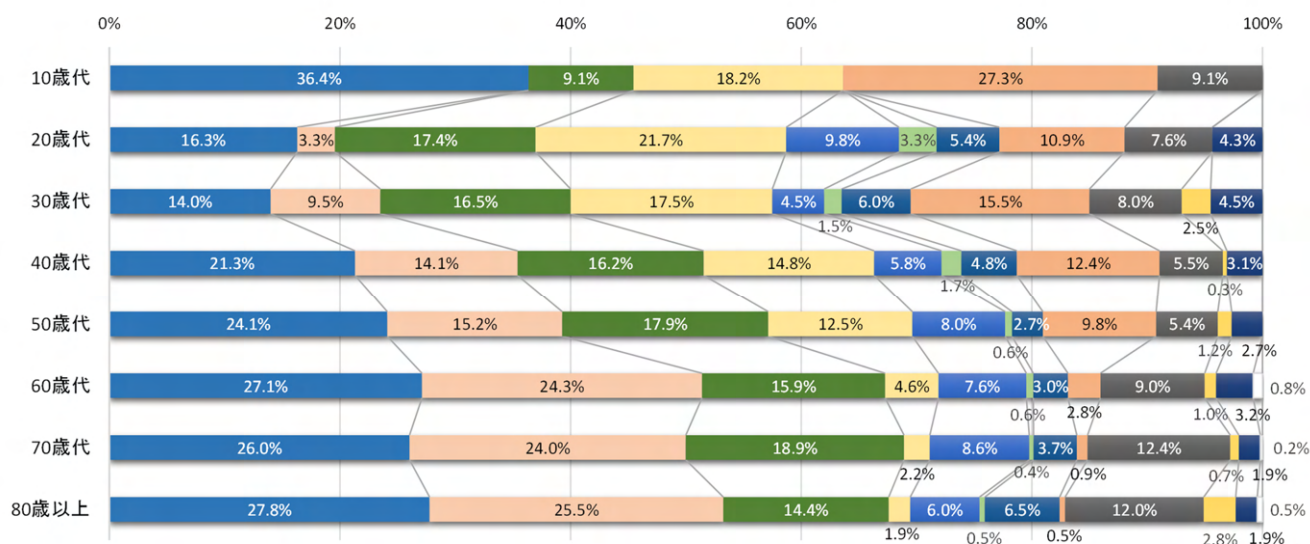


年代別に見ると、「永く住んでいて愛着があるから」、「先祖から受け継いだ土地があるから」は年代が上がるにつれて高くなる傾向が見られます。

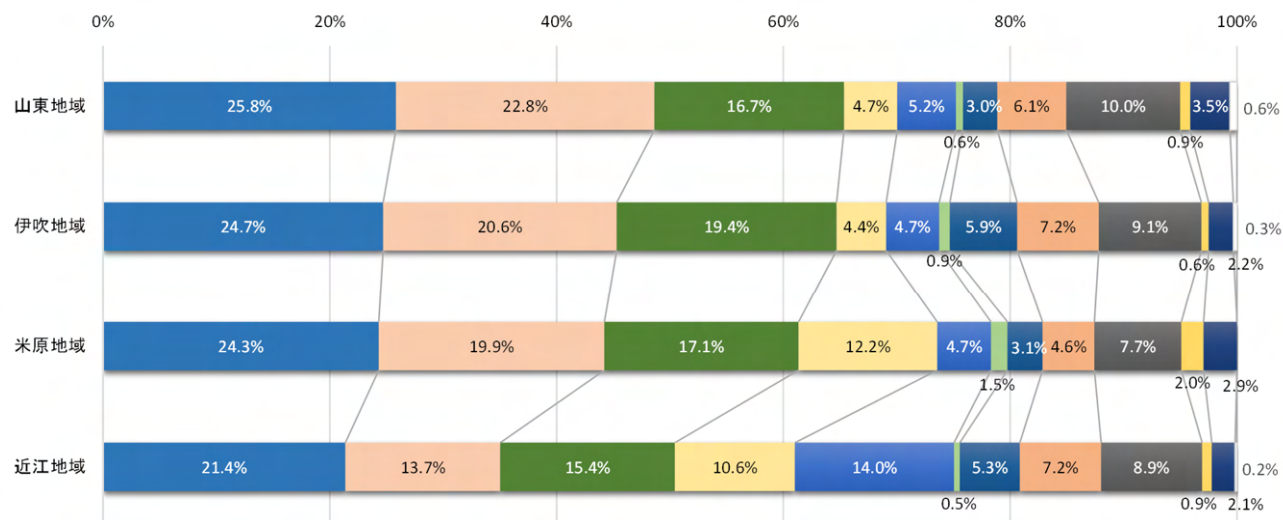
地域別に見ると、「自然環境が良いから」では伊吹地域が、「通勤、通学に便利だから」では米原地域が、「買い物や生活施設などが整っていて便利だから」では近江地域が、「親類・知人が近くに住んでいるから」では山東地域がそれぞれ高くなっています。

- 永く住んでいて愛着があるから
- 先祖から受け継いだ土地があるから
- 自然環境が良いから
- 通勤、通学に便利だから
- 買い物や生活施設などが整っていて便利だから
- 家賃が手頃な値段だから
- 福祉や医療の条件が整っているから
- 親が近くに住んでいるから
- 親類・知人が近くに住んでいるから
- 米原市の未来に希望が持てるから
- その他
- 不明・無回答

【年代別】



【地域別】



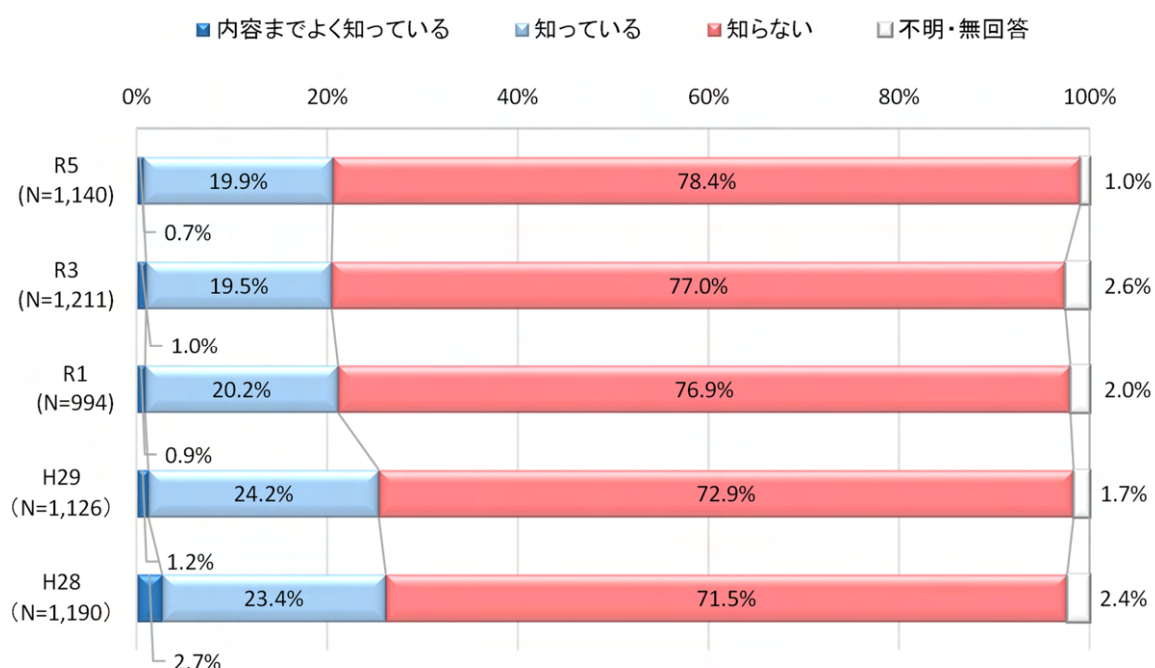
まちづくり全般について、お伺いします。

問 8 あなたは、市のまちづくりの基本ルールである「米原市自治基本条例」をご存じですか。(1 つ)

「米原市自治基本条例」の認知度については、「内容までよく知っている」と「知っている」を合わせると 20.6%となっており、前回調査より 0.1 ポイント高くなっています。

経年変化を見ると、徐々に「知らない」の割合が高くなっている傾向が続いており、引き続き啓発が必要です。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて「米原市自治基本条例」の認知度が高くなる傾向が伺えます。



【年代別】

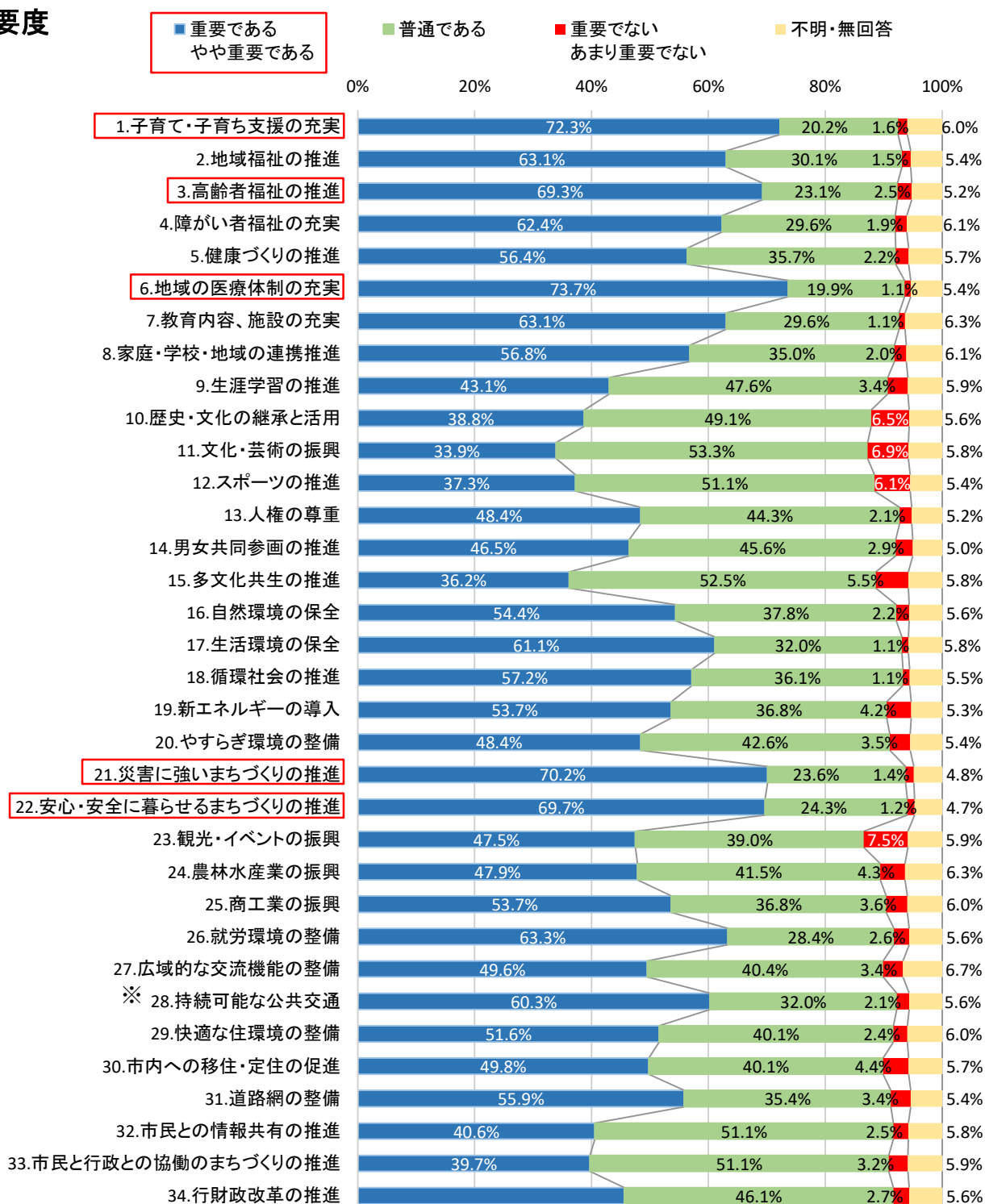


問9 市では、次に示す34項目の施策に取り組んでいます。

あなたは、次の各項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたの考えに一番近い番号を「1～5」の中からそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージでお答えください。（満足度と重要度にそれぞれ1つ）

重要度の上位にランクされた項目については、「6. 地域の医療体制」が73.7%と最も高く、次いで「1. 子育て・子育て支援」「21. 災害に強いまちづくり」「22. 安心・安全に暮らせるまちづくり」「3. 高齢者福祉」となっています。前回調査と同じ項目に重要度が高いと認識されていることから、今後も継続して取組を進める必要があります。

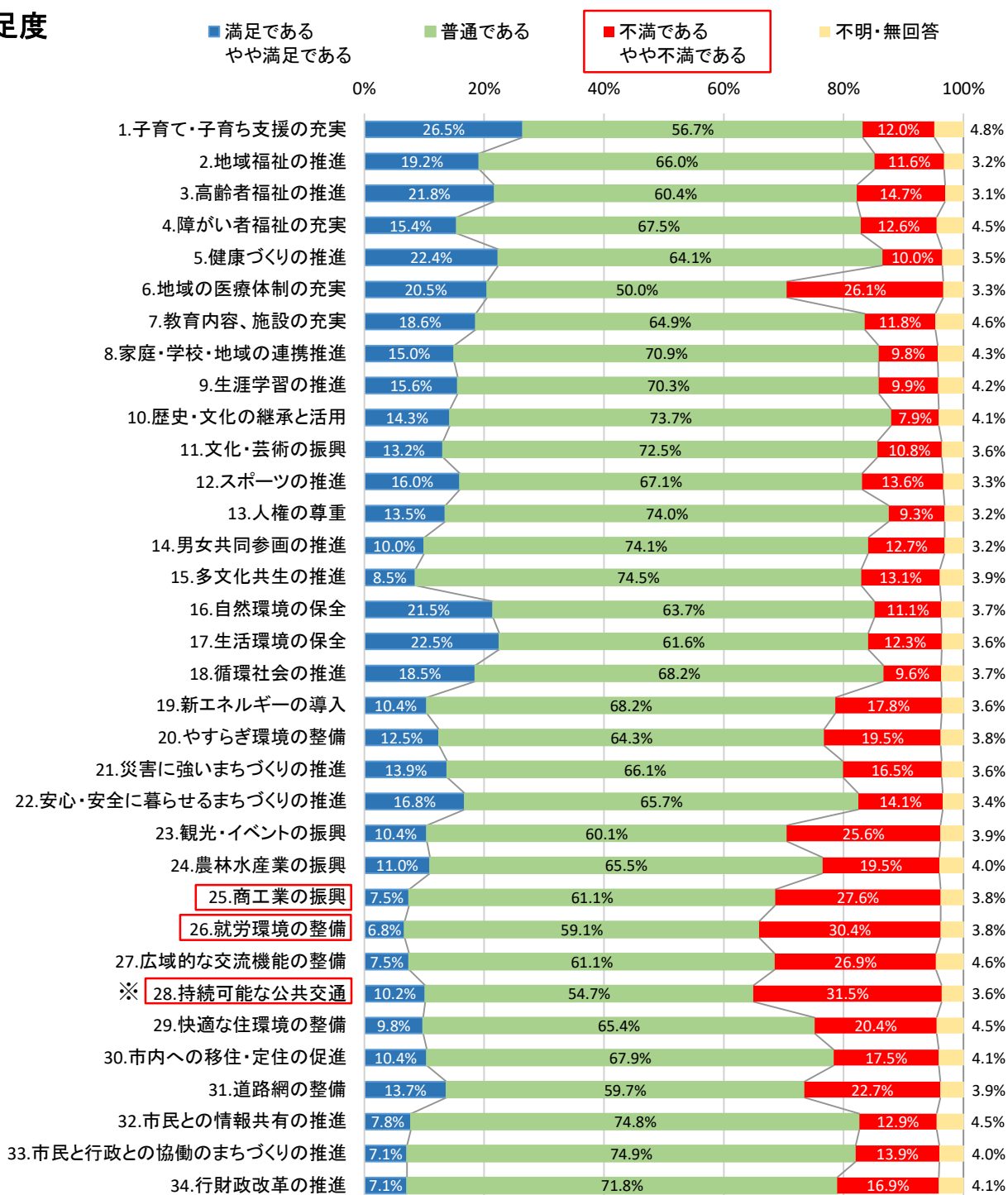
重要度



※前回調査までは、「28. 公共交通の充実」

満足度では、「不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満度』について、「28. 持続可能な公共交通」が31.5%、「26. 就労環境の整備」が30.4%、「25. 商工業の振興」が27.6%の順に高くなっています。前回調査と同様に、利便性の高い持続可能な公共交通の確保や企業誘致等による多様な雇用機会の創出、交通の要衝である立地条件や地域資源を活かした商工業の活性化に力を入れていくことが求められています。

満足度



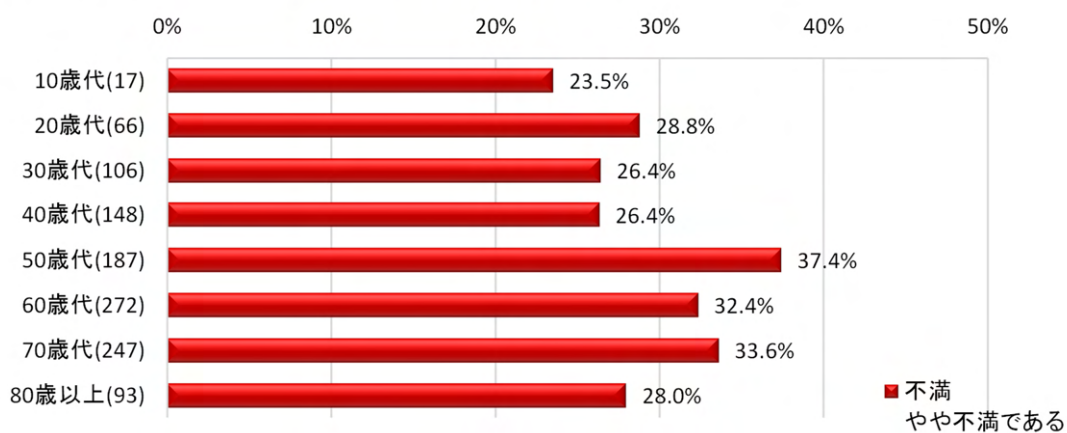
※前回調査までは、「28. 公共交通の充実」

◆年代別

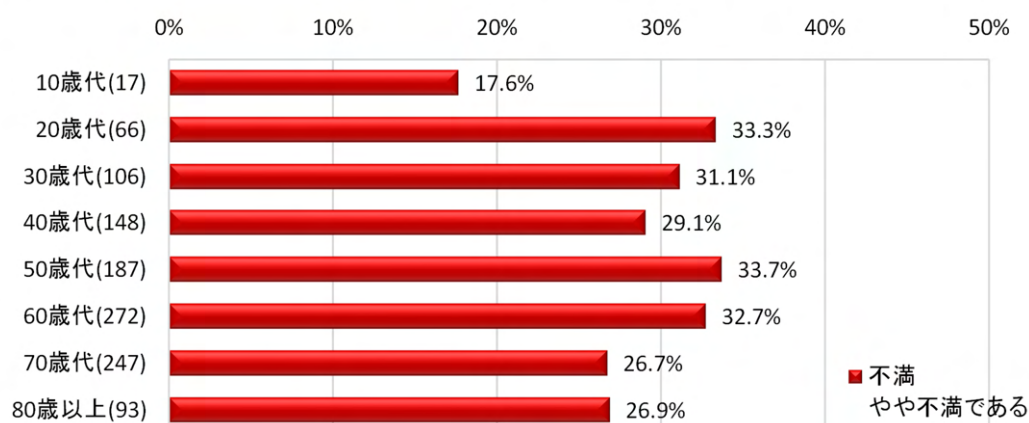
不満度の上位3つについて年代別に見ると、「28. 持続可能な公共交通」では50～70歳代で不満と感じている割合が高く、「26. 就労環境の整備」では20～60歳代の働き盛り世代で高く、「25. 商工業の振興」では30歳代と50歳代でそれぞれ高くなっています。

【年代別】

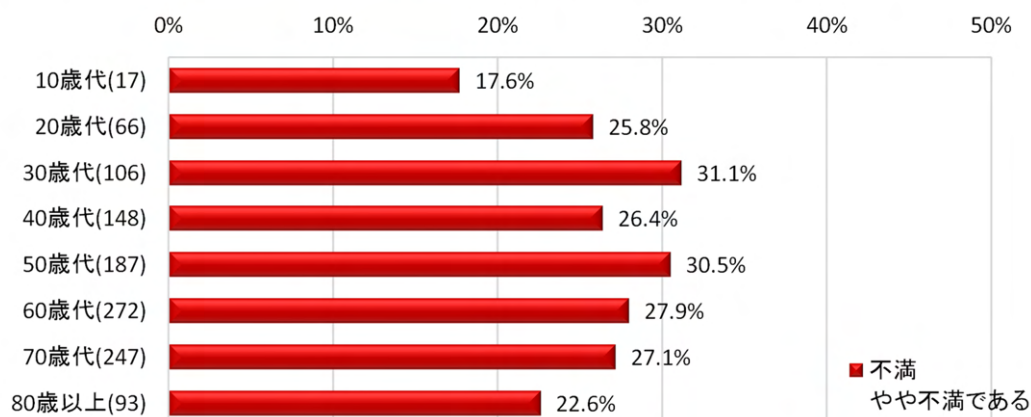
「28. 持続可能な公共交通」不満度1位



「26. 就労環境の整備」不満度2位



「25. 商工業の振興」不満度3位

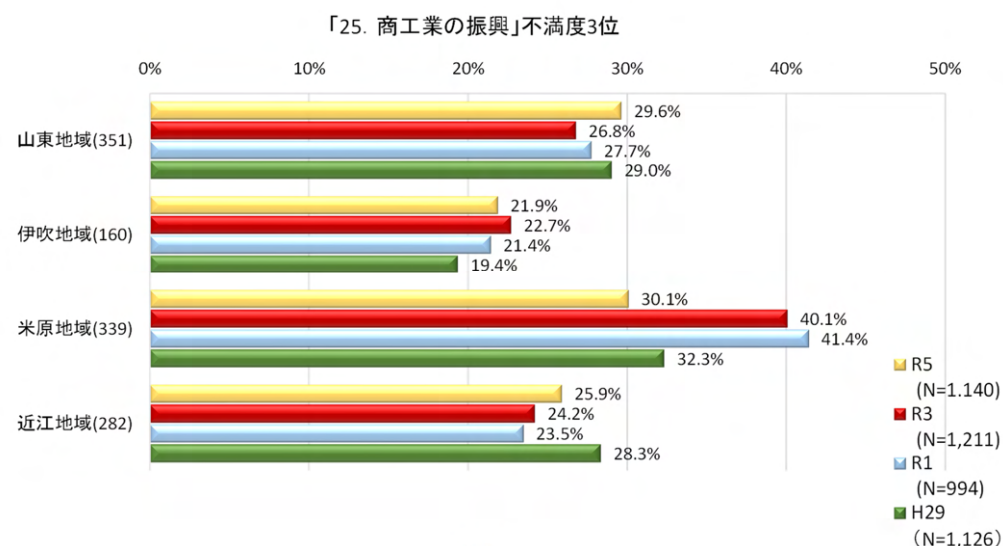
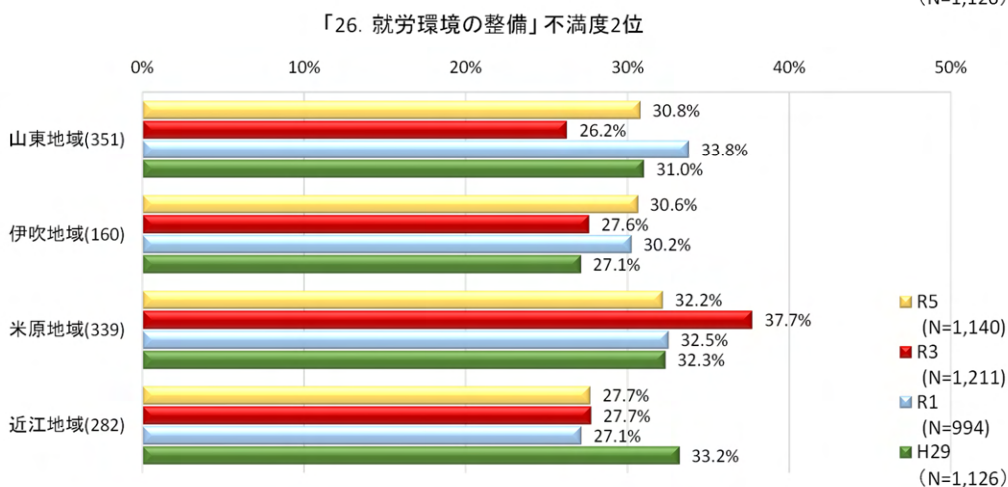
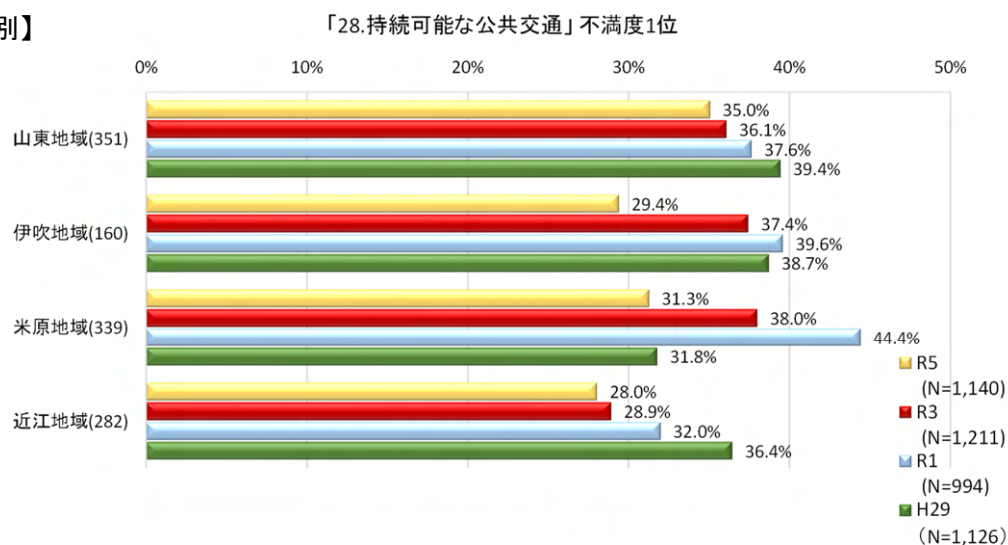


◆地域別

不満度の上位3つについて地域別に見ると、「28. 持続可能な公共交通」では山東地域が、「26. 就労環境の整備」と「25. 商工業の振興」では米原地域が、それぞれ不満と感じる割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「28. 持続可能な公共交通」では全ての地域において不満とを感じる割合は低くなっています。「26. 就労環境の整備」では山東地域と伊吹地域で、「25. 商工業の振興」では山東地域と近江地域で、前回調査より高くなっています。

【地域別】



◆全施策における年代別の傾向

全施策における年代別の満足度と不満度を分類した結果、『満足である』については、「1. 子育て・子育て支援の充実」では 30～60 歳代、「3.高齢者福祉の推進」では 10 歳代と 50 歳代以上、「17. 生活環境の保全」では 10～40 歳代と 80 歳以上がそれぞれ高くなっています。

『不満である』については、「28. 持続可能な公共交通」と「26. 就労環境の整備」では、ほとんどの年代で高くなっています。また、「6. 地域の医療体制の充実」では 10～40 歳代と 60 歳代、「23. 観光・イベントの振興」では 10 歳代と 30～50 歳代の割合が高くなっています。

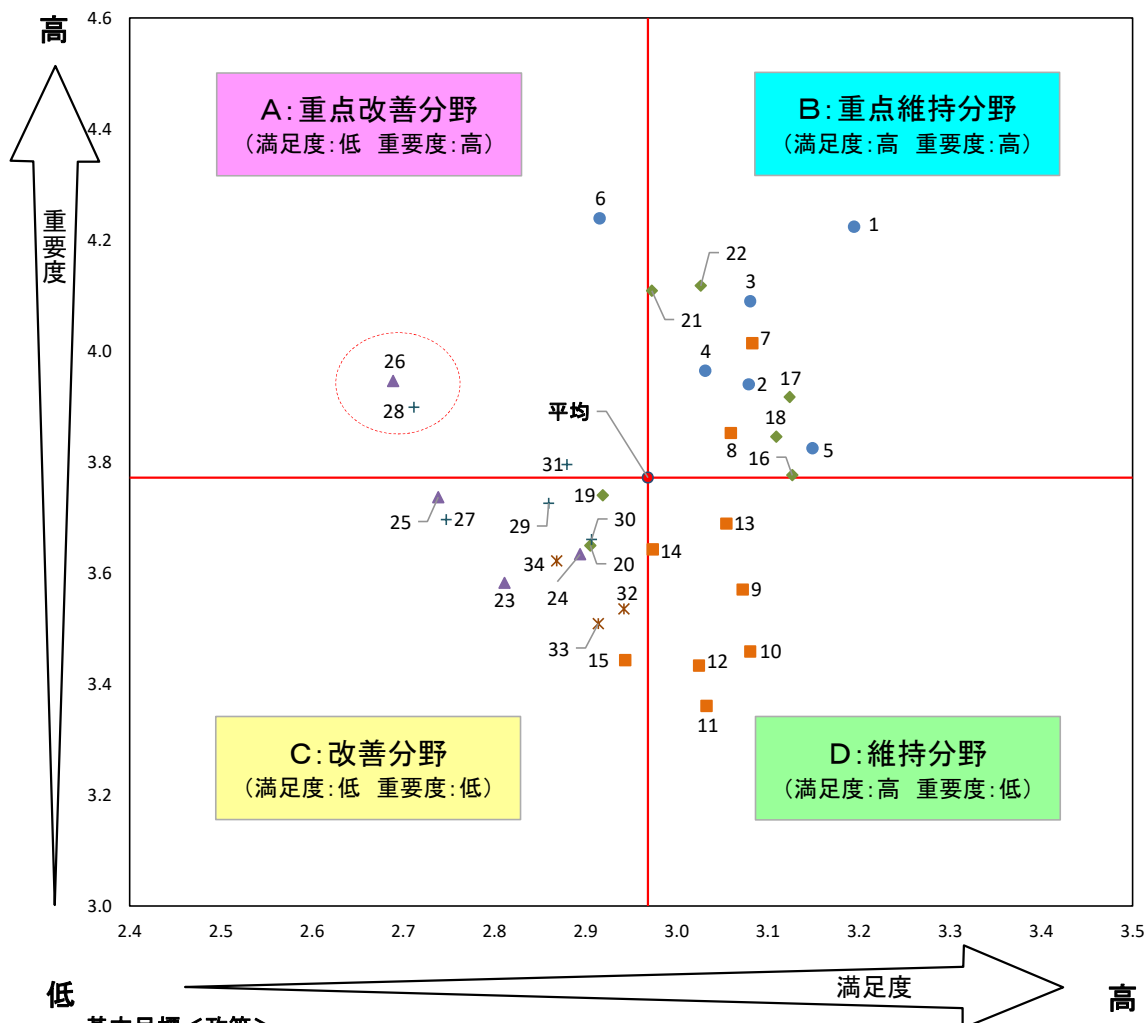
		※上段は回答数、下段は回答者に対する割合 各項目で上位3番まで着色																												1 番 目	2 番 目	3 番 目			
問9 満足度×年齢 【満足である】	1.子育て・ 子育て支 援の充実	2.地域福 祉の推進	3.高齢者 福祉の推 進	4.障がい 者福祉の 充実	5.健康づ くりの推 進	6.地域の 医療体制 の充実	7.教育内 容、施設 の充実	8.家庭・学 校・地域 の連携推 進	9.生涯学 習の推進	10.歴史・ 文化の継 承と活用	11.文化・ 芸術の振 興	12.スポー ツの推進	13.人権の 尊重	14.男女共 同参画の 推進	15.多文化 共生の推 進	16.自然環 境の保全	17.生活環 境の保全	18.循環社 会の推進	19.新エネ ルギーの 導入	20.やすら ぎ環境の 整備	21.災害に 強いまち づくりの推 進	22.安心・ 安全に暮 らせるまち づくりの推 進	23.観光・ イベントの 振興	24.農林水 産業の振 興	25.商工業 の振興	26.就労環 境の整備	27.広域的 な交流機 能の整備	28.持続可 能な公共 交通	29.快適な 住環境の 整備	30.市内へ の移住・ 定住の促 進	31.道路網 の整備	32.市民と の情報共 有の推進	33.市民と 行政との 協働のま ちづくりの 推進	34.行財政 改革の推 進	
10歳代	3 11.1%	4 14.8%	6 22.2%	4 14.8%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	3 11.1%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	3 11.1%	5 18.5%	2 7.4%	2 7.4%	6 22.2%	5 18.5%	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	2 7.4%	
20歳代	14 19.2%	16 21.9%	19 26.0%	17 23.3%	20 27.4%	16 21.9%	18 24.7%	15 20.5%	20 27.4%	18 24.7%	18 24.7%	16 21.9%	18 24.7%	19 26.0%	16 21.9%	25 34.2%	25 34.2%	19 26.0%	14 19.2%	19 26.0%	15 20.5%	23 31.5%	15 20.5%	16 21.9%	10 13.7%	10 13.7%	13 17.8%	12 16.4%	12 16.4%	14 19.2%	12 16.4%	15 20.5%	14 19.2%	14 19.2%	9 12.3%
30歳代	47 34.1%	13 9.4%	15 10.9%	11 8.0%	25 18.1%	17 12.3%	25 18.1%	18 13.0%	23 16.7%	18 13.0%	20 14.5%	25 18.1%	17 12.3%	13 9.4%	10 7.2%	38 27.5%	30 21.7%	20 14.5%	11 8.0%	17 12.3%	16 11.6%	19 13.8%	16 11.6%	18 13.0%	9 6.5%	9 6.5%	8 5.8%	12 8.7%	16 11.6%	15 10.9%	18 13.0%	10 7.2%	10 7.2%	11 8.0%	
40歳代	69 38.1%	37 20.4%	35 19.3%	30 16.6%	36 19.9%	34 18.8%	41 22.7%	33 18.2%	27 14.9%	25 13.8%	22 12.2%	32 17.7%	17 9.4%	14 7.7%	16 8.8%	39 21.5%	40 22.1%	27 14.9%	10 5.5%	19 10.5%	21 11.6%	26 14.4%	16 8.8%	21 11.6%	11 6.1%	11 6.1%	14 7.7%	18 9.9%	17 9.4%	15 8.3%	23 12.7%	10 5.5%	11 6.1%	12 6.6%	
50歳代	45 20.4%	33 14.9%	44 19.9%	25 11.3%	31 14.0%	36 16.3%	32 14.5%	29 13.1%	21 9.5%	22 10.0%	17 7.7%	26 11.8%	25 11.3%	18 8.1%	12 5.4%	43 19.5%	38 17.2%	27 12.2%	17 7.7%	17 7.7%	22 10.0%	24 10.9%	15 6.8%	18 8.1%	12 5.4%	15 6.8%	11 5.0%	15 6.8%	17 7.7%	16 7.2%	29 13.1%	8 3.6%	9 4.1%	11 5.0%	
60歳代	60 24.7%	43 17.7%	49 20.2%	39 16.0%	53 21.8%	39 16.0%	38 15.6%	29 11.9%	29 11.9%	31 12.8%	20 8.2%	29 11.9%	27 11.1%	19 7.8%	17 7.0%	40 16.5%	41 16.9%	41 16.9%	18 7.4%	23 9.5%	29 11.9%	31 12.8%	23 9.5%	16 6.6%	14 5.8%	11 4.5%	13 5.3%	20 8.2%	15 6.2%	23 9.5%	24 9.9%	20 8.2%	13 5.3%	13 5.3%	
70歳代	48 18.8%	50 19.5%	55 21.5%	39 15.2%	66 25.8%	66 25.8%	41 16.0%	31 12.1%	36 14.1%	34 13.3%	33 12.9%	34 13.3%	31 12.1%	21 8.2%	15 5.9%	36 14.1%	47 18.4%	53 20.7%	27 10.5%	28 10.9%	37 14.5%	42 16.4%	20 7.8%	22 8.6%	19 7.4%	13 5.1%	18 7.0%	26 10.2%	20 7.8%	23 9.0%	19 7.4%	17 6.6%	20 7.8%		
80歳以上	16 22.5%	23 32.4%	25 35.2%	11 15.5%	21 29.6%	23 32.4%	13 18.3%	13 18.3%	19 26.8%	13 18.3%	17 23.9%	16 22.5%	13 18.3%	7 9.9%	8 11.3%	17 23.9%	30 42.3%	21 29.6%	19 26.8%	17 23.9%	16 22.5%	24 33.8%	11 15.5%	11 15.5%	7 9.9%	5 7.0%	6 8.5%	10 14.1%	10 14.1%	13 18.3%	10 14.1%	5 7.0%	5 7.0%	3 4.2%	

		※上段は回答数、下段は回答者に対する割合 各項目で上位3番まで着色																												1番目	2番目	3番目		
問9 満足度×年齢 【不満である】	1.子育て・ 子育て支 援の充実	2.地域福 祉の推進	3.高齢者 福祉の推 進	4.障がい 者福祉の 充実	5.健康づ りの推進	6.地域の 医療体制 の充実	7.教育内 容、施設 の充実	8.家庭・学 校・地域 の連携推 進	9.生涯学 習の推進	10.歴史・ 文化の継 承と活用	11.文化・ 芸術の振 興	12.スポー ツの推進	13.人権の 尊重	14.男女共 同参画の 推進	15.多文化 共生の推 進	16.自然環 境の保全	17.生活環 境の保全	18.循環社 会の推進	19.新エネ ルギーの 導入	20.やすら ぎ環境の 整備	21.災害に 強いまち づくりの推 進	22.安心・ 安全に暮 らせるまち づくりの推 進	23.観光・ イベントの 振興	24.農林水 産業の振 興	25.商工業 の振興	26.就労環 境の整備	27.広域的 な交流機 能の整備	28.持続可 能な公共 交通	29.快適な 住環境の 整備	30.市内へ の移住・ 定住の促 進	31.道路網 の整備	32.市民と の情報共 有の推進	33.市民と 行政との 協働のま ちづくり の推進	34.行財政 改革の推 進
10歳代	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	4 14.8%	3 11.1%	1 3.7%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%
20歳代	14 19.2%	11 15.1%	11 15.1%	15 20.5%	10 13.7%	21 28.8%	15 20.5%	13 17.8%	12 16.4%	3 4.1%	8 11.0%	11 15.1%	9 12.3%	8 11.0%	8 11.0%	6 8.2%	12 16.4%	7 9.6%	13 17.8%	12 16.4%	15 20.5%	12 16.4%	18 24.7%	8 11.0%	17 23.3%	22 30.1%	17 23.3%	19 26.0%	15 20.5%	12 16.4%	13 17.8%	5 6.8%	6 8.2%	10 13.7%
30歳代	14 10.1%	14 10.1%	11 8.0%	12 8.7%	12 8.7%	36 26.1%	19 13.8%	10 7.2%	10 7.2%	6 4.3%	10 7.2%	15 10.9%	10 7.2%	16 11.6%	10 7.2%	3 2.2%	10 7.2%	13 9.4%	18 13.0%	19 13.8%	13 9.4%	11 8.0%	28 20.3%	14 10.1%	33 23.9%	33 23.9%	27 19.6%	28 20.3%	22 15.9%	16 11.6%	17 12.3%	12 8.7%	11 8.0%	11 8.0%
40歳代	16 8.8%	14 7.7%	16 8.8%	12 6.6%	15 8.3%	42 23.2%	17 9.4%	19 10.5%	9 5.0%	13 7.2%	19 10.5%	19 10.5%	10 5.5%	13 7.2%	17 9.4%	12 6.6%	18 9.9%	17 9.4%	26 14.4%	35 19.3%	25 13.8%	20 11.0%	48 26.5%	30 16.6%	39 21.5%	43 23.8%	41 22.7%	39 21.5%	25 13.8%	21 11.6%	30 16.6%	18 9.9%	21 11.6%	24 13.3%
50歳代	19 8.6%	20 9.0%	30 13.6%	28 12.7%	20 9.0%	57 25.8%	23 10.4%	18 8.1%	18 8.1%	16 7.2%	24 10.9%	24 10.9%	16 7.2%	19 8.6%	21 9.5%	21 9.5%	15 6.8%	19 8.6%	34 15.4%	35 15.8%	29 13.1%	29 13.1%	63 28.5%	33 14.9%	57 25.8%	63 28.5%	58 26.2%	70 31.7%	45 20.4%	26 11.8%	50 22.6%	26 11.8%	25 11.3%	33 14.9%
60歳代	38 15.6%	36 14.8%	56 23.0%	36 14.8%	31 12.8%	79 32.5%	32 13.2%	29 11.9%	33 13.6%	32 13.2%	33 13.6%	37 15.2%	28 11.5%	40 16.5%	46 18.9%	40 16.5%	39 16.0%	27 11.1%	53 21.8%	58 23.9%	56 23.0%	46 18.9%	71 29.2%	58 23.9%	76 31.3%	89 36.6%	77 31.7%	88 36.2%	58 23.9%	58 23.9%	72 29.6%	44 18.1%	45 18.5%	54 22.2%
70歳代	25 9.8%	22 8.6%	30 11.7%	29 11.3%	16 6.3%	46 18.0%	18 7.0%	12 4.7%	18 7.0%	13 5.1%	17 6.6%	34 13.3%	23 9.0%	35 13.7%	28 10.9%	30 11.7%	33 12.9%	18 7.0%	40 15.6%	47 18.4%	41 16.0%	30 11.7%	43 16.8%	61 23.8%	67 26.2%	66 25.8%	58 22.7%	83 32.4%	47 18.4%	45 17.6%	54 21.1%	29 11.3%	36 14.1%	45 17.6%
80歳以上	9 12.7%	14 19.7%	12 16.9%	10 14.1%	9 12.7%	13 18.3%	5 7.0%	9 12.7%	11 15.5%	4 5.6%	10 14.1%	13 18.3%	9 12.7%	13 18.3%	15 21.1%	13 18.3%	10 14.1%	8 11.3%	19 26.8%	14 19.7%	8 11.3%	12 16.9%	16 22.5%	17 23.9%	21 29.6%	25 35.2%	24 33.8%	26 36.6%	16 22.5%	20 28.2%	21 29.6%	11 15.5%	14 19.7%	13 18.3%

◆満足度・重要度の散布図

それぞれの施策の満足度・重要度を得点化し、平均を算出したところ、以下のような散布状況となっています（施策名については、14、15 ページにあるグラフの該当する番号の施策名を参照）。

前回調査と同様に、「26. 就労環境の整備」「28. 持続可能な公共交通」といった施策で満足度が低くなっています。重要度が高い A の領域にある施策について、重点改善分野として取り組んでいく必要があります。



基本目標＜政策＞

- 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり
- ◆ 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり
- + 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり
- とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり
- ▲ 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり
- ✕ まちづくりを進めるための基盤

【得点化の手順】

満足度		得点	重要度		得点
満足である	→	5 点	重要である	→	5 点
やや満足である	→	4 点	やや重要である	→	4 点
普通である	→	3 点	普通である	→	3 点
やや不満である	→	2 点	あまり重要でない	→	2 点
不満である	→	1 点	重要でない	→	1 点

※不明・無回答については計算の対象外

※全施策平均値 満足度：2.97 点 重要度：3.77 点

■前回調査（令和3年度）との比較

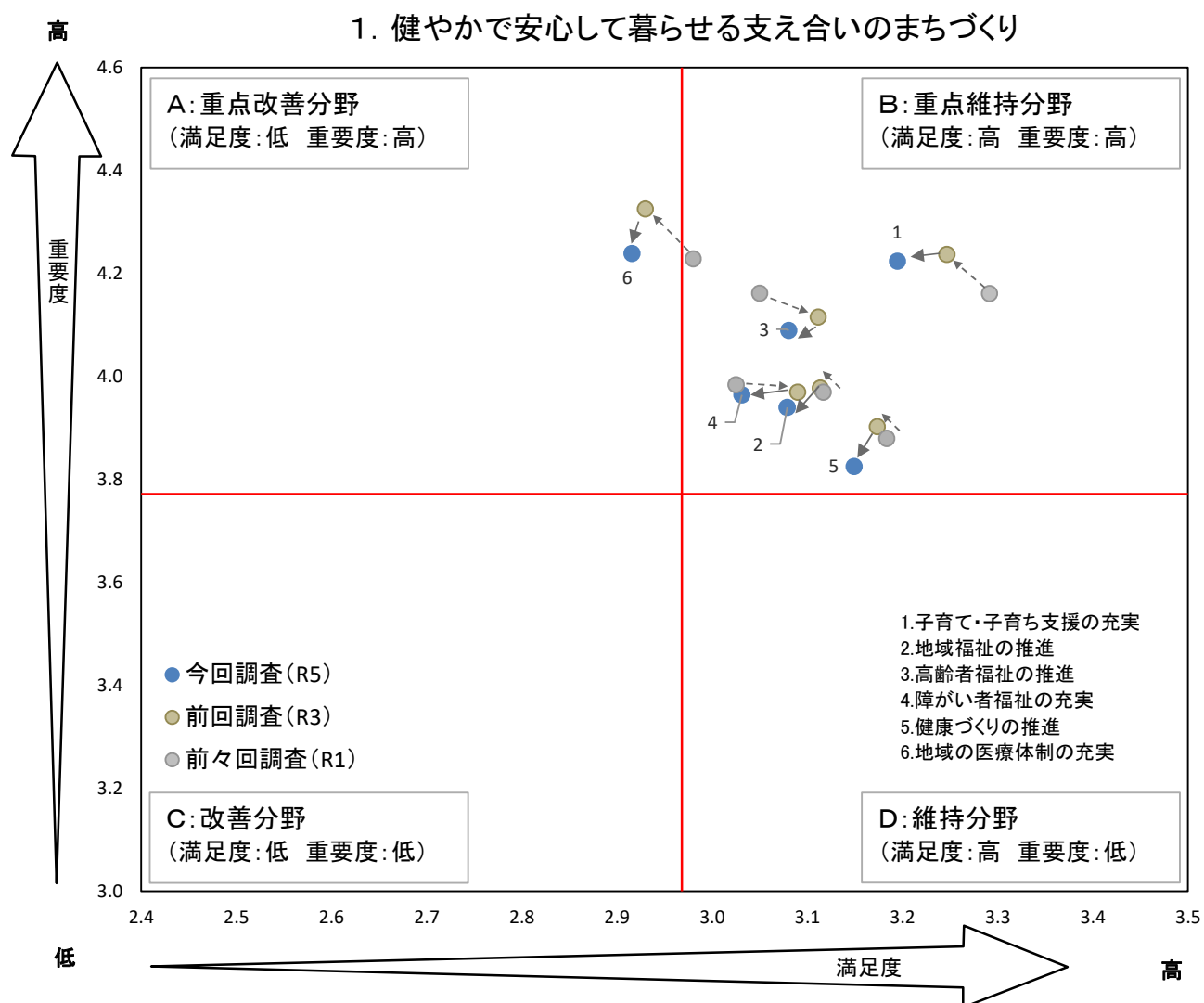
基本目標 1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり

『1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり』には6施策があります。全ての施策について、前回調査より満足度・重要度共に低くなっています。

A（重点改善分野）に位置している「6. 地域の医療体制の充実」については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されることに伴い、重要度が低くなったと思われます。

今後も継続的に施策の改善を図り、満足度を高めていく必要があります。

※参考：前々回調査（R1）を表記



基本目標2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり

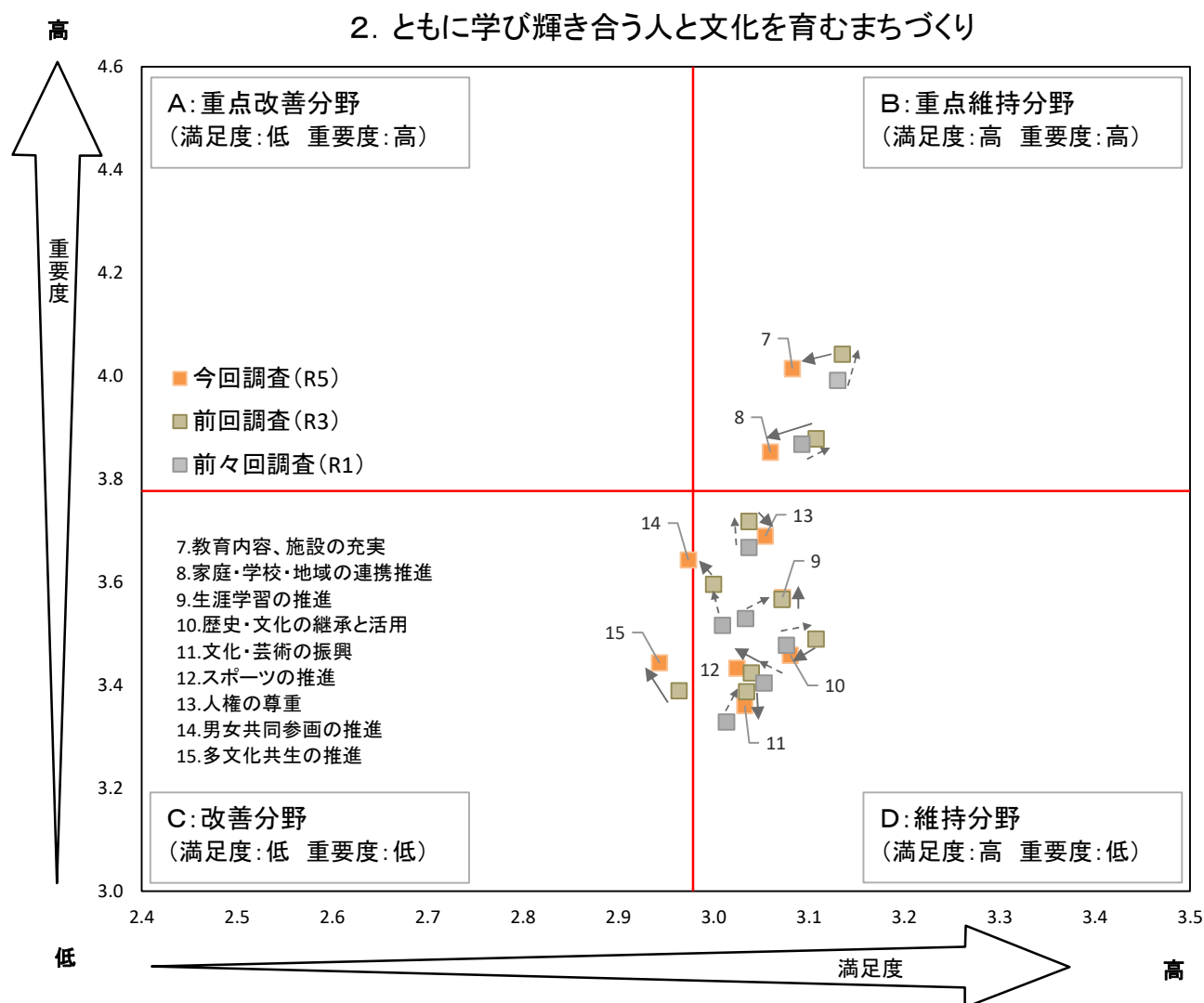
『2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり』には9施策があり、このうち満足度・重要度が前回調査より高くなっている施策は「9. 生涯学習の推進」のみになっています。

「7. 教育内容、施設の充実」と「8. 家庭・学校・地域の連携推進」は、B（重点維持分野）に位置しています。今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要があります。

「15. 多文化共生の推進」と「14. 男女共同参画の推進」は、C（改善分野）に位置していることから、さらに市民全体の満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

その他の施策は、D（維持分野）に位置しているため、一定の満足度は得られており、着実に施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（R1）を表記



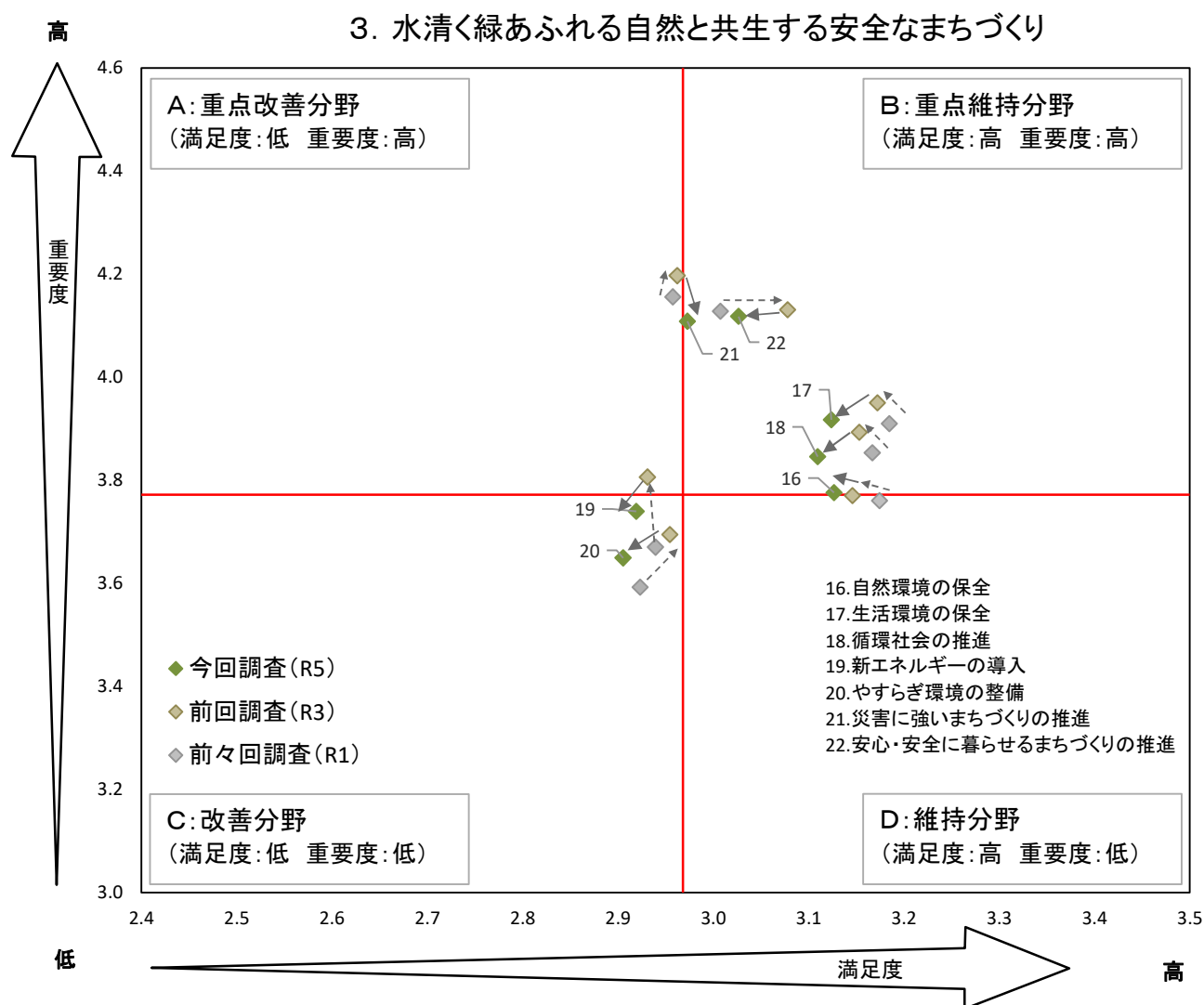
基本目標3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり

『3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり』には7施策があります。5施策について、前回調査より満足度・重要度共に低くなっています。

5施策がB（重点維持分野）に位置し、今後も継続的に施策の改善を図り、更に満足度を高めていく必要があります。

「20. やすらぎ環境の整備」と「19. 新エネルギーの導入」は、C（改善分野）に位置していることから、さらに市民全体の満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（R1）を表記



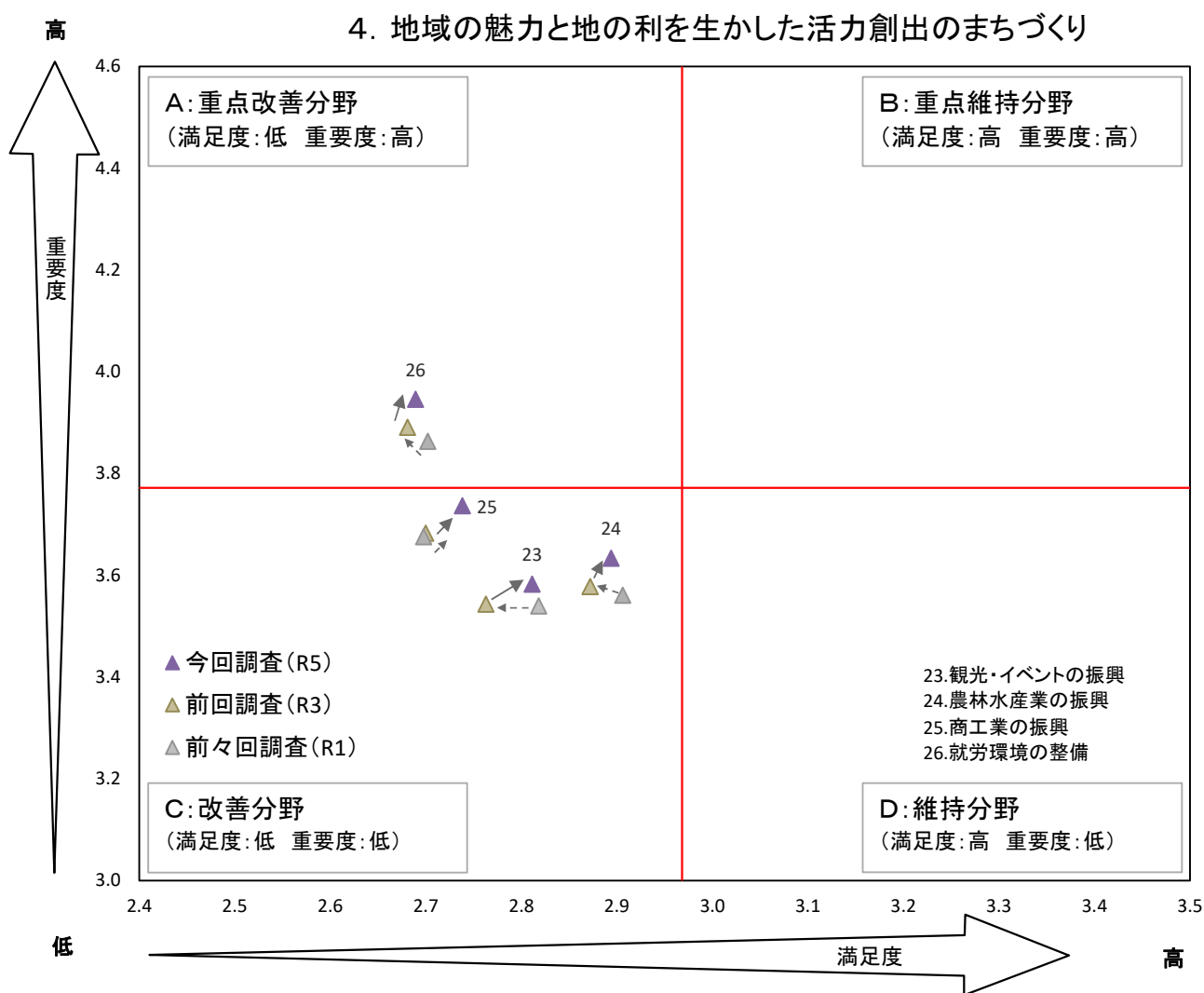
基本目標4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり

『4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり』には4施策があります。全ての施策で満足度・重要度が前回調査より高くなっています。

3施策がC（改善分野）に位置しているため、市民全体の満足度や重要度を高めていく施策を推進する必要があります。

A（重点改善分野）に「26. 就労環境の整備」が位置しています。満足度・重要度ともに改善が伺えますが、市民の関心が高いことから、今後更に満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（R1）を表記



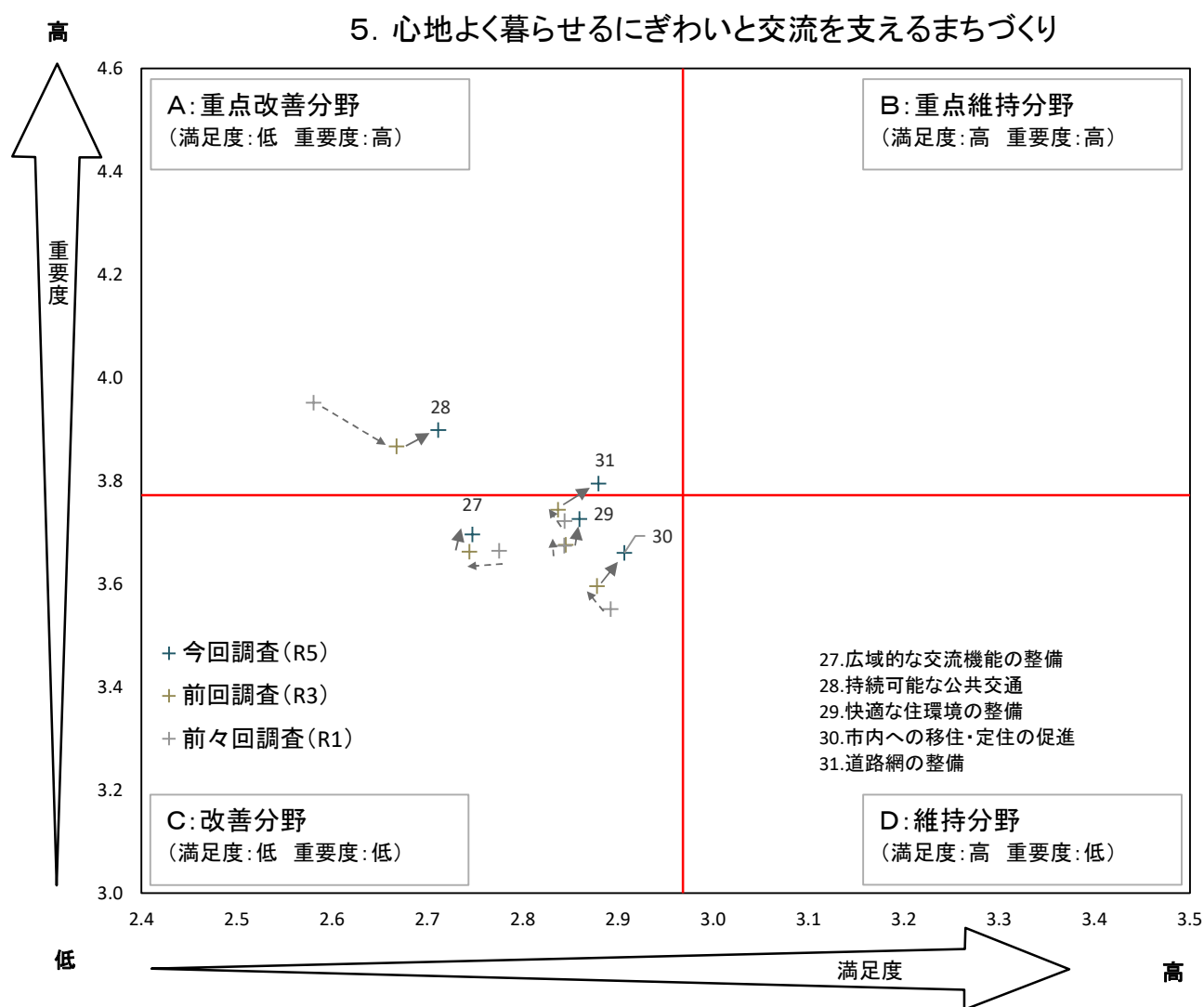
基本目標 5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり

『5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり』には5施策があります。全ての施策で満足度・重要度が前回調査より高くなっています。

3施策がC（改善分野）に位置しているため、市民全体の満足度や重要度を更に高めていく施策を推進する必要があります。

A（重点改善分野）には「28. 持続可能な公共交通」と「31. 道路網の整備」が位置しています。市民の関心が高いことから、今後満足度を高めていく施策を推進する必要があります。

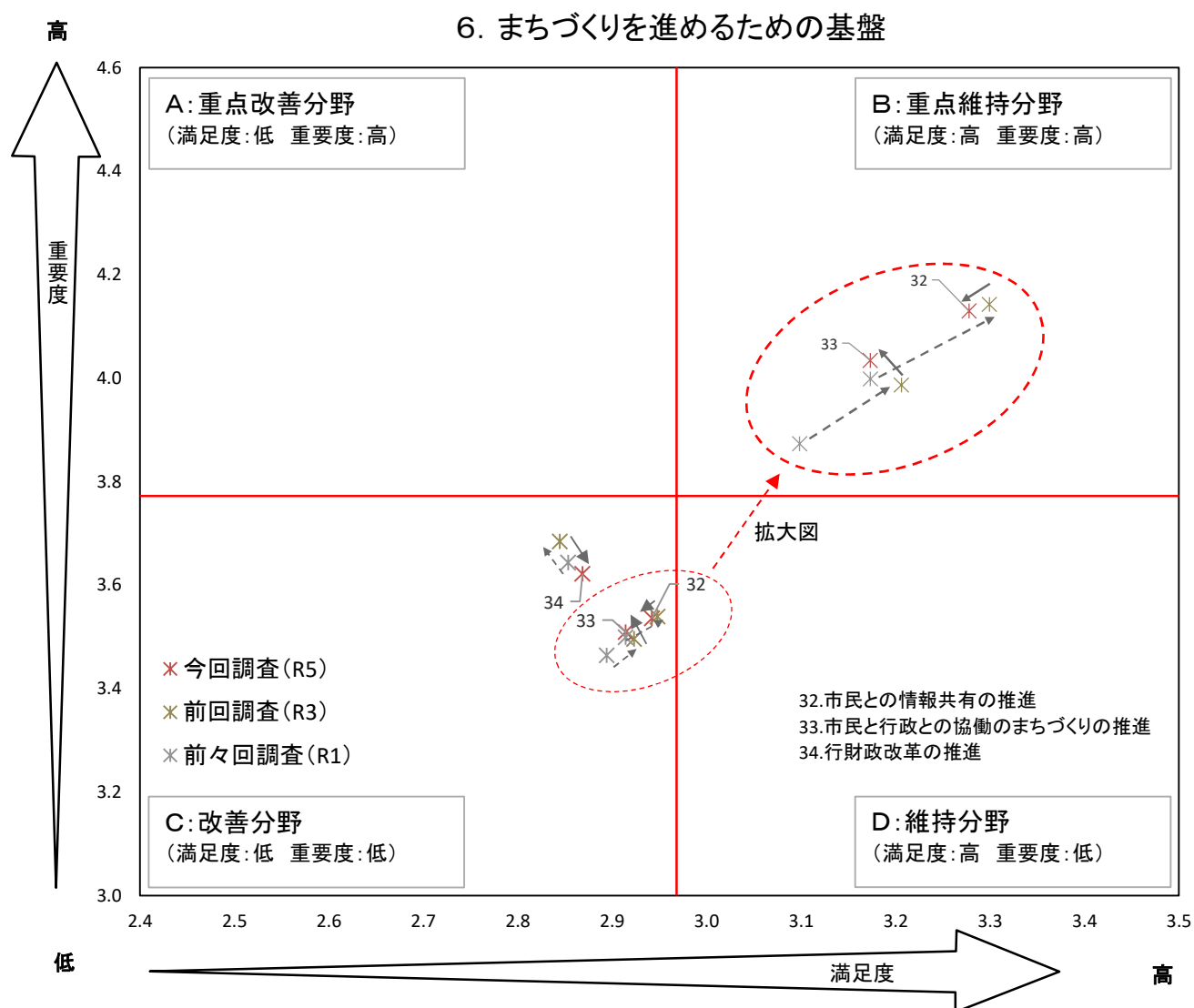
※参考：前々回調査（R1）を表記



基本目標 6. まちづくりを進めるための基盤

『6. まちづくりを進めるための基盤』には3施策があります。3施策ともC（改善分野）に位置しているため、市民全体の満足度や重要度を高めていく施策を推進する必要があります。

※参考：前々回調査（R1）を表記



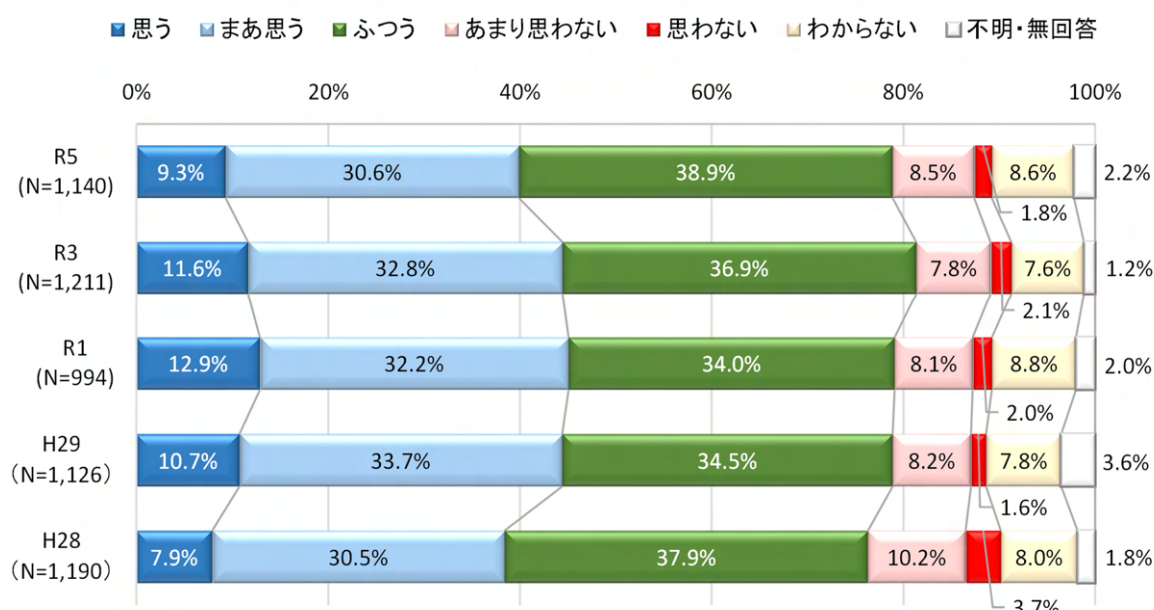
1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり に関する設問です。

問 10 あなたは、米原市を子育てしやすいまちだと思いますか。（1つ）

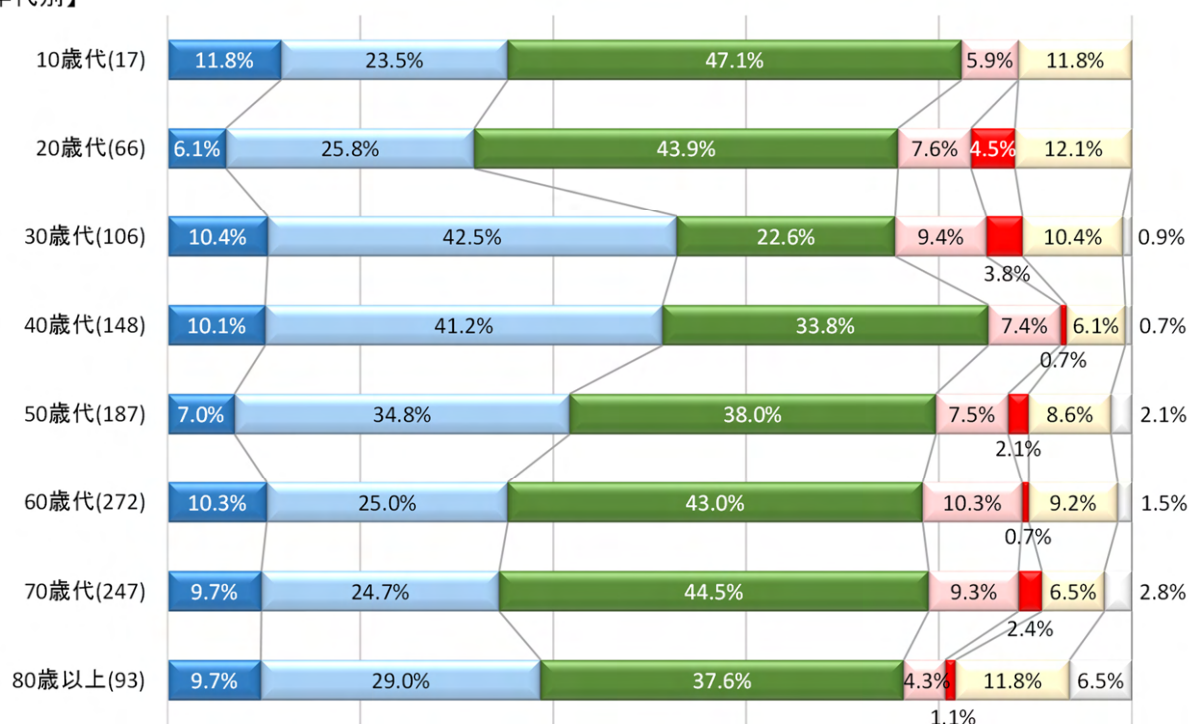
米原市を子育てしやすいまちだと思うかについて見ると、「ふつう」の割合が38.9%と最も高く、「思う」と「まあ思う」を合わせた『思う』が39.9%に対して、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が10.3%となっています。

経年変化を見ると、『思う』が前回調査より4.5ポイント低くなっています。

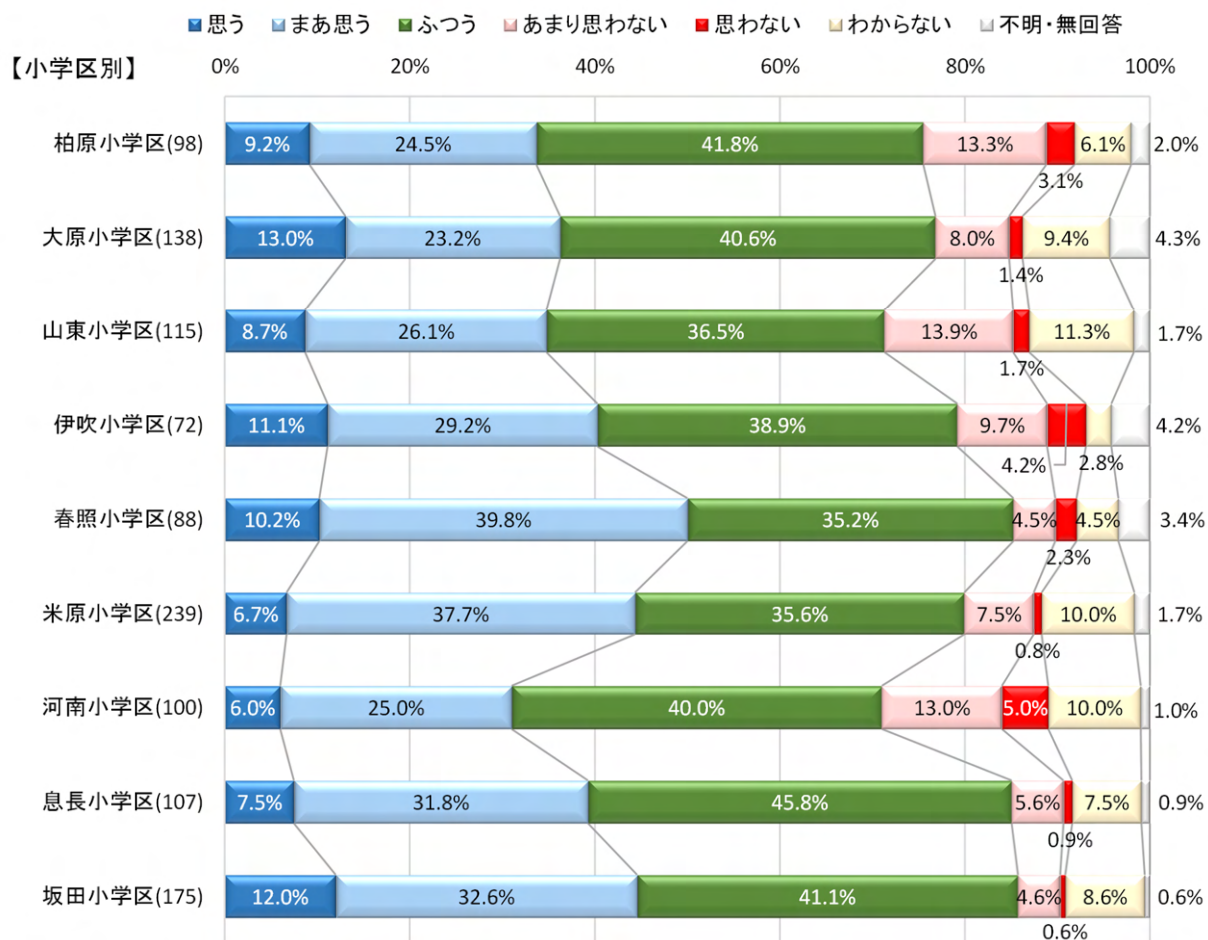
年代別に見ると、30～40歳代で『思う』の回答が高く、半数以上となっています。



【年代別】



小学区別に見ると、「思う」と「まあ思う」を合わせた『思う』は春照小学区では５割、米原小学区、坂田小学区では４割強となっています。また、河南小学区で『思う』が最も低い割合となっています。

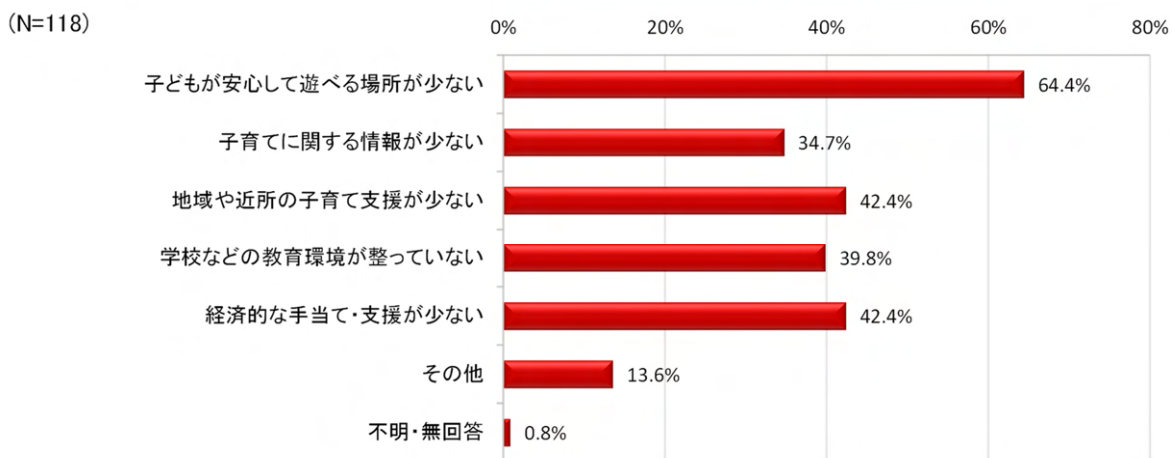


付問2 【問10で「あまり思わない」、「思わない」と答えられた方】 子育てしにくいところはどんなところですか。（あてはまるものすべて）

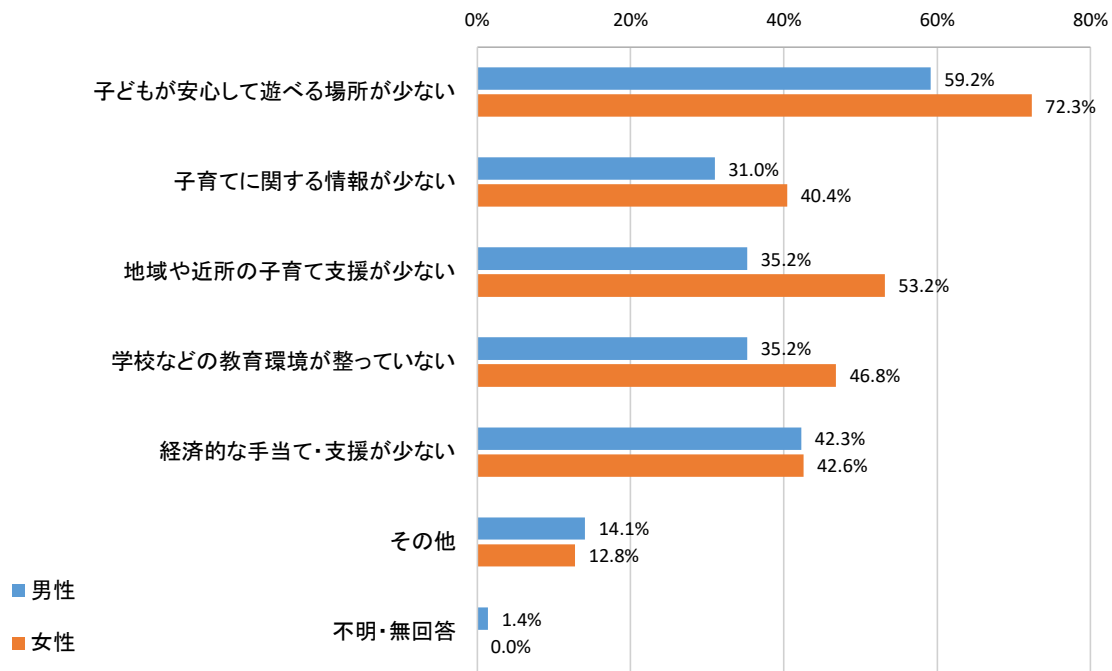
「あまり思わない」または「思わない」と答えられた方の理由について見ると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」が64.4%と最も高く、次いで「地域や近所の子育て支援が少ない」「経済的な手当て・支援が少ない」が42.4%となっています。

また、「その他」の具体的な理由としては、「公園が少ない」「医療機関が充実していない」「通学路が危ない」などが挙がっています。

性別に見ると、「経済的な手当て・支援が少ない」と「その他」については男女ともほぼ同等の割合ですが、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」「子育てに関する情報が少ない」「地域や近所の子育て支援が少ない」「学校などの教育環境が整っていない」については女性で高くなっています。

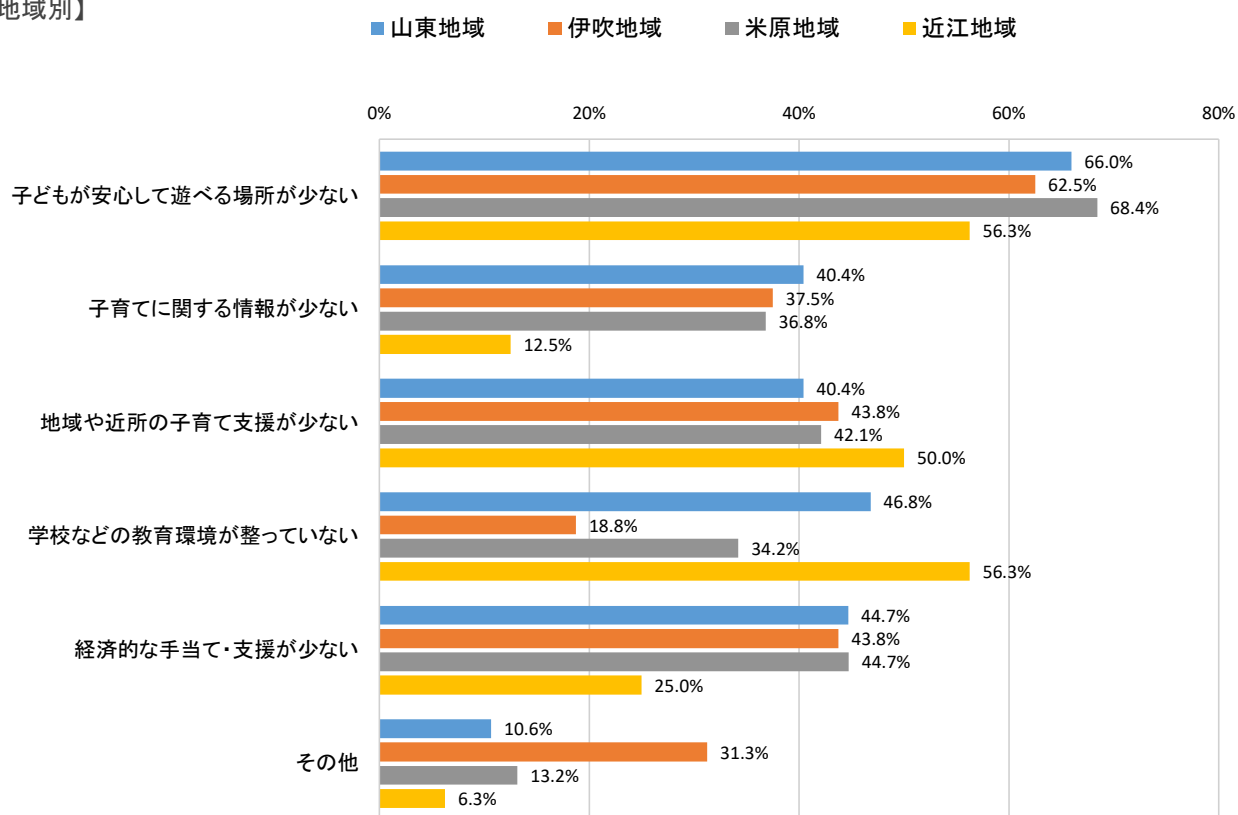


【性別】



地域別に見ると、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」では山東地域と米原地域で、「地域や近所の子育て支援が少ない」「学校などの教育環境が整っていない」では近江地域で、「経済的な手当て・支援が少ない」では山東地域と伊吹地域と米原地域で、それぞれ高くなっています。

【地域別】

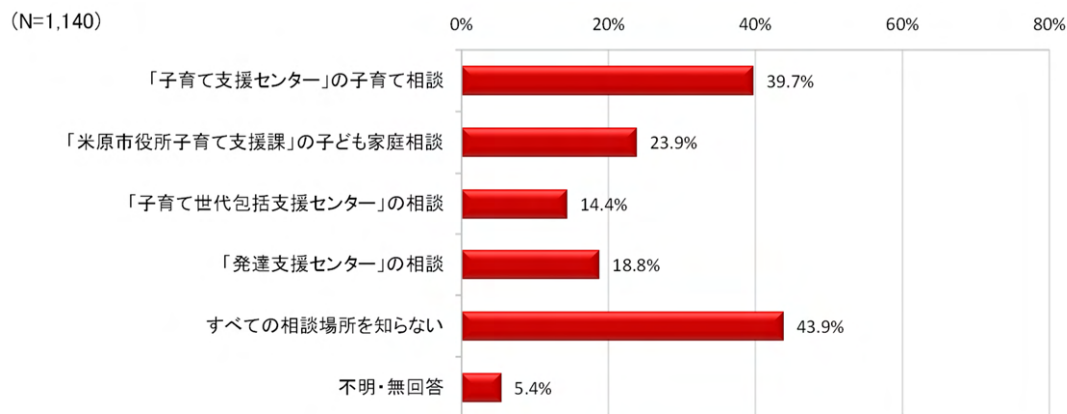


問 11 市内で実施している子育て支援に関する相談場所をいくつご存じですか。 (あてはまるものすべて)

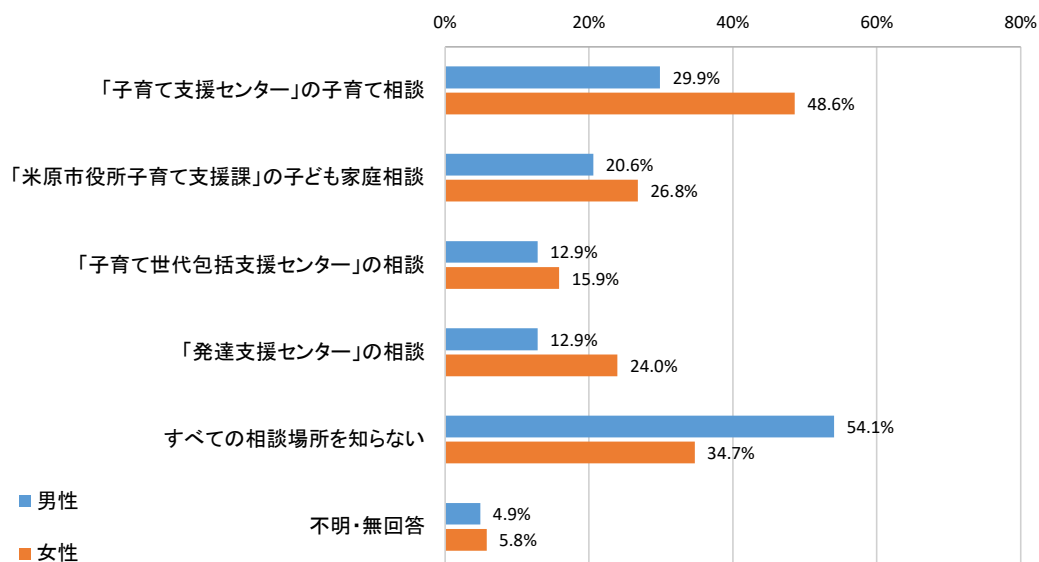
米原市内で実施している子育て支援に関する相談場所の認知度について見ると、「すべての相談場所を知らない」が43.9%と最も高くなっています。

相談場所別に見ると、「子育て支援センター」で39.7%と最も高く、次いで「米原市役所子育て支援課」で23.9%となっています。

性別で見ると、男性では「すべての相談場所を知らない」が54.1%、女性では「子育て支援センター」が48.6%と最も高くなっています。



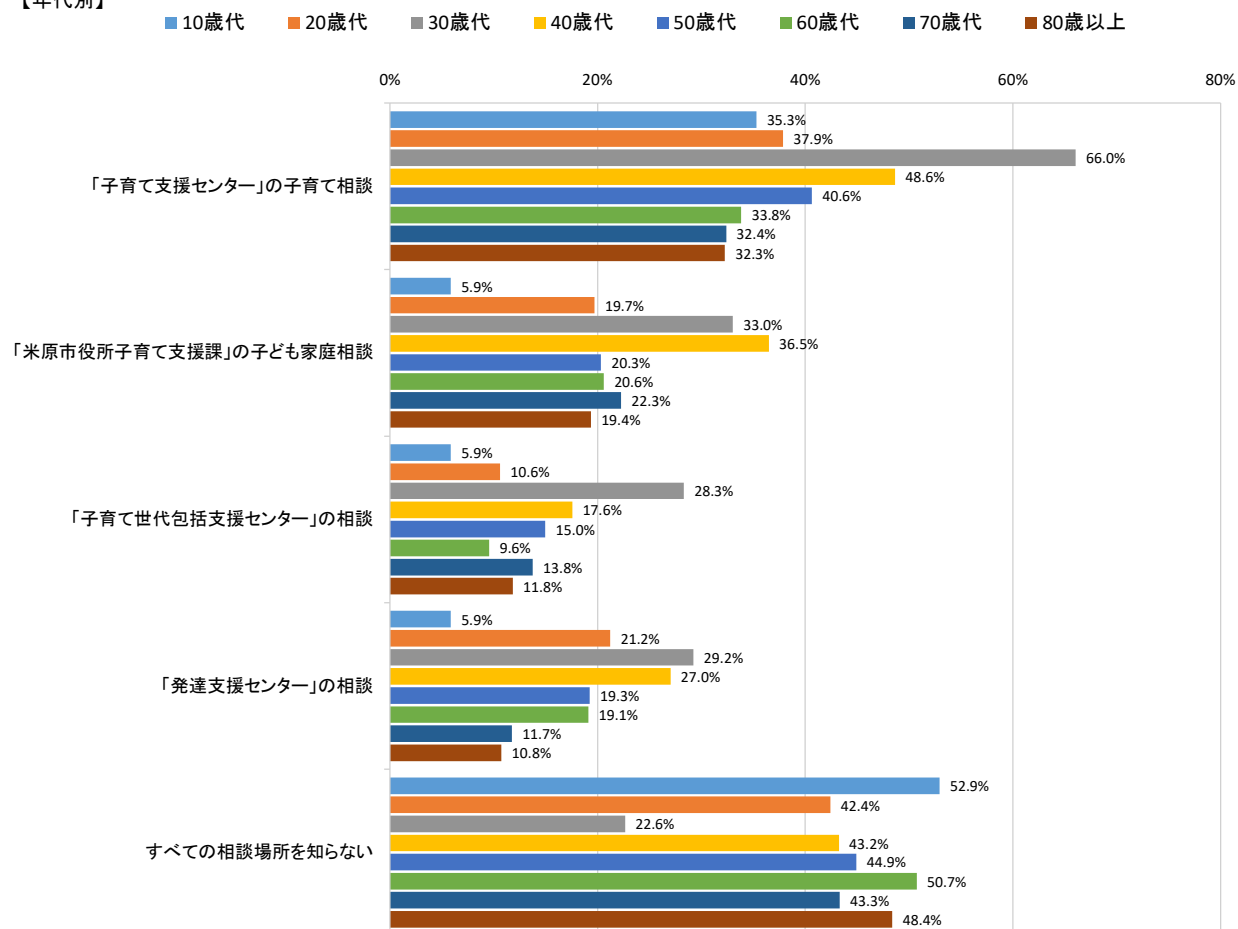
【性別】



年代別で見ると、「子育て支援センター」で30歳代が66.0%と最も高くなっています。相談場所の中でも「子育て支援センター」はどの年代でも3割を超え、他の相談場所より認知度が高くなっています。

30～40歳代は、全ての相談場所で他の年代より高い傾向が伺えます。

【年代別】



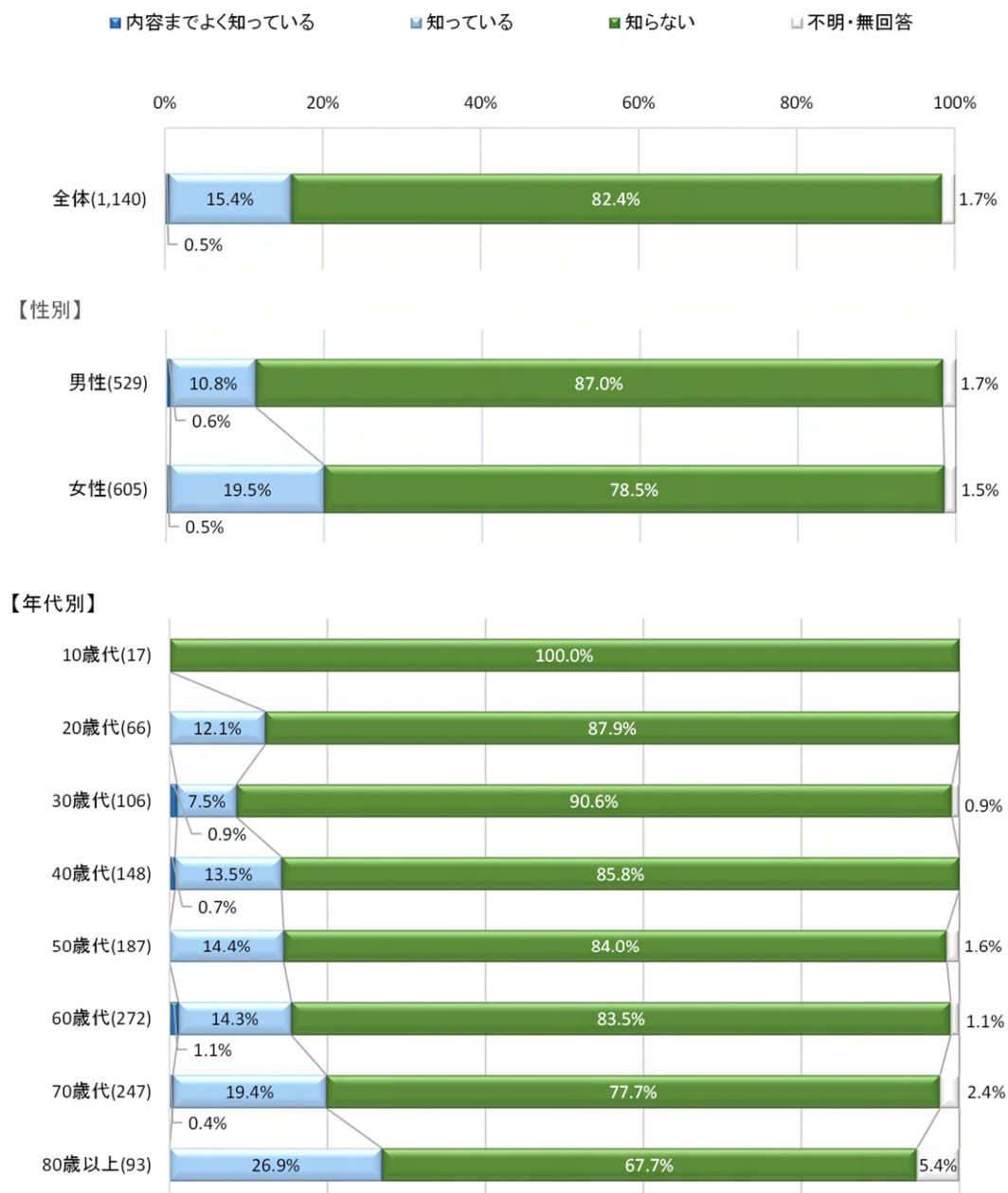
問 12 あなたは、「手と手をつなぐ 米原市手話言語条例」をご存じですか。 (1つ)

「手と手をつなぐ 米原市手話言語条例」の認知度について見ると、「知らない」が82.4%、「知っている」が15.4%、「内容までよく知っている」が0.5%となっています。

性別で見ると、「知っている」が女性で19.5%と男性よりも8.7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、10歳代の全ての方が「知らない」と回答しています。「知っている」は、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向が伺えます。

「知らない」が全ての年代でも高いことから、啓発が必要と思われます。



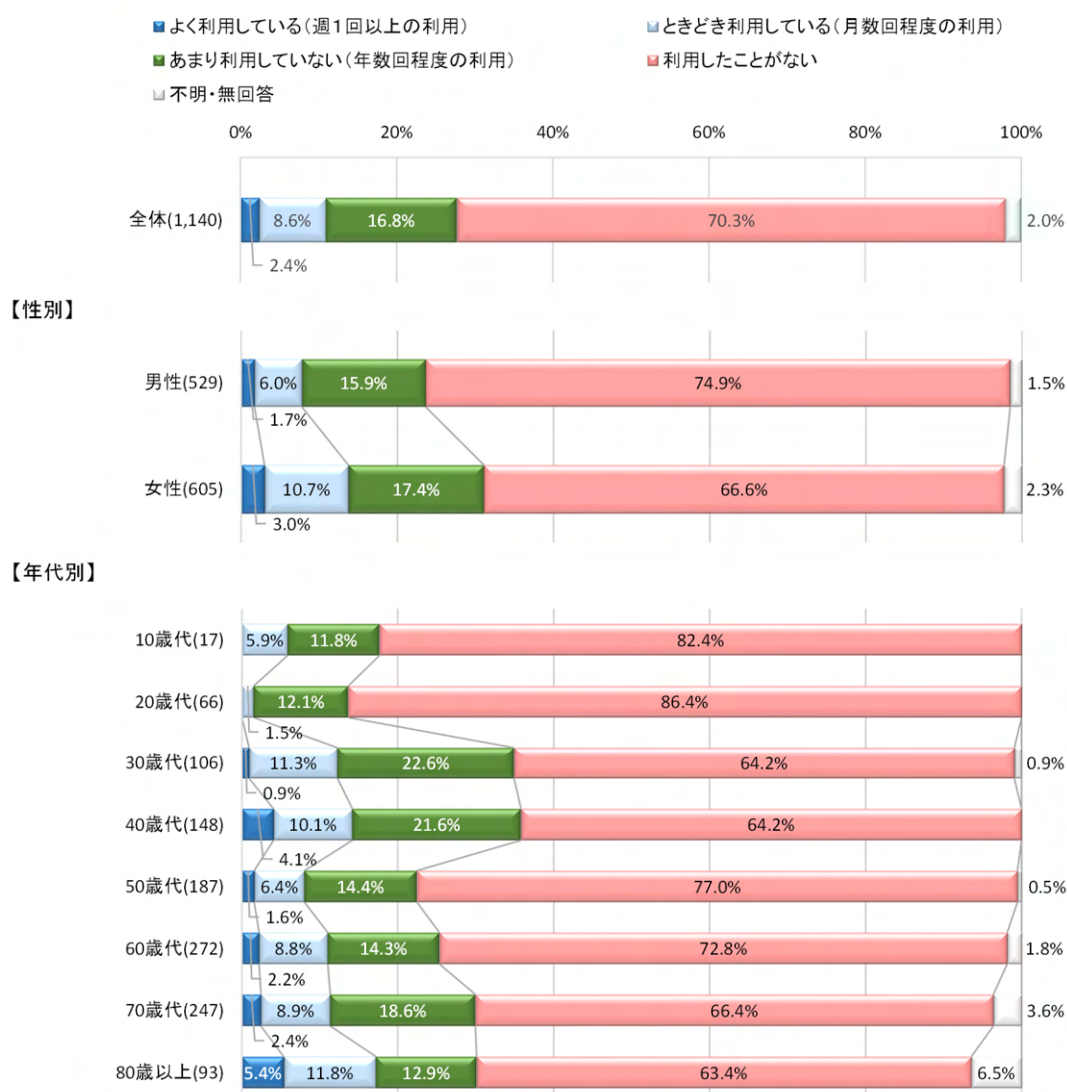
2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり に関する設問です。

問 13 市では、市民のみなさんの生涯学習および交流の推進を図るため、公民館の利用制限を緩和し、営利や宣伝目的等にも幅広く利用できるよう、「学びあいステーション」とし、運用後2年が経過しました。
この学びあいステーションについて、お聞きします。
あなたは、この1年間で、学びあいステーション（米原学びあいステーション、近江学びあいステーション、山東学びあいステーション、伊吹薬草の里文化センター（伊吹学びあいステーション）を利用したことがありますか。
（1つ）

学びあいステーションの利用状況について見ると、「よく利用している（週1回以上の利用）」と「ときどき利用している（月数回程度の利用）」と「あまり利用していない（年数回程度の利用）」とを合わせた『利用している』が27.8%、「利用したことがない」は70.3%となっています。

性別で見ると、『利用している』が女性で31.1%と男性よりも7.5ポイント高くなっています。

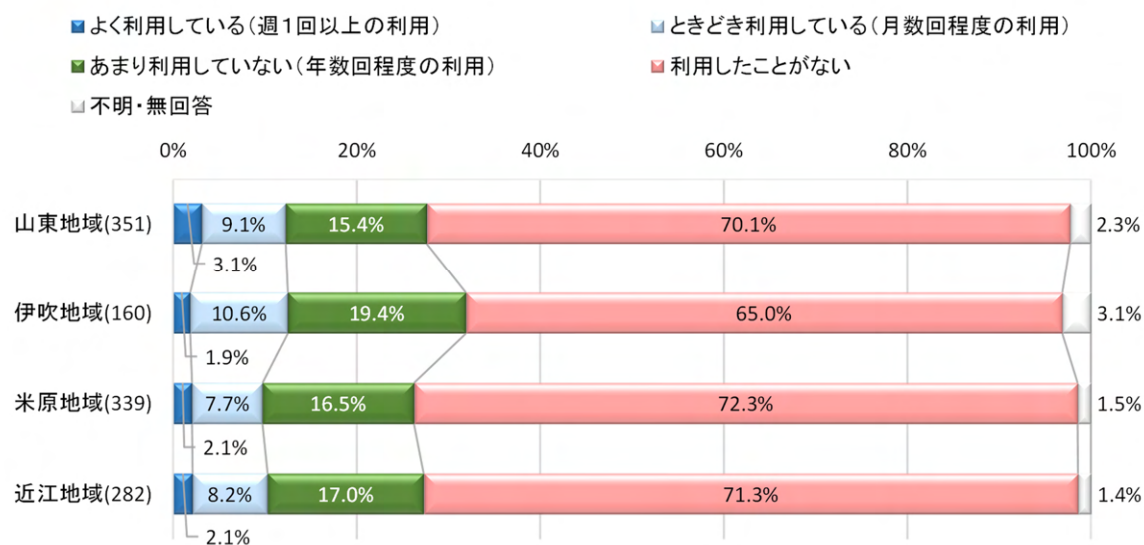
年代別で見ると、『利用している』が30～40歳代で高くなっているのに対し、「利用したことがない」は10～20歳代で高くなっています。



地域別で見ると、『利用している』が伊吹地域で31.9%と最も高く、次いで山東地域で27.6%となっています。「利用したことがない」では米原地域が72.3%と最も高くなっています。

「よく利用している（週1回以上の利用）」では山東地域が他の地域より高くなっています。

【地域別】



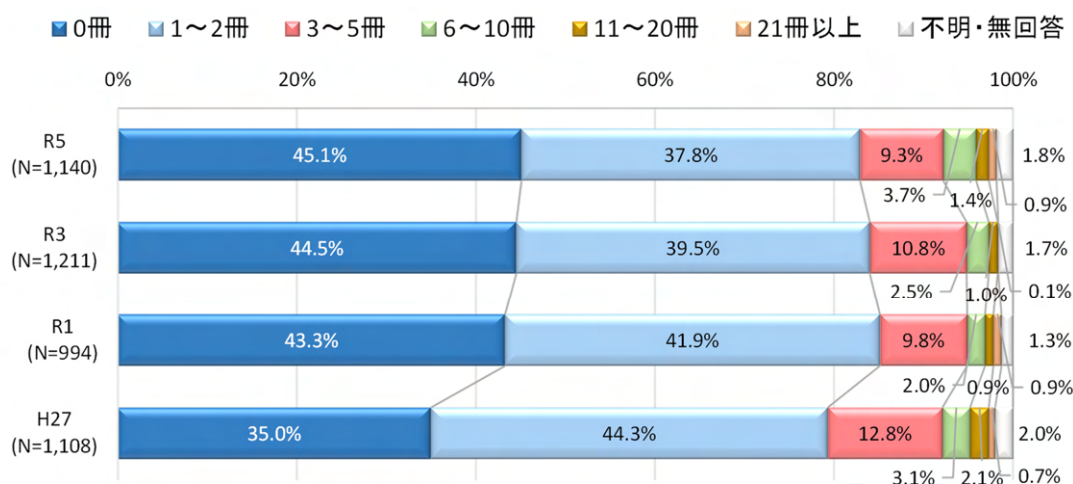
問 14 あなたは、1 か月に何冊くらい本を読みますか。(1 つ)

1 か月に何冊くらい本を読むかについて見ると、「0 冊」が 45.1%、「1 冊～2 冊」が 37.8%、「3～5 冊」が 9.3%となっています。

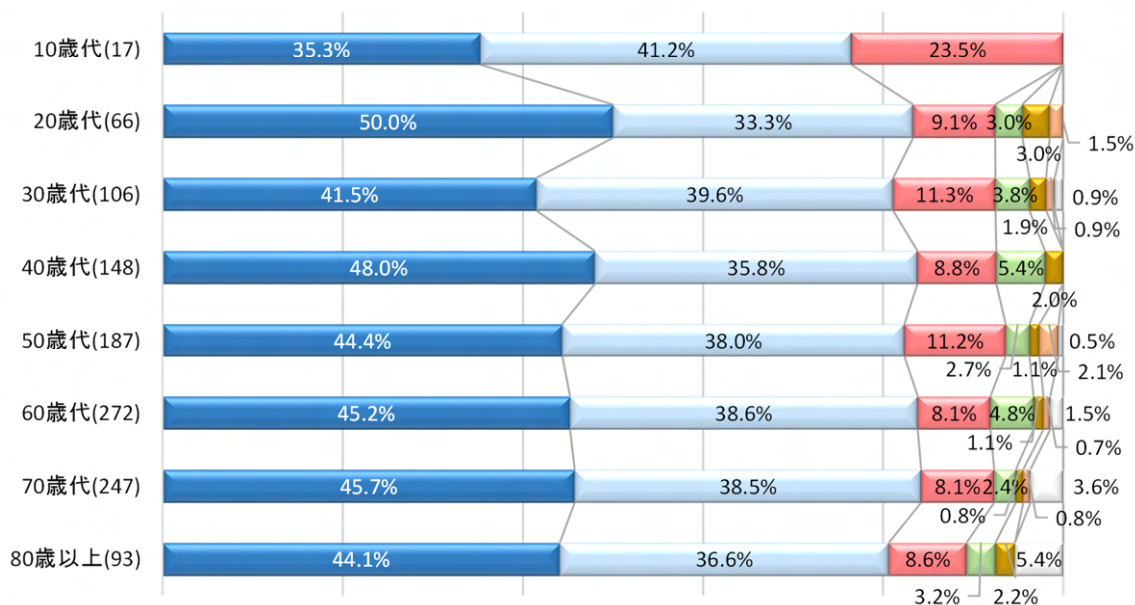
経年変化を見ると、1 冊も本を読まない割合は前回調査より 0.6 ポイント高くなっており、徐々に高くなっていることが伺えます。

年代別に見ると、「0 冊」では 20 歳代が 50.0%、「1 冊～2 冊」と「3～5 冊」では 10 歳代が他の年代よりも高くなっています。

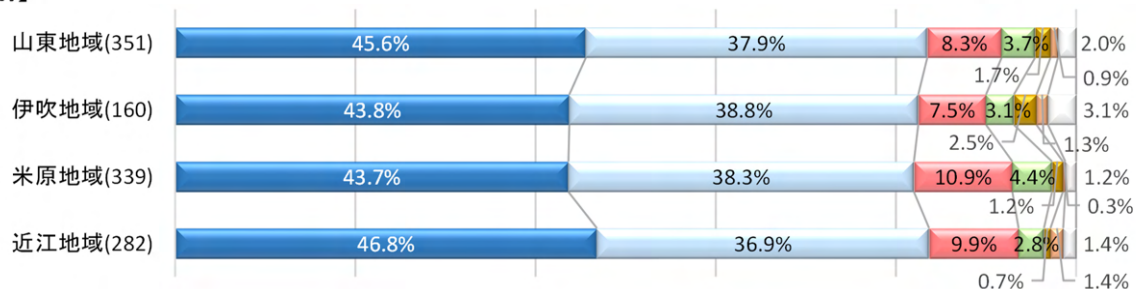
地域別に見ると、「0 冊」では近江地域が 46.8%、「1～2 冊」では伊吹地域が 38.8%と、他の地域よりも高くなっています。



【年代別】



【地域別】



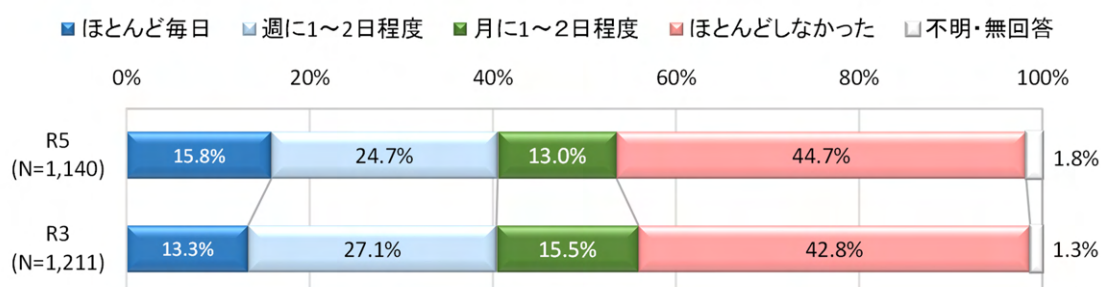
問 15 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度で運動、体操やスポーツを行いましたか。(1つ)

運動習慣については「ほとんど毎日」「週に1～2日程度」「月に1～2日程度」を合わせた『月に1日以上運動をする』が53.5%で、その内「週に1～2日程度」が24.7%と最も高くなっています。

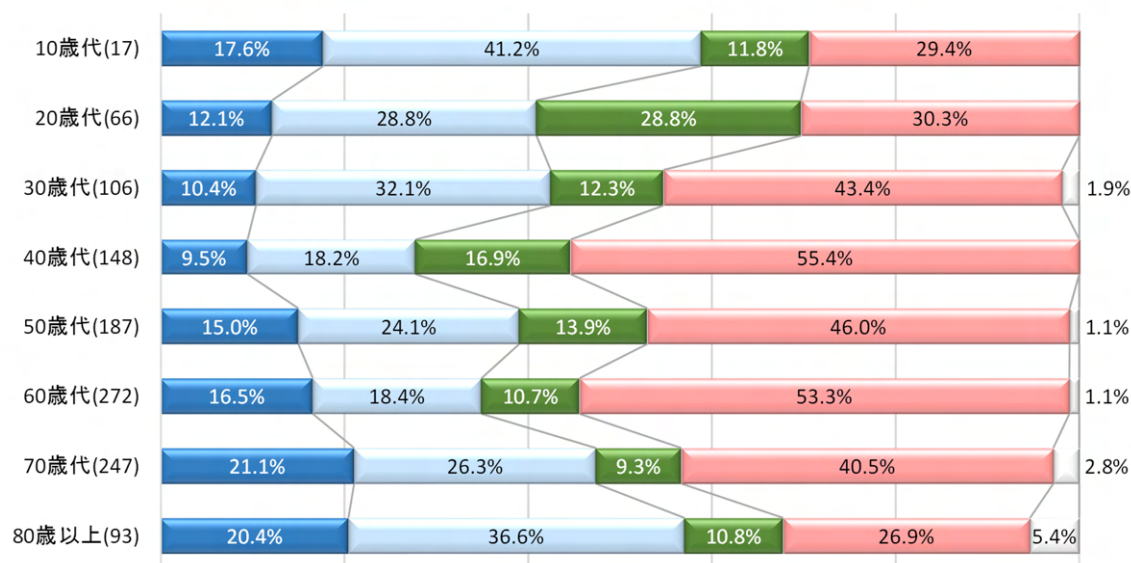
前回調査と比較すると、『月に1日以上運動をする』については、2.4ポイント低くなっています。

年代別に見ると、40歳代と60歳代で「ほとんどしなかった」が半数を超えています。

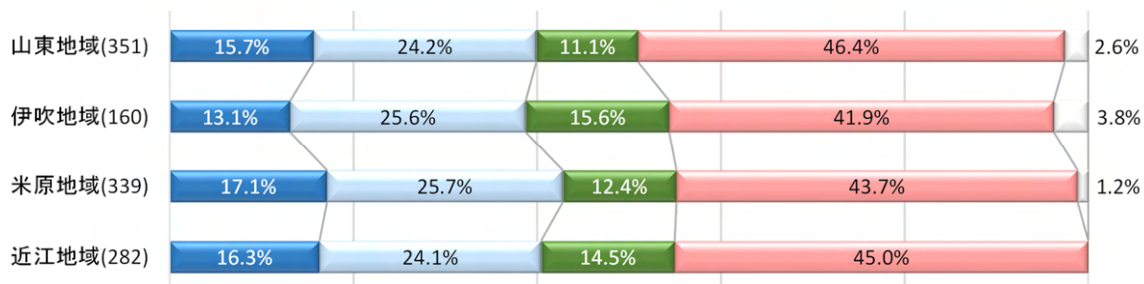
地域別に見ると、どの地域でも『月に1日以上運動をする』の割合は半数を超えています。



【年代別】



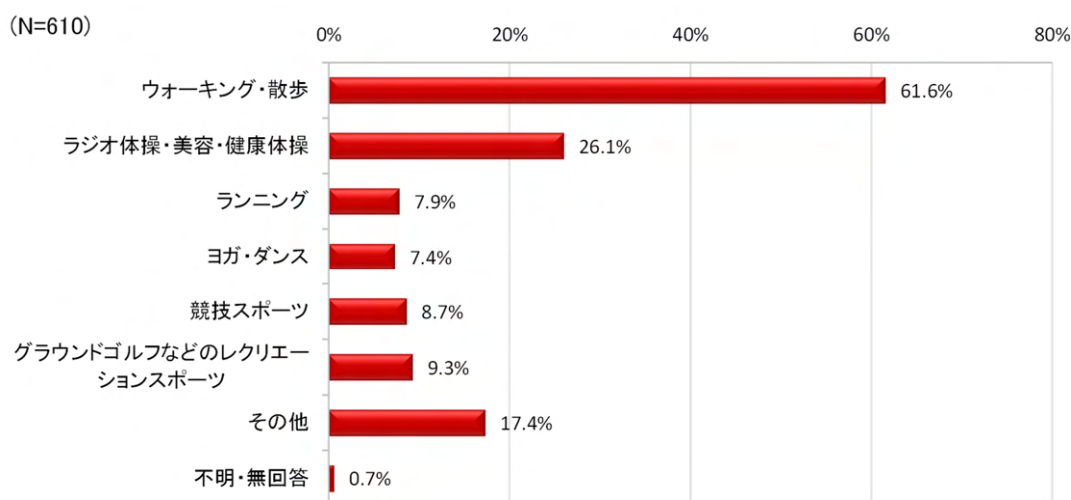
【地域別】



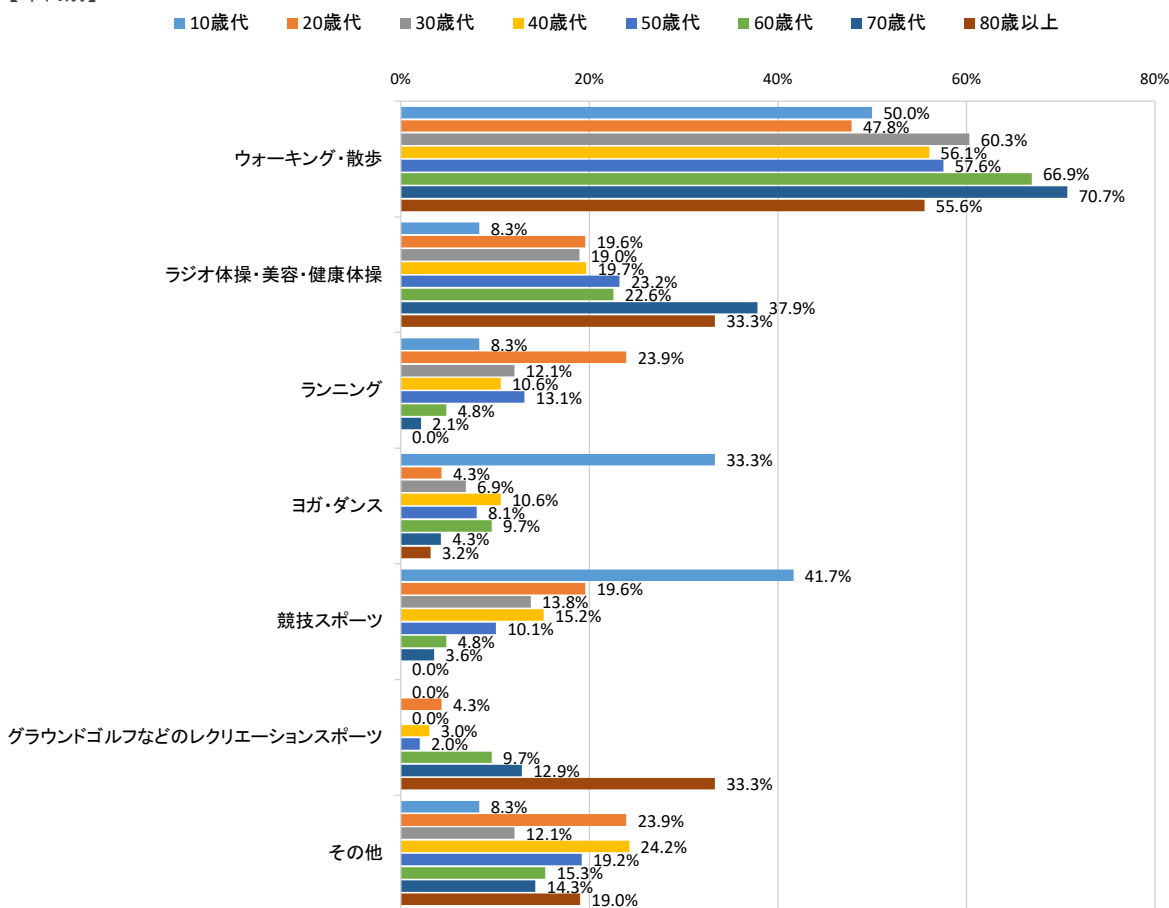
付問3 【問15で「ほとんど毎日」、「週に1～2日程度」、「月に1～2日程度」と答えられた方】 どのような運動、体操、スポーツを行いましたか。（あてはまるものすべて）

運動習慣については『月に1日以上運動をする』と答えた方の内訳を見ると、「ウォーキング・散歩」が61.6%と最も高く、次いで「ラジオ体操・美容・健康体操」が26.1%、「その他」が17.4%となっています。「その他」の具体的な運動としてはゴルフ、サイクリング、スイミング、登山等などが挙がっています。

年代別で見ると、「ウォーキング・散歩」では60歳代と70歳代が、「ラジオ体操・美容・健康体操」では70歳代以上が、他の年代よりもそれぞれ高くなっています。

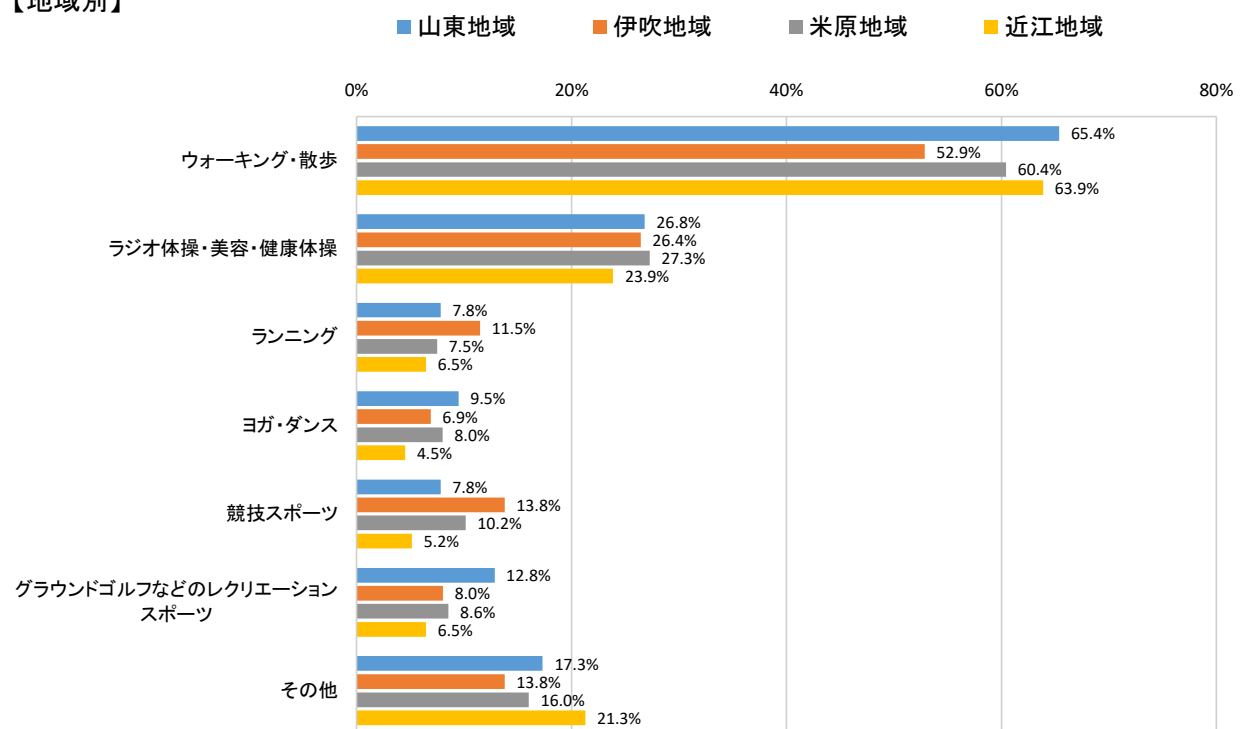


【年代別】



地域別で見ると、「ウォーキング・散歩」では山東地域が他の地域よりも高くなっています。
また、「ラジオ体操・美容・健康体操」では近江地域が他の地域よりも低くなっています。

【地域別】

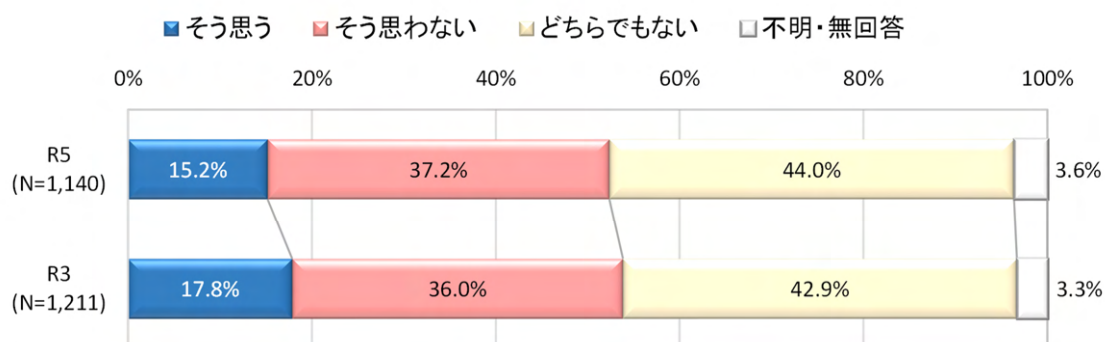


問 16 あなたは、職場や地域で女性が活躍できる環境が整っていると思いますか。 (1つ)

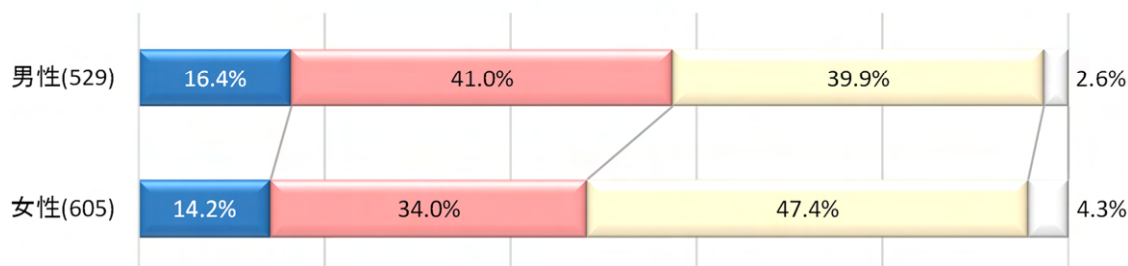
職場や地域で女性が活躍できる環境が整っていると思いますかについては、「そう思う」が15.2%、「そう思わない」が37.2%となっており、前回調査と比較すると、「そう思う」が2.6ポイント低くなっています。

性別に見ると、「そう思わない」が男性で41.0%と女性より7.0ポイント高くなっています。

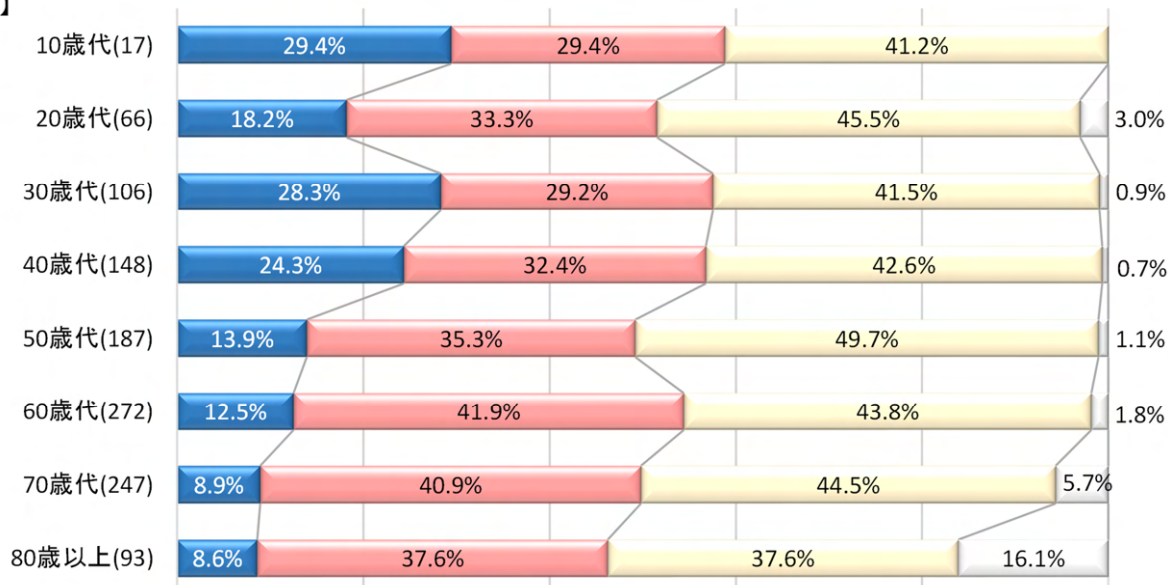
年代別に見ると、「そう思う」が10歳代で最も高く29.4%、次いで30歳代で28.3%となっています。「そう思わない」は60歳代以上で高くなっています。



【性別】



【年代別】

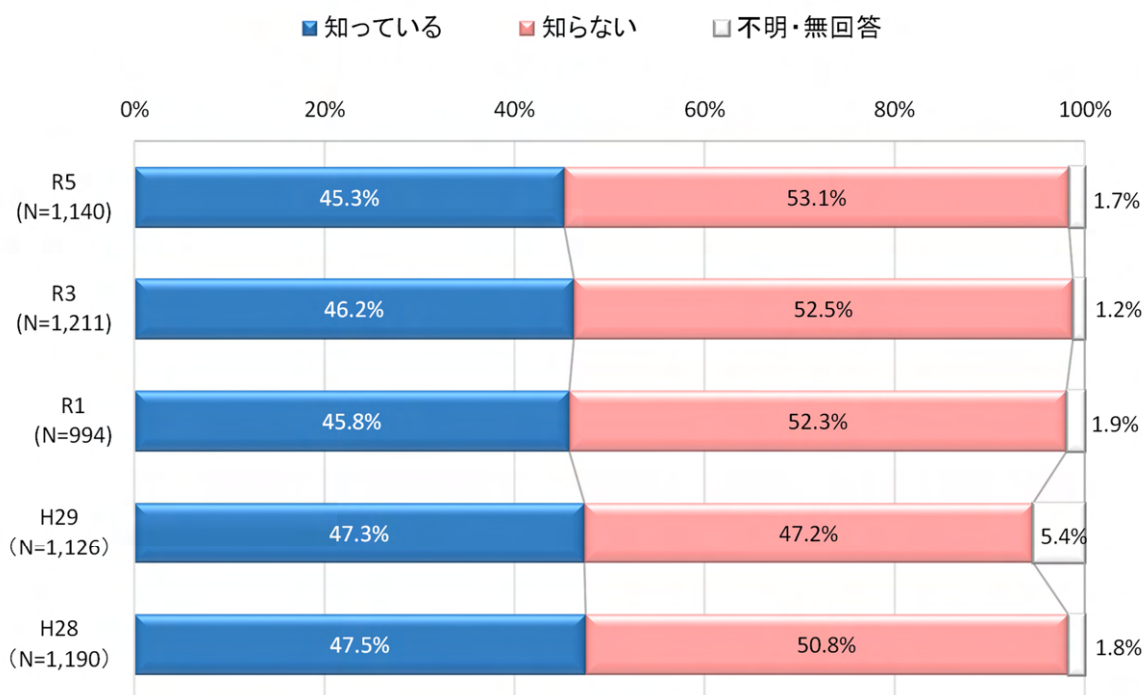


問 17 あなたは、市が「非核・平和都市宣言のまち」であることをご存じですか。 (1つ)

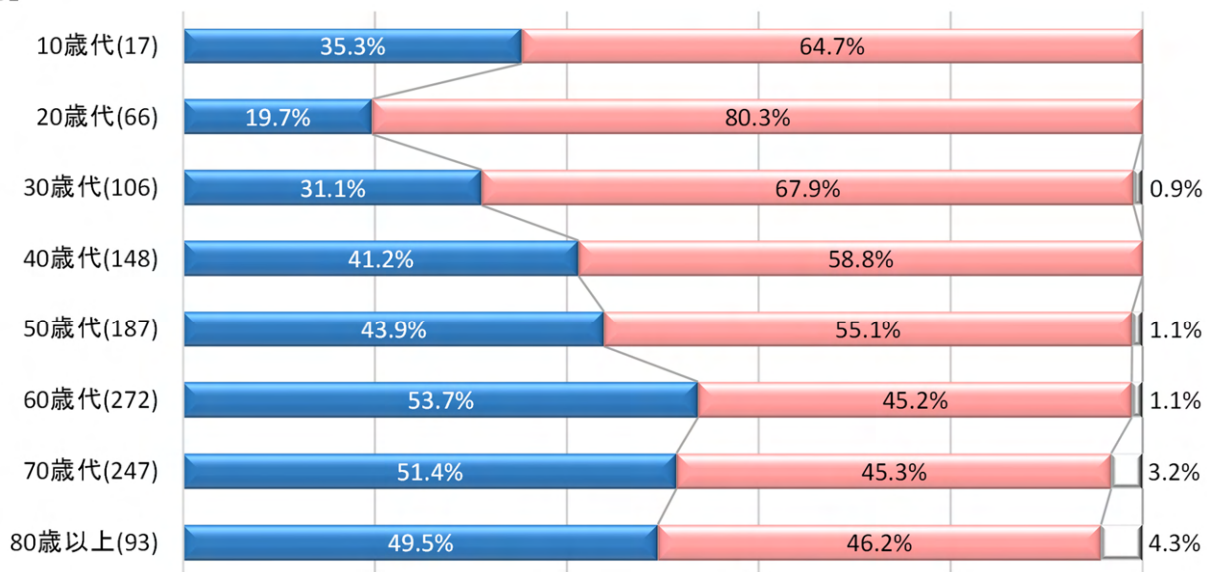
市が「非核・平和都市宣言のまち」であることの認知度については、「知っている」が45.3%、「知らない」が53.1%となっています。

経年変化で見ると、前回調査から「知っている」が0.9ポイント低くなっています。依然として「知っている」が半数以下であり、今後とも認知度を高めていく活動が必要です。

年代別に見ると、「知っている」が20歳代で最も低く、年代が上がるにつれて認知度の割合が高くなる傾向が伺えます。



【年代別】



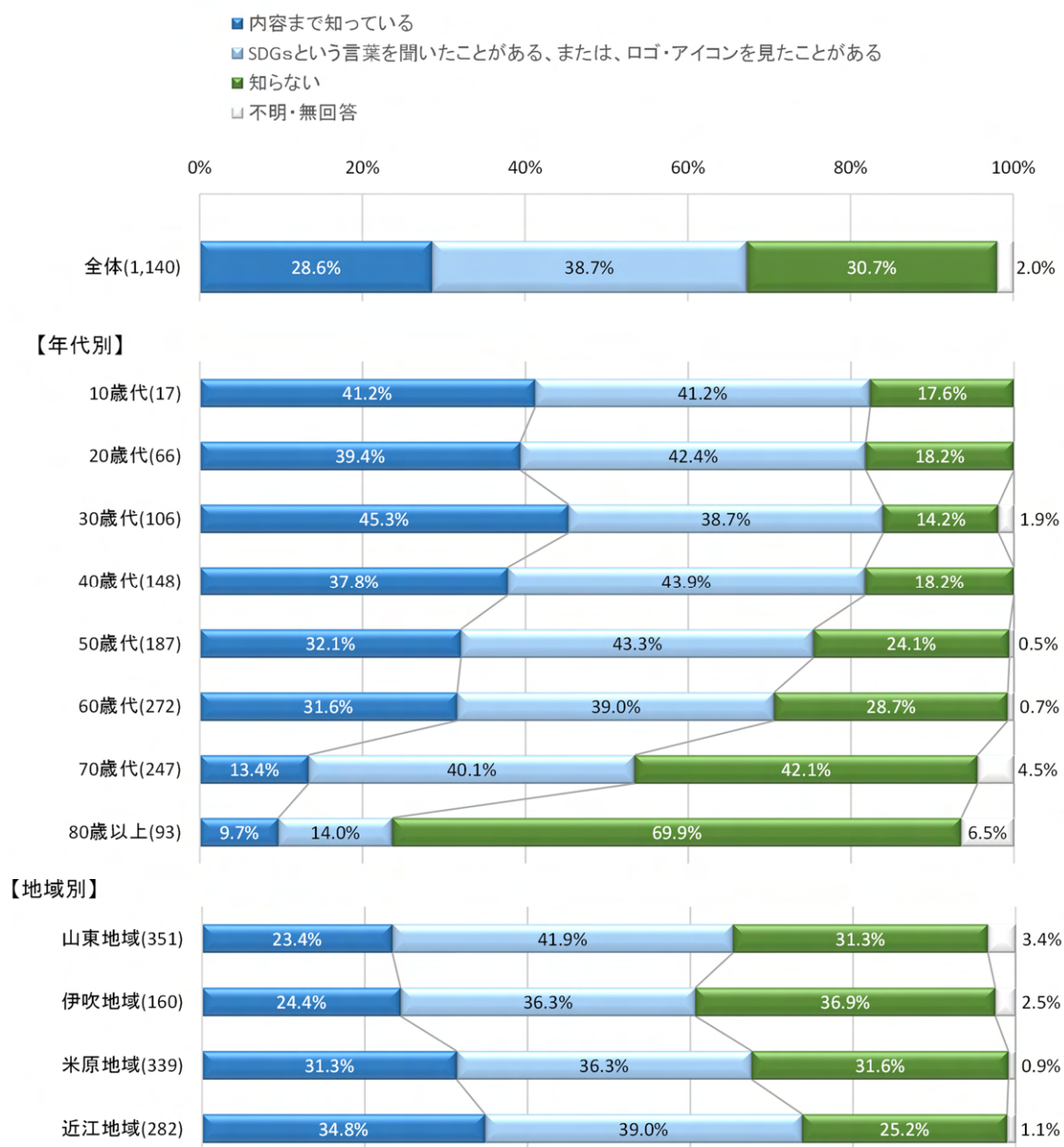
3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり に関する設問です。

問 18 あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。(1つ)

SDGsについてどの程度知っているかでは、「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴ・アイコンを見たことがある」は38.7%と最も高く、次いで「知らない」が30.7%、「内容まで知っている」は28.6%となっています。

年代別に見ると、「内容まで知っている」は30歳代で最も高く45.3%で、年代が上がるにつれて低くなる傾向が伺えます。

地域別に見ると、「内容まで知っている」は近江地域で高く、「知らない」は伊吹地域で高くなっています。

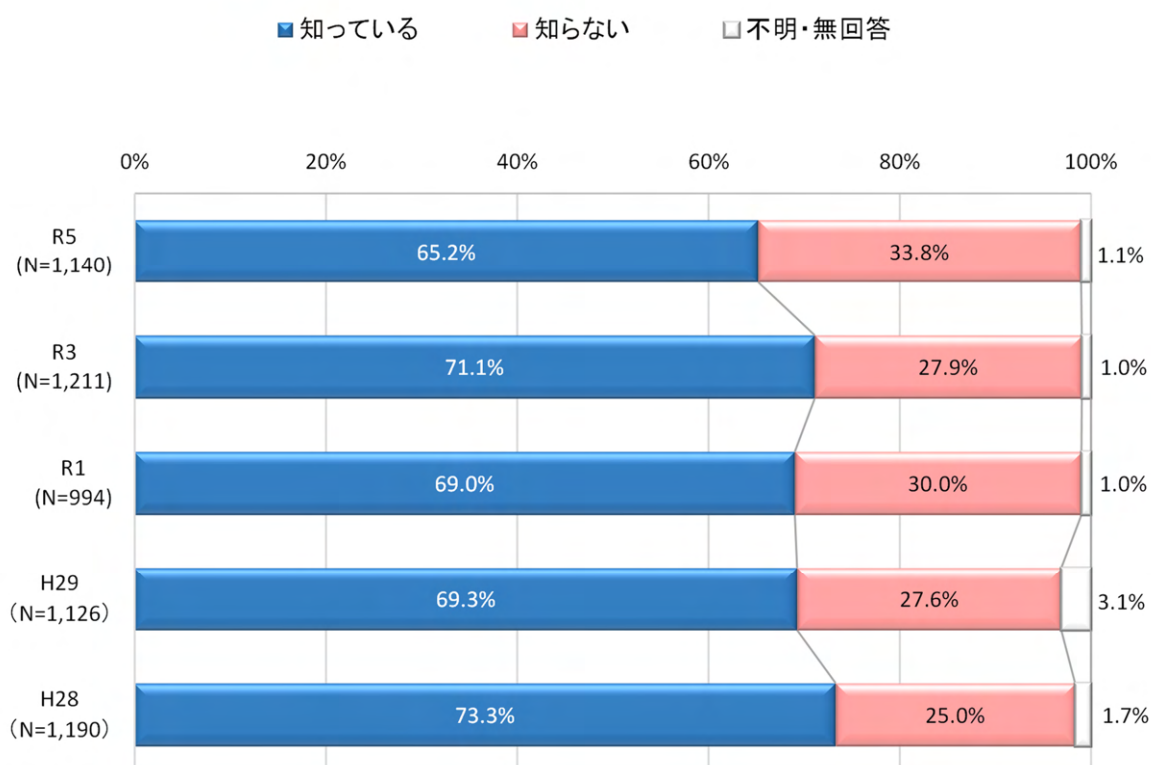


問 19 あなたは、「米原市蛍保護条例」で、市内全域がホタルの保護区域に定められていることをご存じですか。（1つ）

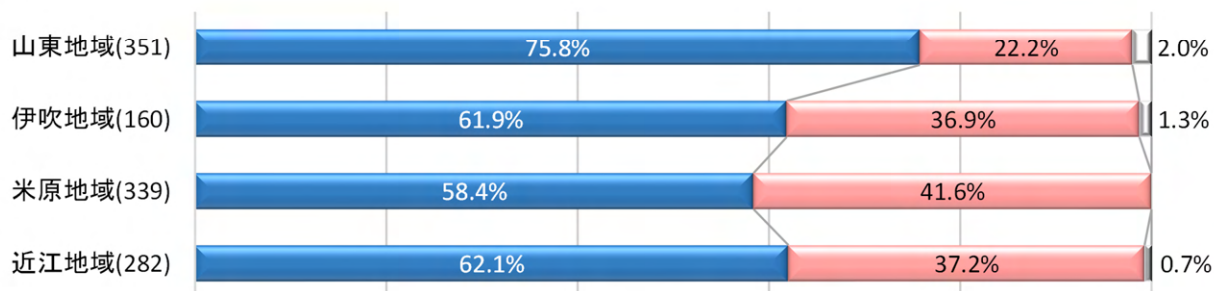
「米原市蛍保護条例」で市内全域がホタルの保護区域に定められていることの認知度について見ると、「知っている」が65.2%、「知らない」が33.8%となっています。

経年変化で見ると、「知っている」が前回調査より 5.9 ポイント低くなっています。

地域別に見ると、「知っている」が山東地域で 75.8%と最も高く、米原地域では 58.4%と低くなっています。



【地域別】

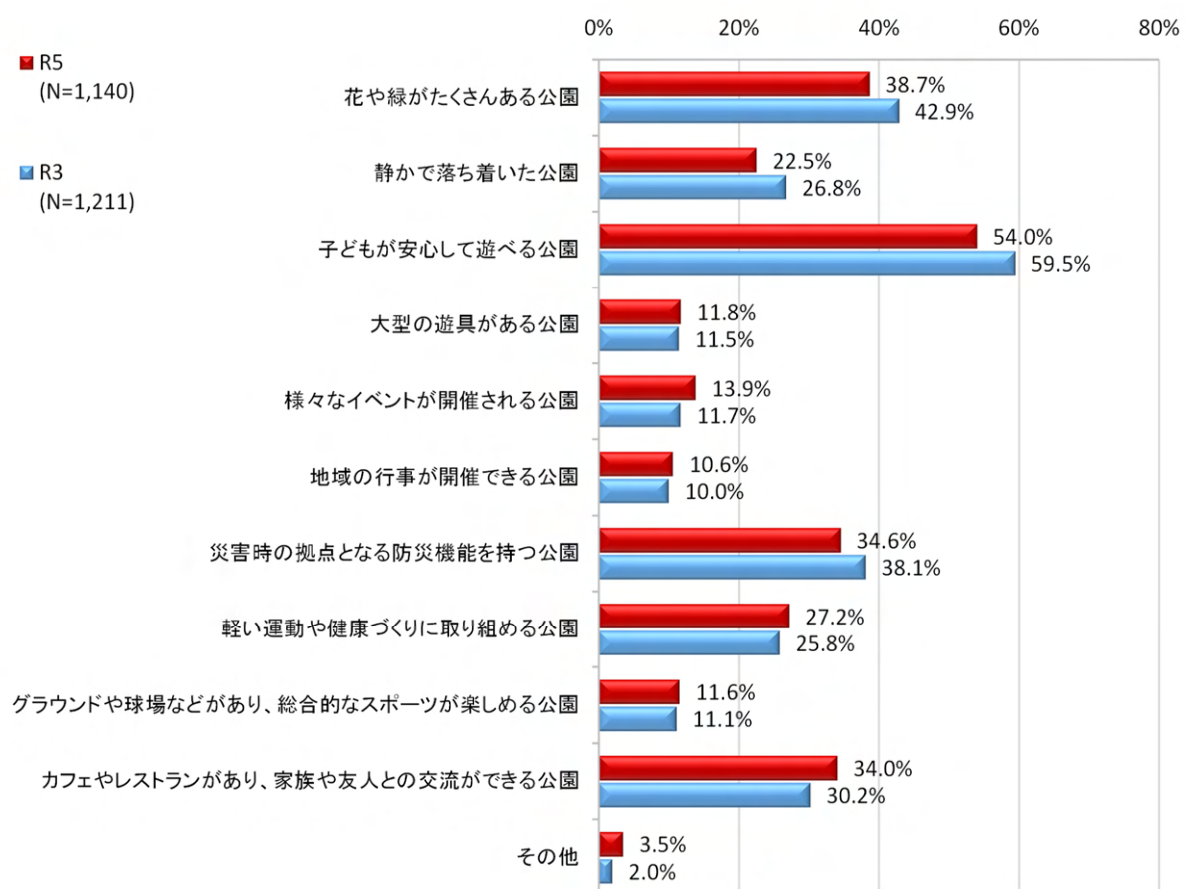


問 20 市では、市のシンボルとなるような市民公園づくりの検討を進めています。あなたは、どのような公園があればよいと思いますか。（3つ）

どのような公園があればよいと思いますかについて見ると、「子どもが安心して遊べる公園」が最も高く 54.0%、次いで「花や緑がたくさんある公園」が 38.7%、「災害時の拠点となる防災機能を持つ公園」が 34.6%となっています。

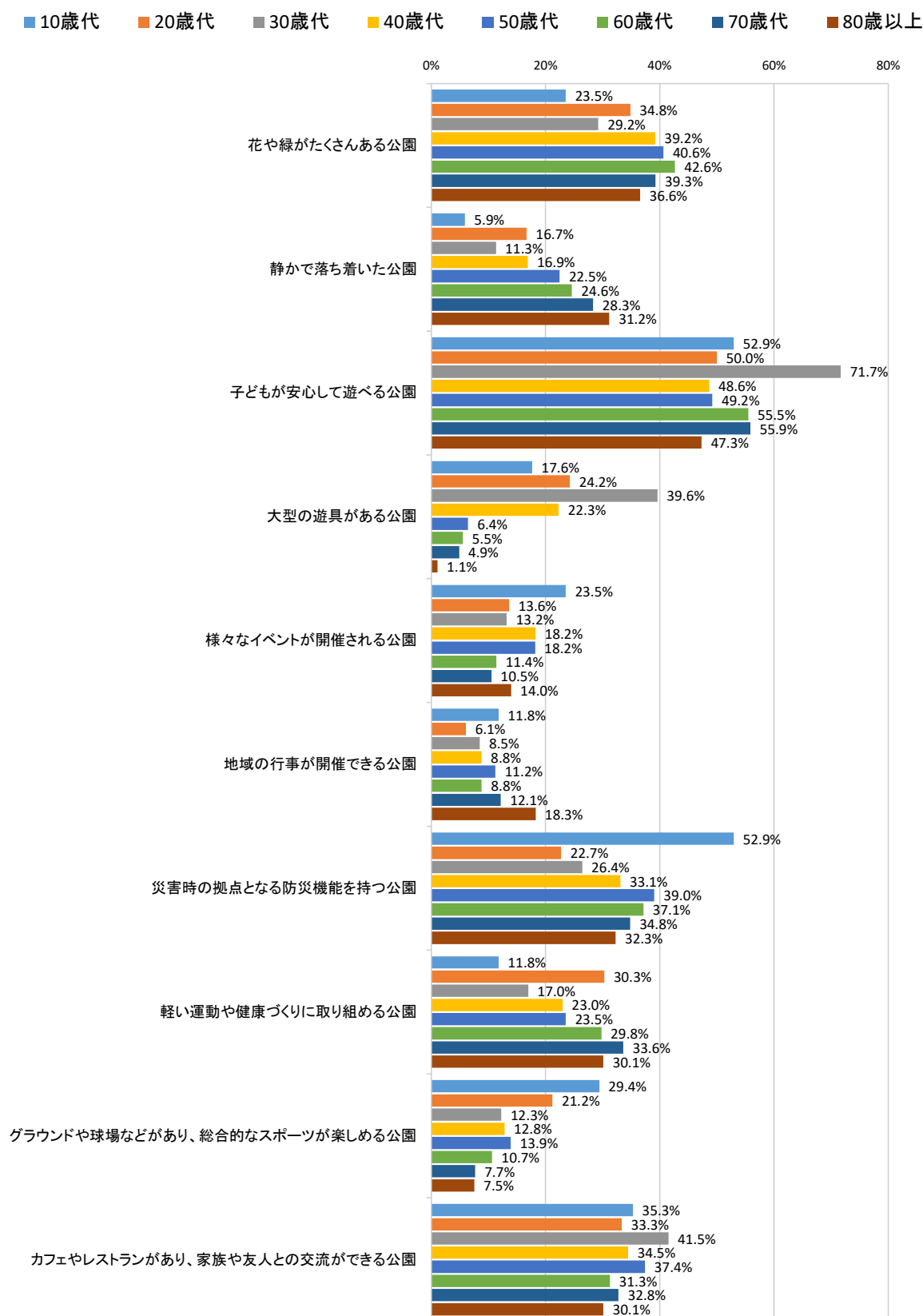
一方、「大型の遊具がある公園」「様々なイベントが開催される公園」「地域の行事が開催できる公園」「グラウンドや球場などがあり、総合的なスポーツが楽しめる公園」がそれぞれ1割台と低くなっています。

前回調査との比較では、概ね同様な割合になっています。



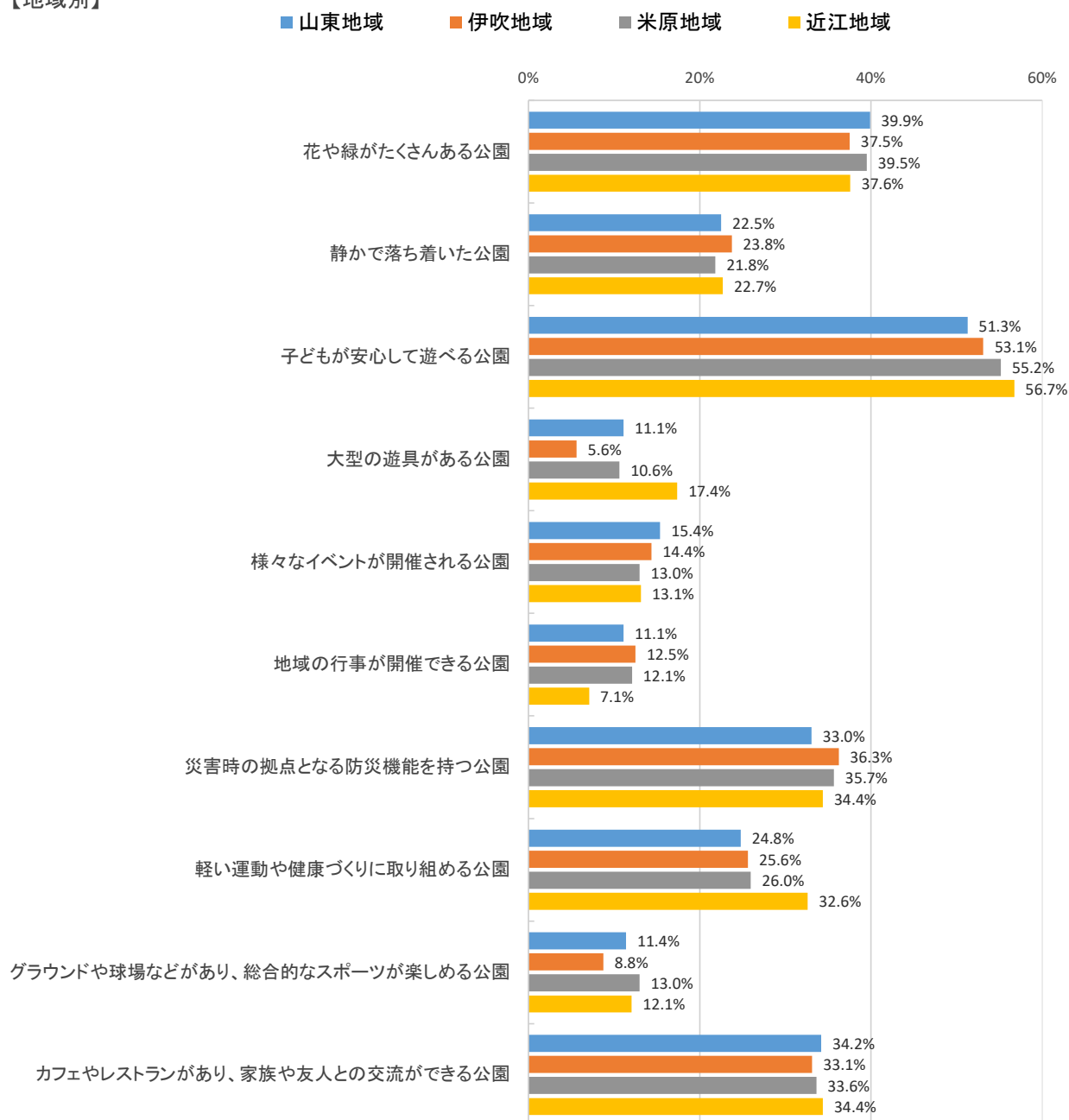
年代別に見ると、「子どもが安心して遊べる公園」は30歳代で、「花や緑がたくさんある公園」は40歳代以上で、「災害時の拠点となる防災機能を持つ公園」は10歳代でそれぞれ高くなっています。

【年代別】



地域別に見ると、「子どもが安心して遊べる公園」は近江地域で、「花や緑がたくさんある公園」は山東地域と米原地域で、「災害時の拠点となる防災機能を持つ公園」は伊吹地域と米原地域で、それぞれ高くなっています。

【地域別】

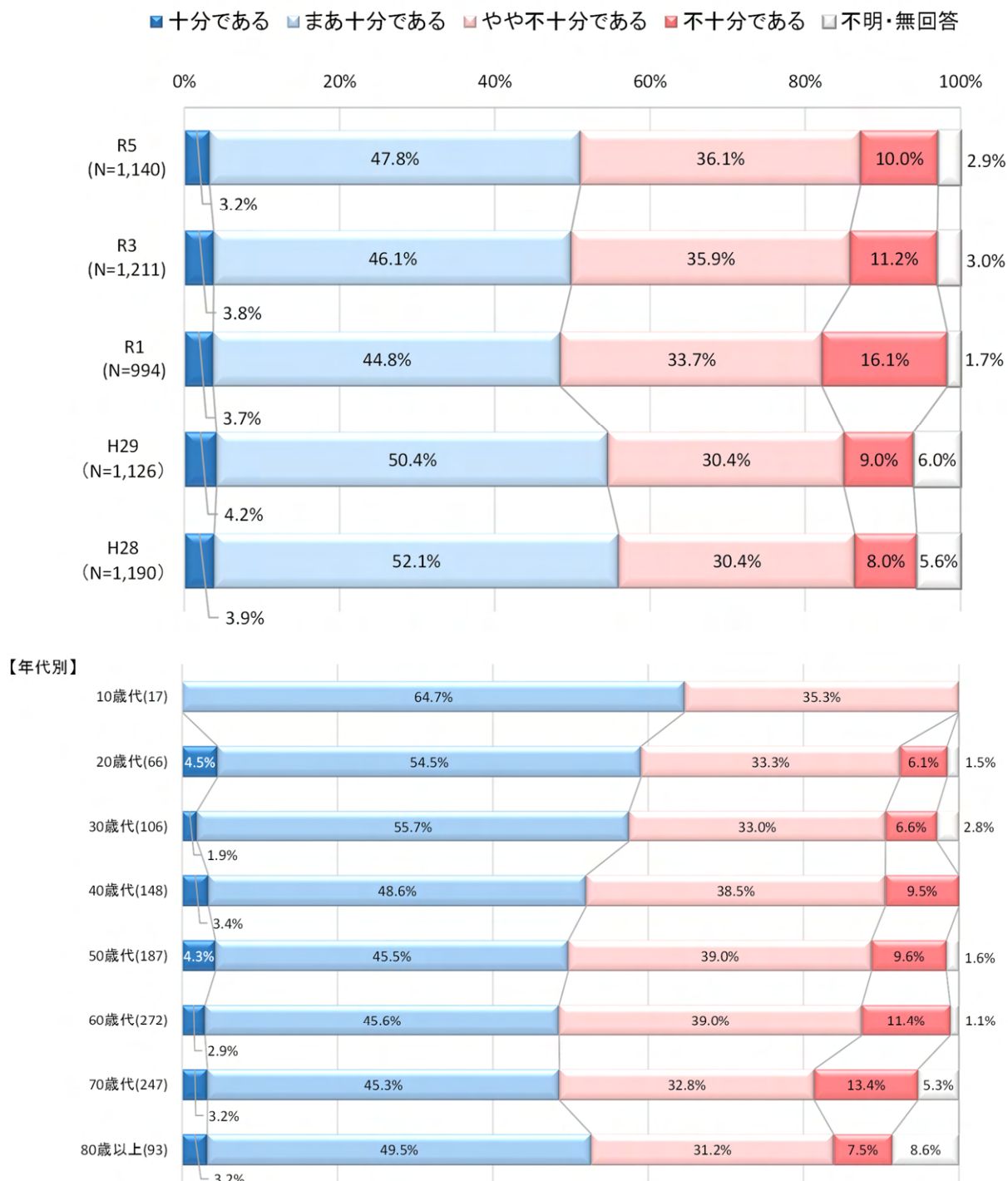


問 21 あなたは、災害時の市からの情報伝達体制は十分だと思いますか。（１つ）

災害時の市からの情報伝達体制について見ると、「十分である」と「まあ十分である」を合わせた『十分である』は51.0%、「不十分である」と「やや不十分である」を合わせた『不十分である』は46.1%となっています。

経年変化で見ると、『十分である』は前回調査から1.1ポイント高くなり、5割を超えました。

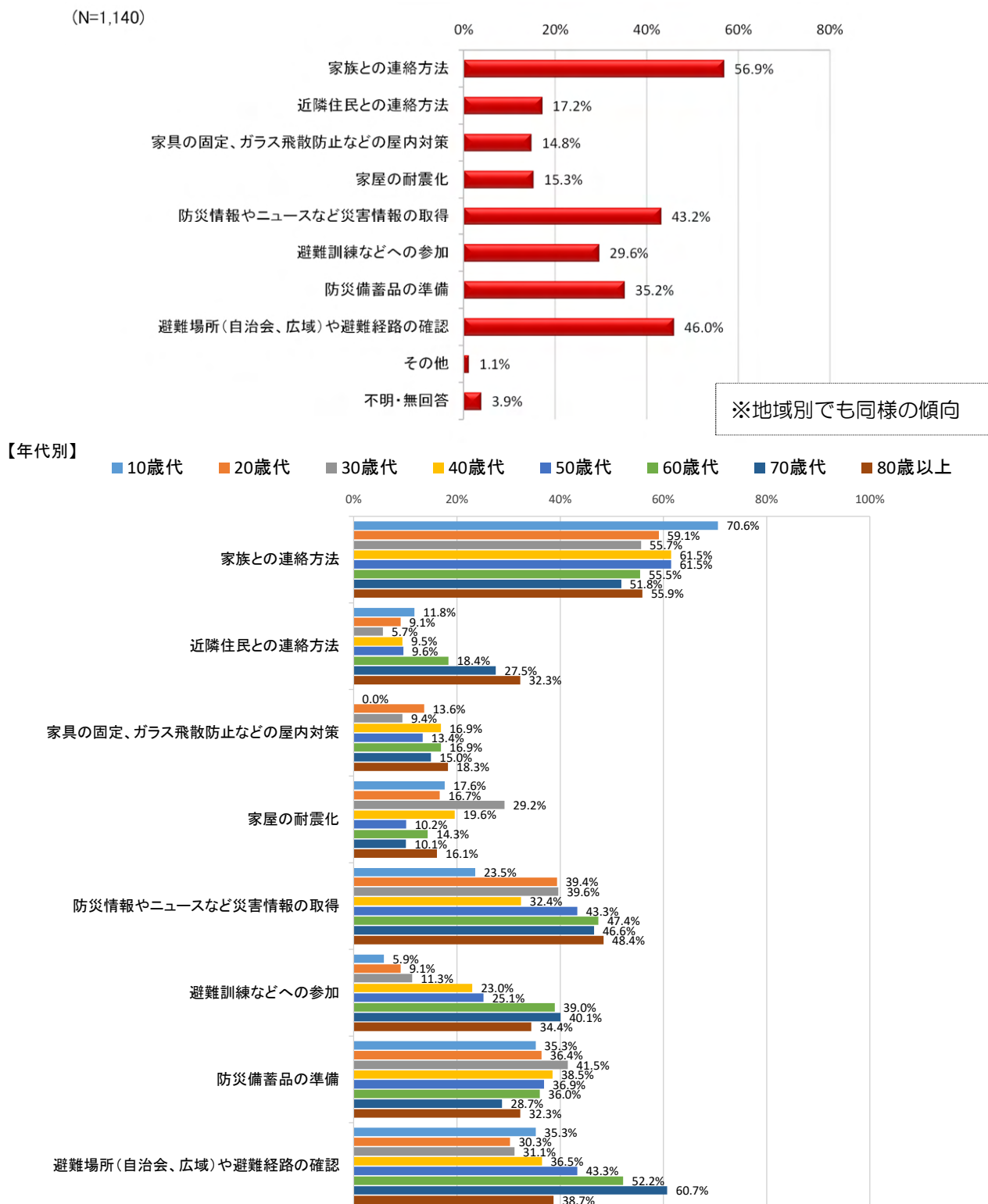
年代別に見ると、『十分である』が最も高いのは10歳代の64.7%であり、『不十分である』が最も高いのは60歳代の50.4%となっています。



問 22 自分でできる災害対策として、日頃から何を備えていますか。 (あてはまるものすべて)

災害対策としての日頃からの備えについて見ると、「家族との連絡方法」が56.9%、「避難場所（自治会、広域）や避難経路の確認」が46.0%、「防災情報やニュースなど災害情報の取得」が43.2%となっています。

年代別に見ると、「家族との連絡方法」が10歳代で高く、「避難場所（自治会、広域）や避難経路の確認」と「防災情報やニュースなど災害情報の取得」は年代が上がるほど高くなる傾向が伺えます。

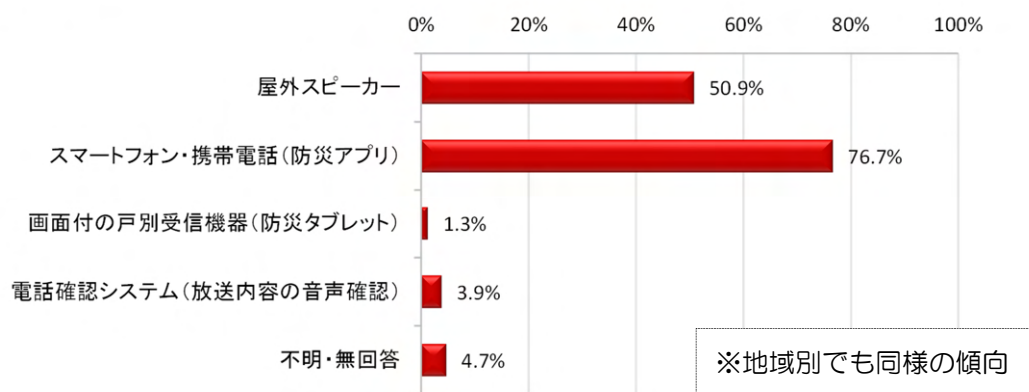


問 23 市では、市からの防災情報を屋外スピーカーやスマートフォンアプリなどを利用して文字や音声でお知らせする防災情報伝達システムを整備しています。
あなたは、市からの防災情報を得るために何を利用していますか。
(あてはまるものすべて)

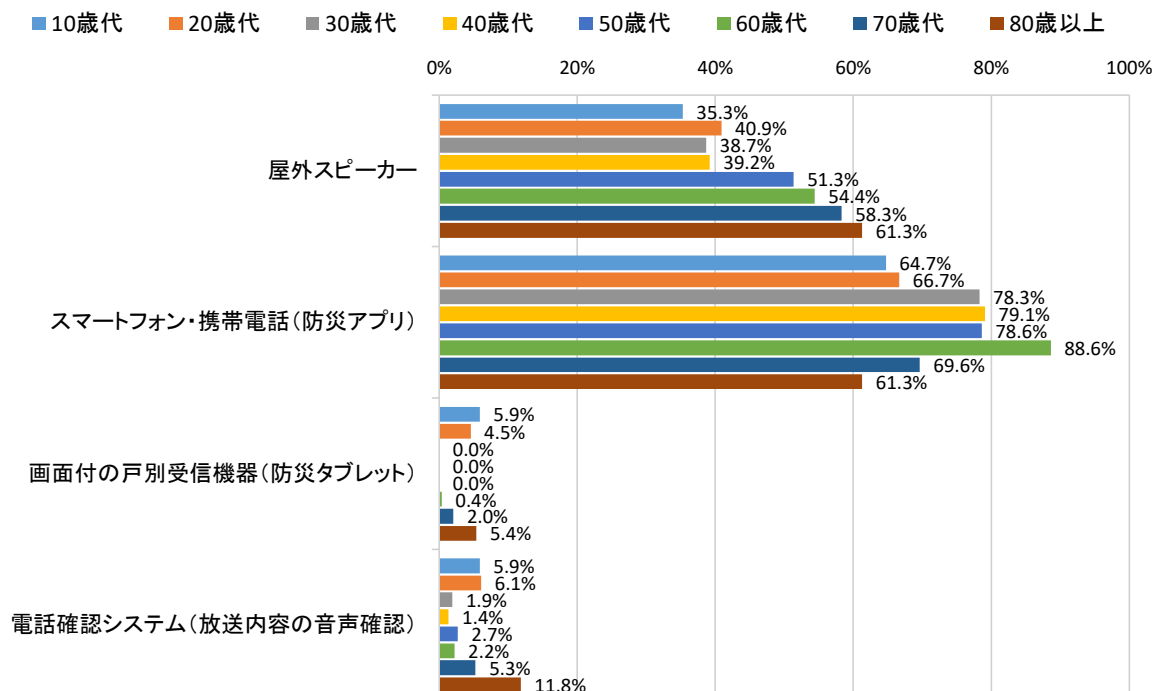
どのようなツールを利用して防災情報を得ているかについて見ると、「スマートフォン・携帯電話(防災アプリ)」が最も高く76.7%、次いで「屋外スピーカー」で50.9%となっています。一方、「電話確認システム(放送内容の音声確認)」は3.9%、「画面付の戸別受信機器(防災タブレット)」は1.3%と低くなっています。

年代別に見ると、「スマートフォン・携帯電話(防災アプリ)」は30～60歳代で7割を超えており、「屋外スピーカー」は年代が上がるほど高くなる傾向が伺えます。

(N=1,140)



【年代別】

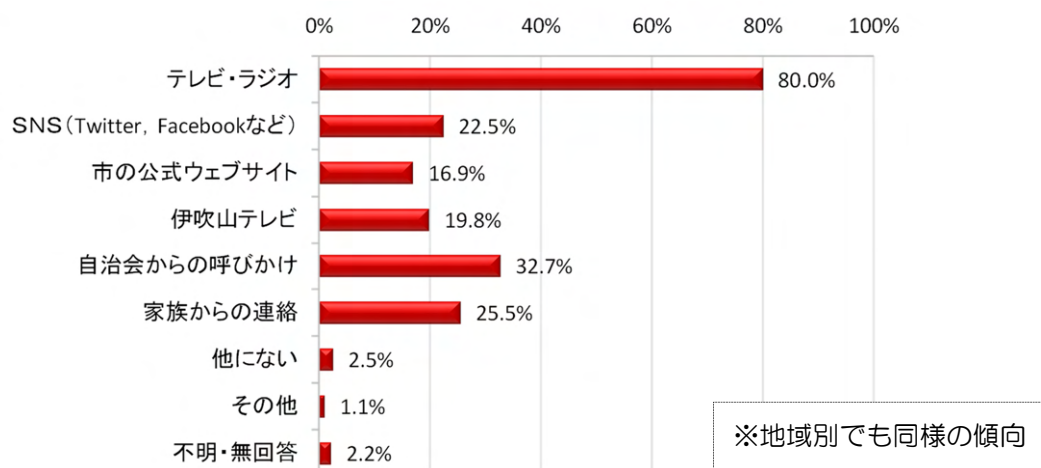


問 24 問 23 のほか、あなたはどのような方法で防災情報を得ていますか。
(あてはまるものすべて)

問 23 以外でどのような方法で防災情報を得ているかについて見ると、「テレビ・ラジオ」が最も高く 80.0%、次いで「自治会からの呼びかけ」が 32.7%、「家族からの連絡」が 25.5%となっています。

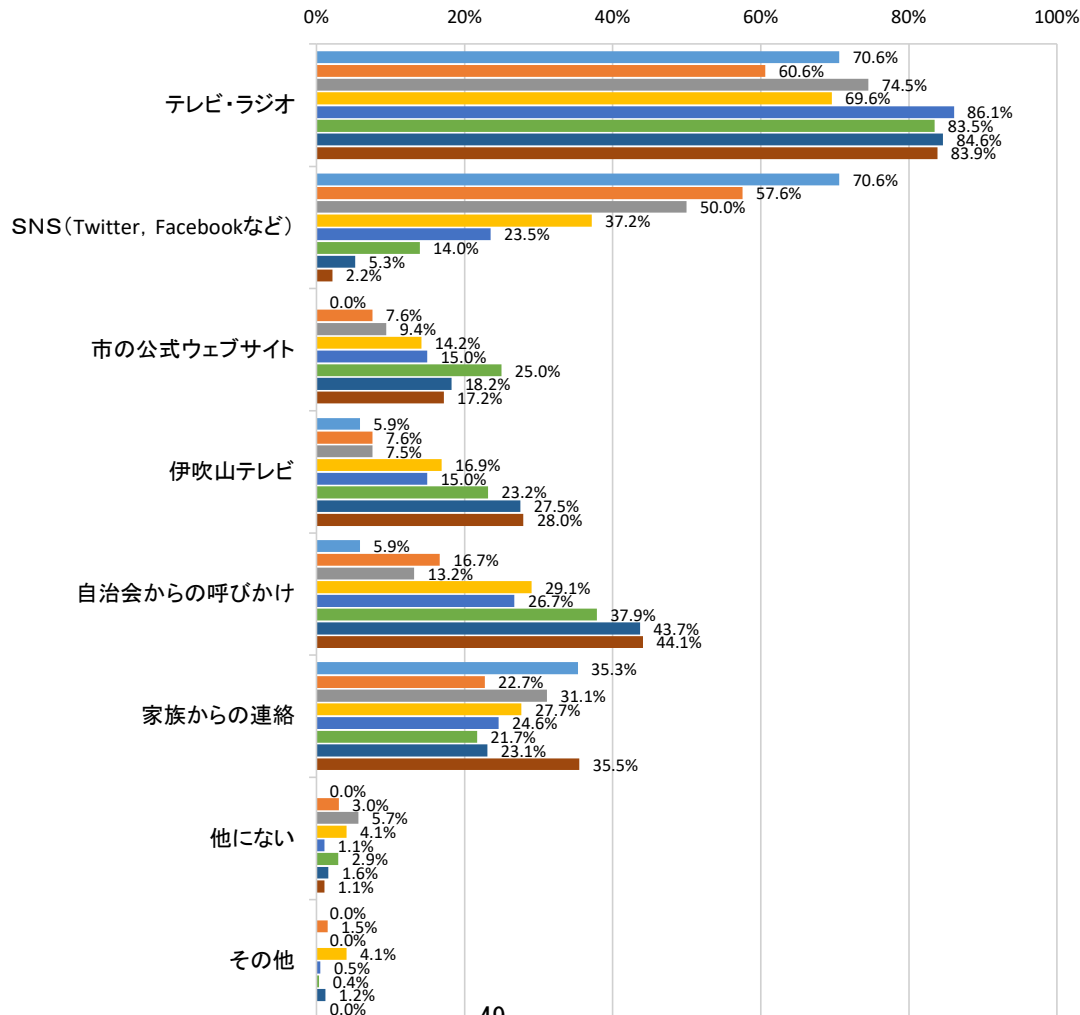
年代別に見ると、「テレビ・ラジオ」は全年代で高く、「SNS (Twitter, Facebook など)」は年代が上がるほど低く、「自治会からの呼びかけ」は年代が上がるほど高くなる傾向が伺えます。

(N=1,140)



【年代別】

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

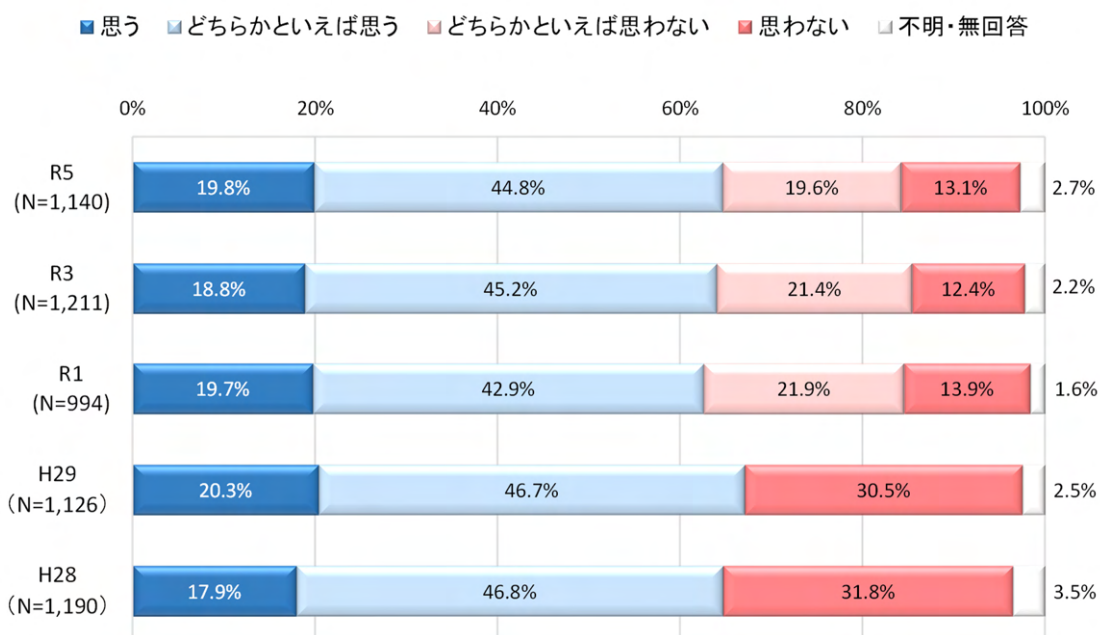


問 25 あなたは、米原市の水道水はおいしいと思いますか。(1つ)

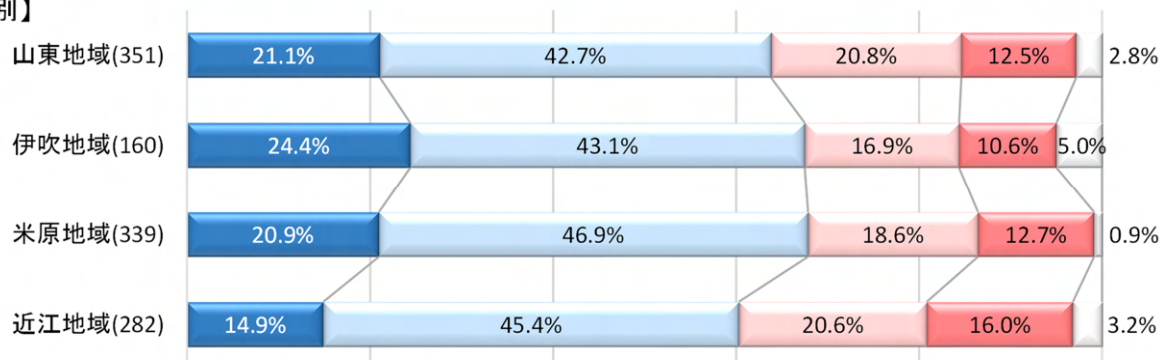
米原市の水道水はおいしいと思うかについて見ると、「思う」が19.8%、「どちらかといえば思う」が44.8%と、6割を超える市民がおいしいと思っています。

経年変化で見ると、水道水をおいしいと「どちらかといえば思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』は前回調査より1.1ポイント低くなっているものの、以前として3割台で推移しています。

地域別に見ると、米原地域と伊吹地域で「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が、他の地域よりも高くなっています。



【地域別】



※前々回調査(R1)から、「どちらかといえば思わない」と「思わない」を分けています。

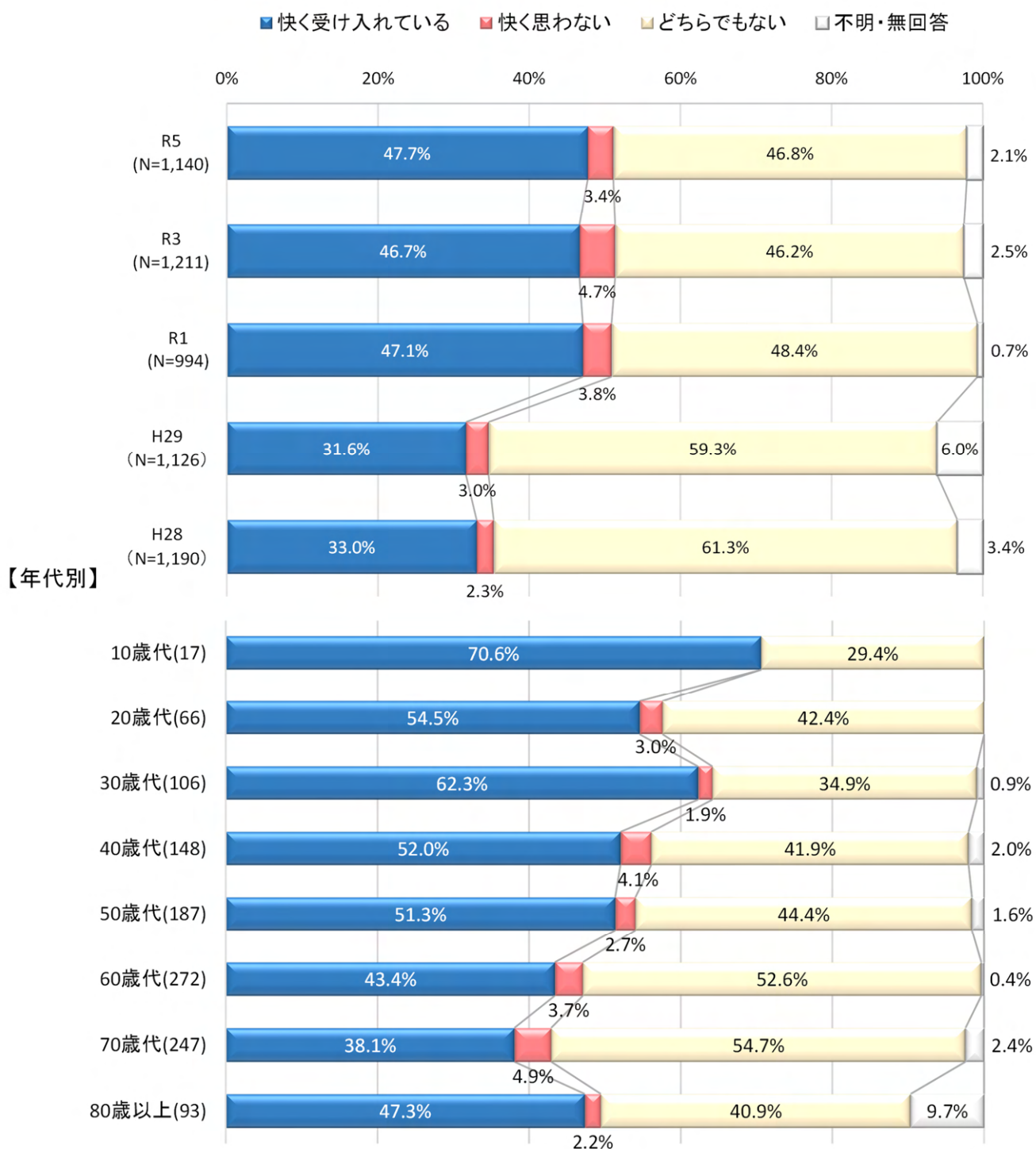
4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり に関する設問です。

問 26 あなたは、米原市を訪れる観光客など、お客さんを快く受入れていますか。（1つ）

米原市を訪れる観光客などのお客さんを快く受け入れているかについて見ると、「快く受け入れている」が47.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」が46.8%、「快く思わない」が3.4%となっています。

経年変化で見ると、前回調査と同等程度の結果となっています。

年代別に見ると、「快く受け入れている」が10歳代で最も高く70.6%、70歳代で38.1%と最も低くなっており、年代が上がるにつれて低くなる傾向が伺えます。



5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり に関する設問です。

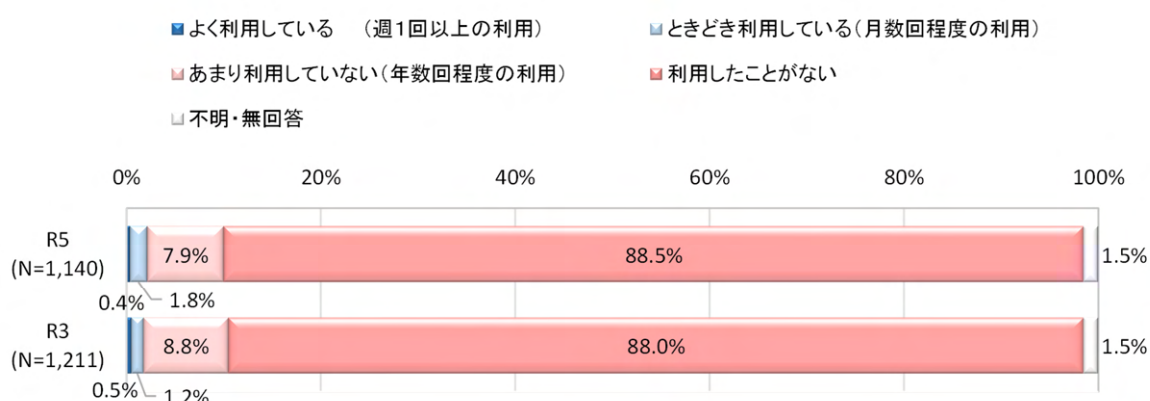
問 27 あなたは、市内を運行する路線バスを利用したことがありますか。(1つ)

市内を運行する路線バスの利用については、9 割近い方の回答が「利用したことがない」との結果でした。

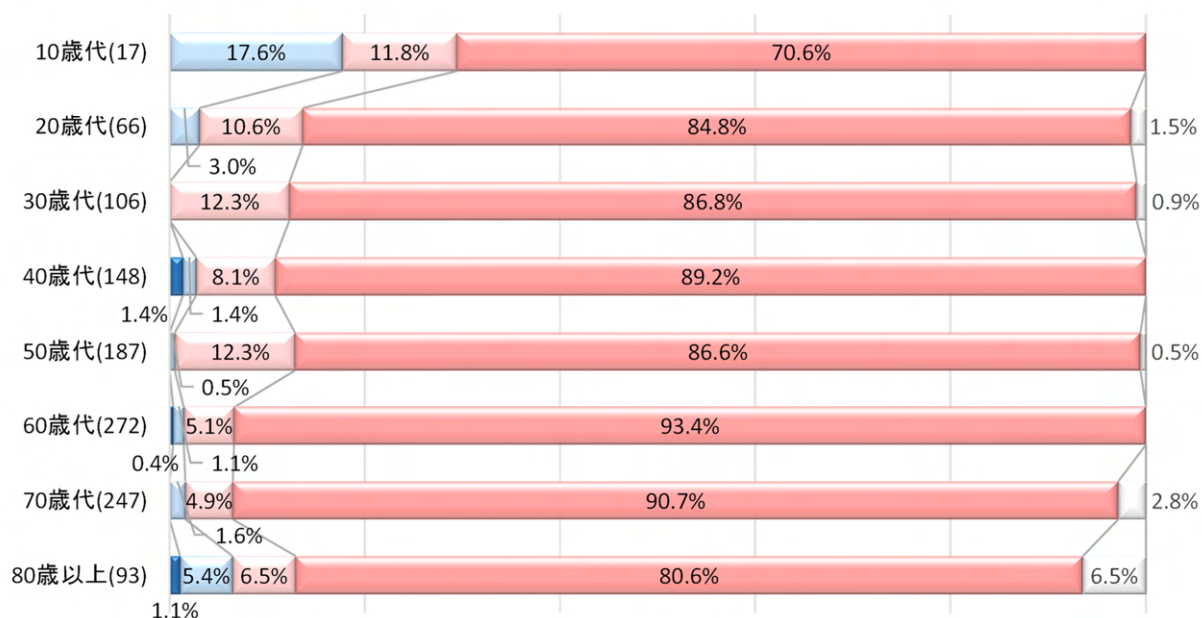
経年変化で見ると、前回調査と同等程度の結果となっています。

年代別に見ると、年に数回以上利用しているのは 10 歳代が 29.4%と最も高く、次いで 20 歳代が 13.6%、80 歳以上が 13.0%となっています。また、週に 1 回以上の利用では 40 歳と 80 歳以上で見受けられます。

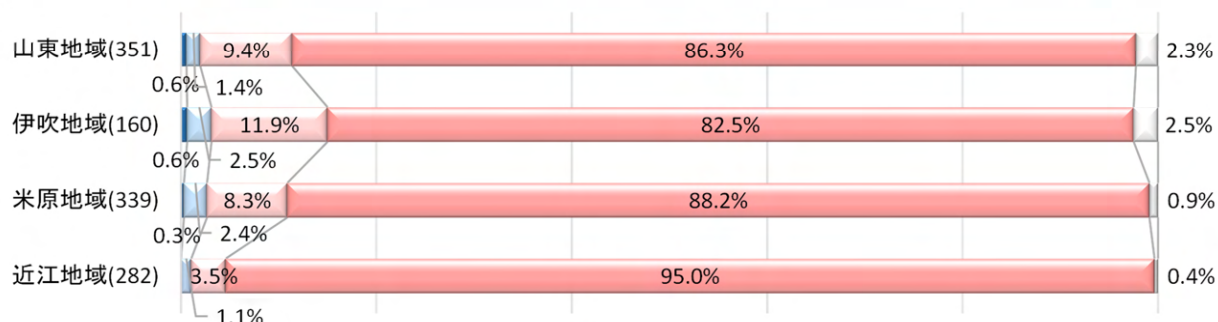
地域別に見ると、年に数回以上利用している方は伊吹地域が 15.0%と最も高く、近江地域が 4.6%と最も低くなっています。



【年代別】



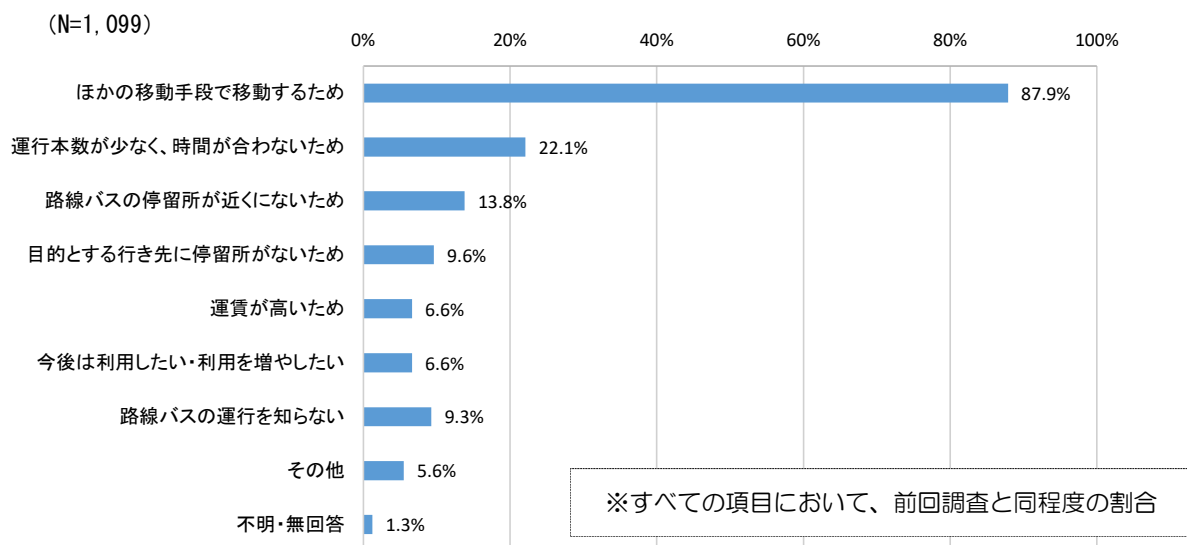
【地域別】



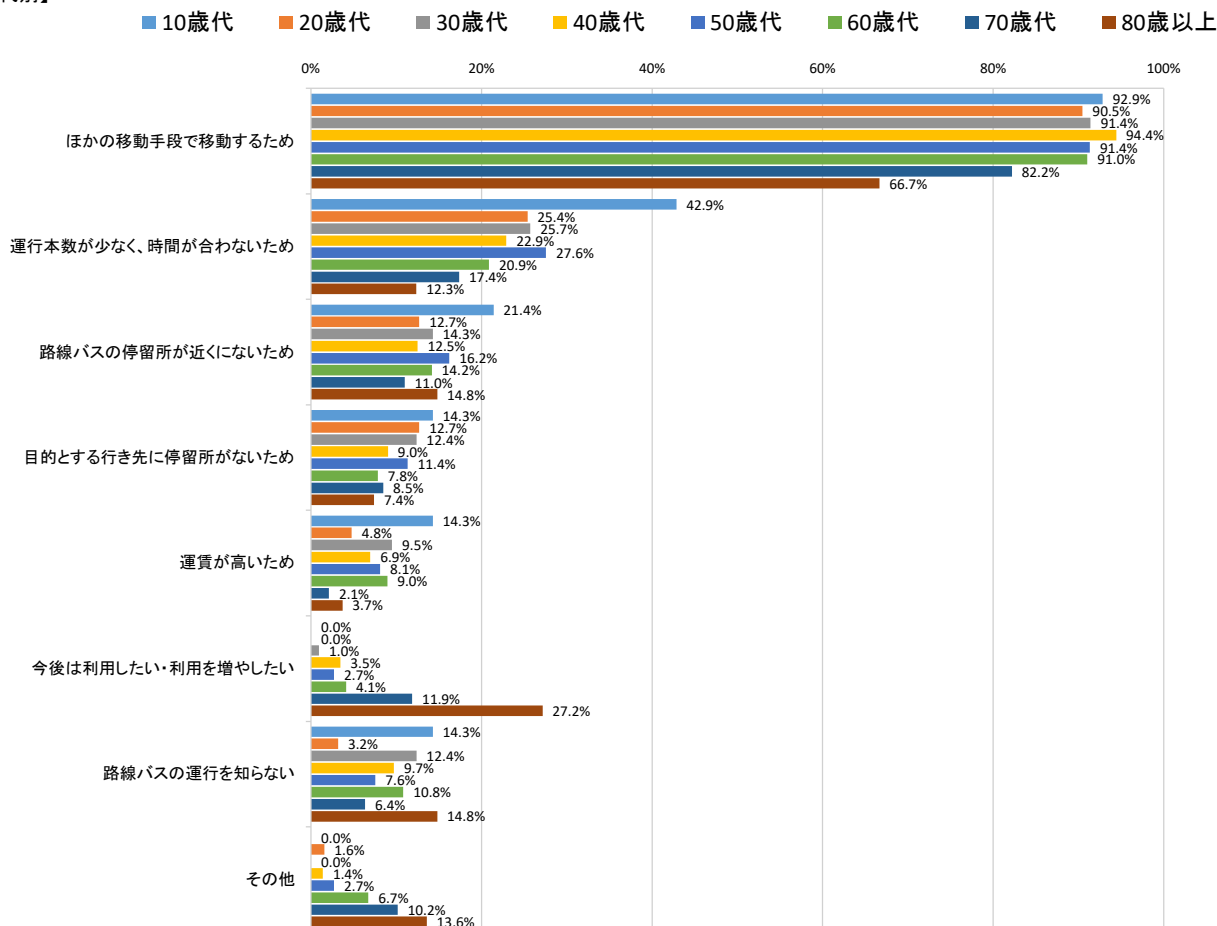
付問４ 【問２７で「あまり利用していない」、「利用したことがない」と答えられた方】
利用していない理由（利用数が少ない理由）などをお聞かせください。
（あてはまるものすべて）

路線バスを「あまり利用していない」または「利用したことがない」と答えられた方の理由について見ると、「ほかの移動手段で移動するため」が87.9%と最も高く、次いで「運行本数が少なく、時間が合わないため」が22.1%、「路線バスの停留所が近くにないため」が13.8%となっています。

年代別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では70歳代以上が他の年代よりも低くなっています。また、「今後は利用したい・利用を増やしたい」では80歳以上の割合が高くなっています。

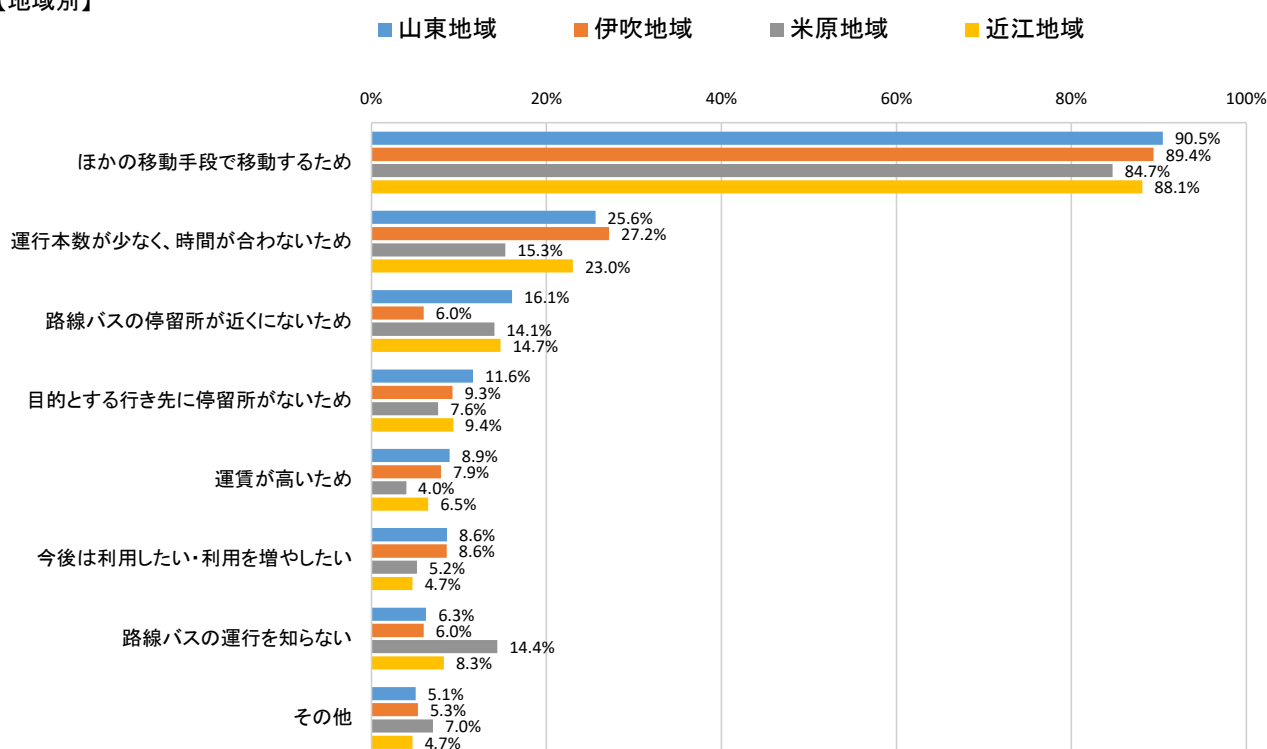


【年代別】



地域別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では米原地域が他の地域より低くなっています。
 また、「運行本数が少なく、時間が合わないため」では伊吹地域が、「路線バスの運行を知らない」では米原地域がそれぞれ高くなっています。

【地域別】



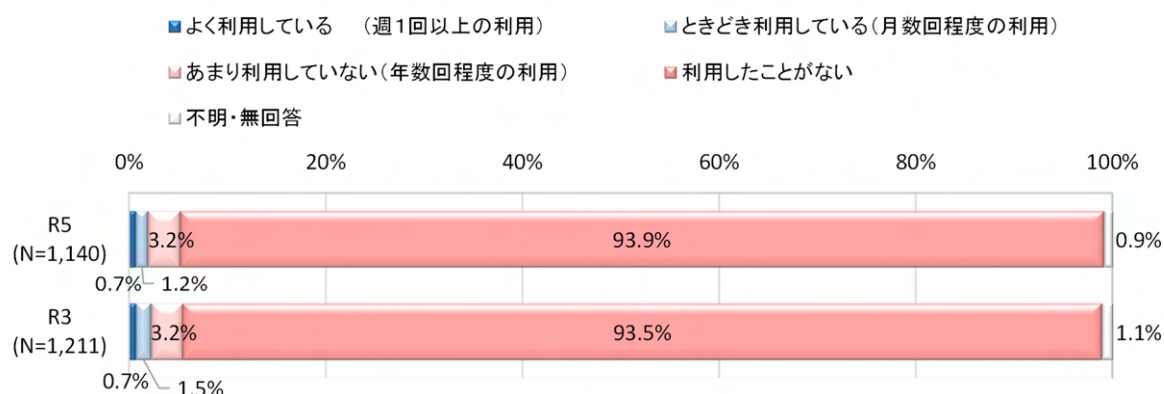
問 28 あなたは、乗合タクシー（まいちゃん号）を利用したことがありますか。（1つ）

乗合タクシー（まいちゃん号）の利用については、9割を超える方の回答が「利用したことがない」との結果でした。

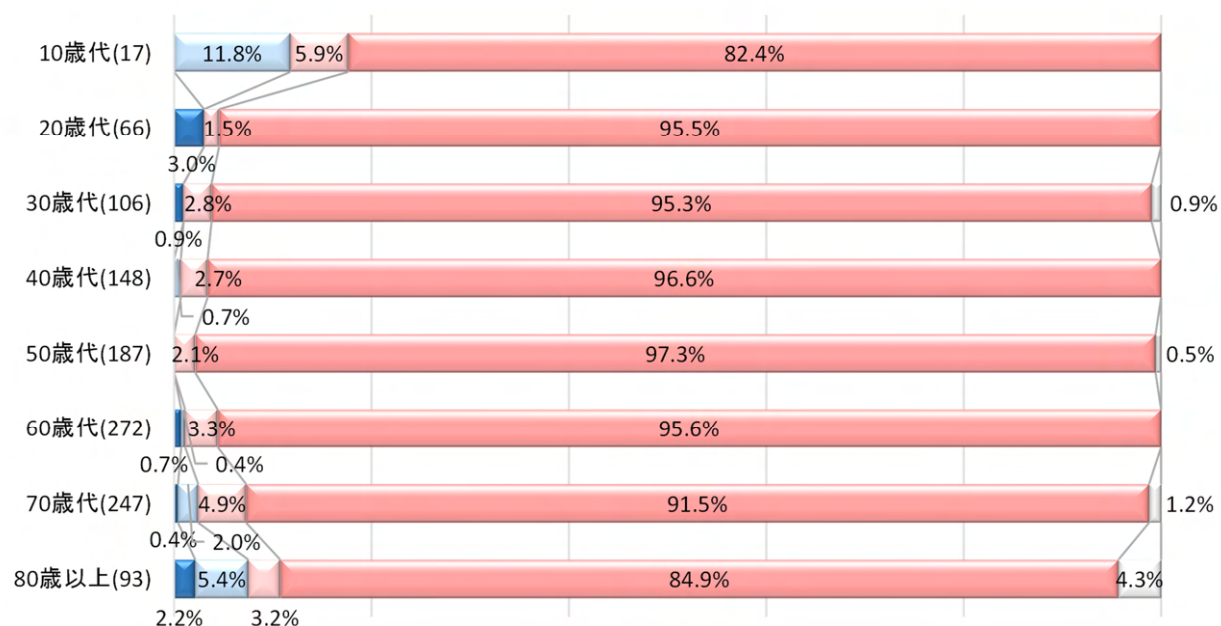
経年変化で見ると、前回調査と同等程度の結果となっています。

年代別に見ると、年に数回以上利用しているのは10歳代が最も高く17.7%、次いで80歳以上で10.8%となっています。週に1回以上の利用では20歳代と80歳以上で高くなっています。

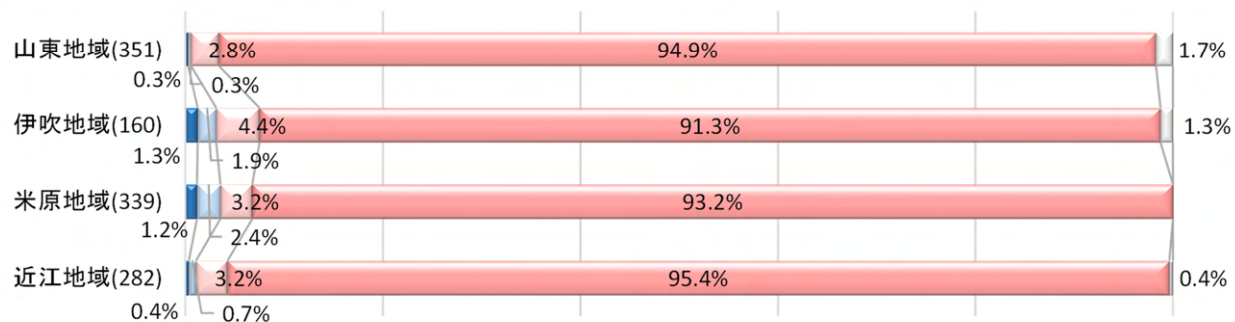
地域別に見ると、年に数回以上利用している方は伊吹地域と米原地域で高くなっています。



【年代別】



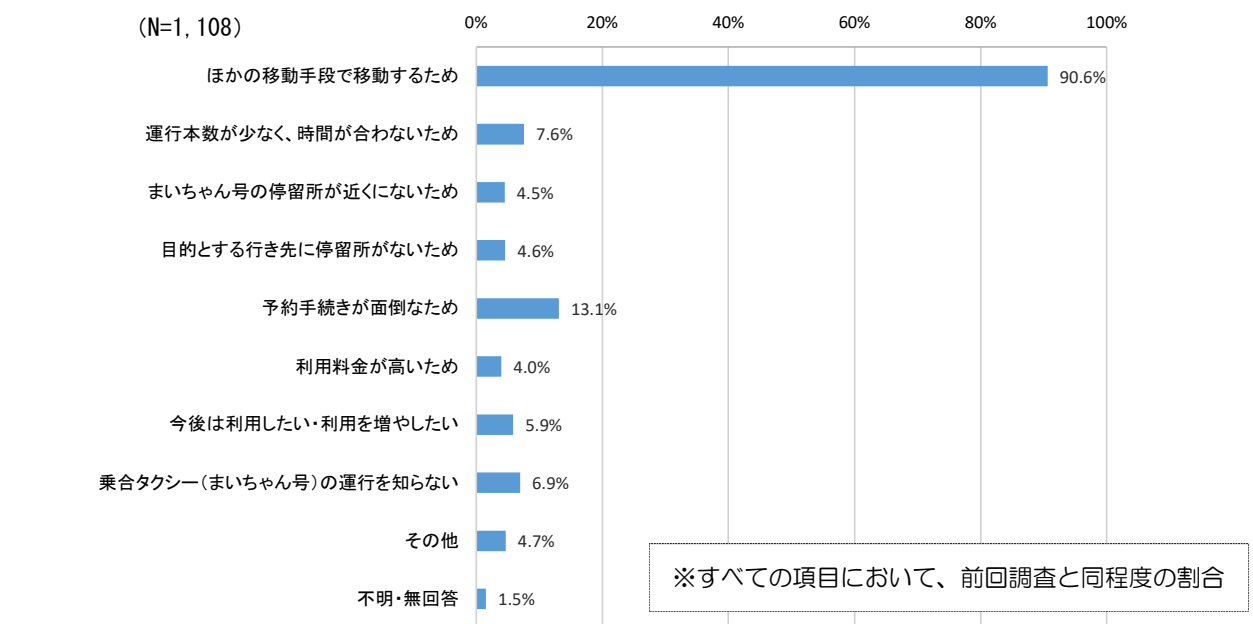
【地域別】



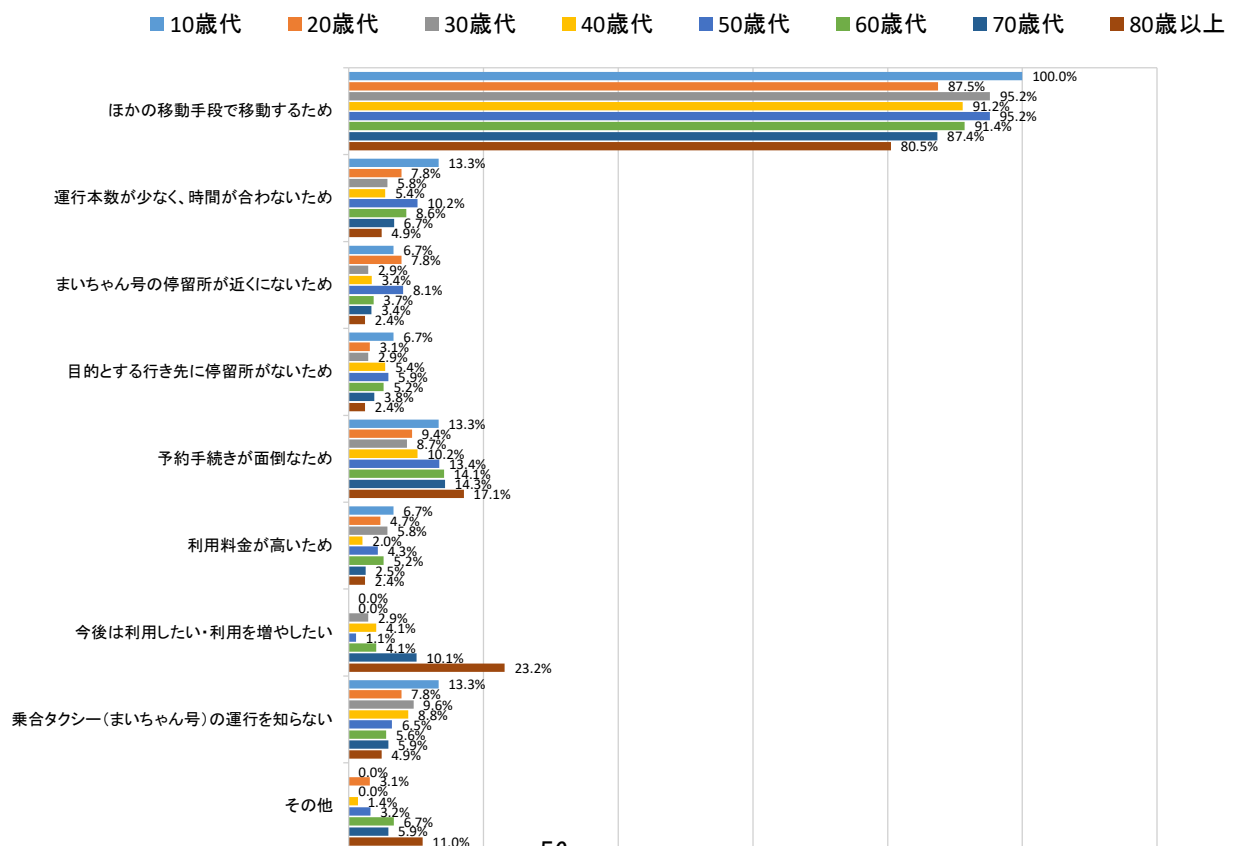
付問5 【問28で「あまり利用していない」、「利用したことがない」と答えられた方】
利用していない理由（利用数が少ない理由）などをお聞かせください。
（あてはまるものすべて）

乗合タクシー（まいちゃん号）を「あまり利用していない」または「利用したことがない」と答えられた方の理由について見ると、「ほかの移動手段で移動するため」が90.6%と最も高く、次いで「予約手続きが面倒なため」が13.1%、「運行本数が少なく、時間が合わないため」が7.6%となっています。

年代別に見ると、路線バスと同様に「ほかの移動手段で移動するため」では70歳代以上で低く、「今後は利用したい・利用を増やしたい」では80歳以上の割合が高くなっています。また、「乗合タクシーの運行を知らない」では、年代が下がるほど高くなる傾向が伺えます。



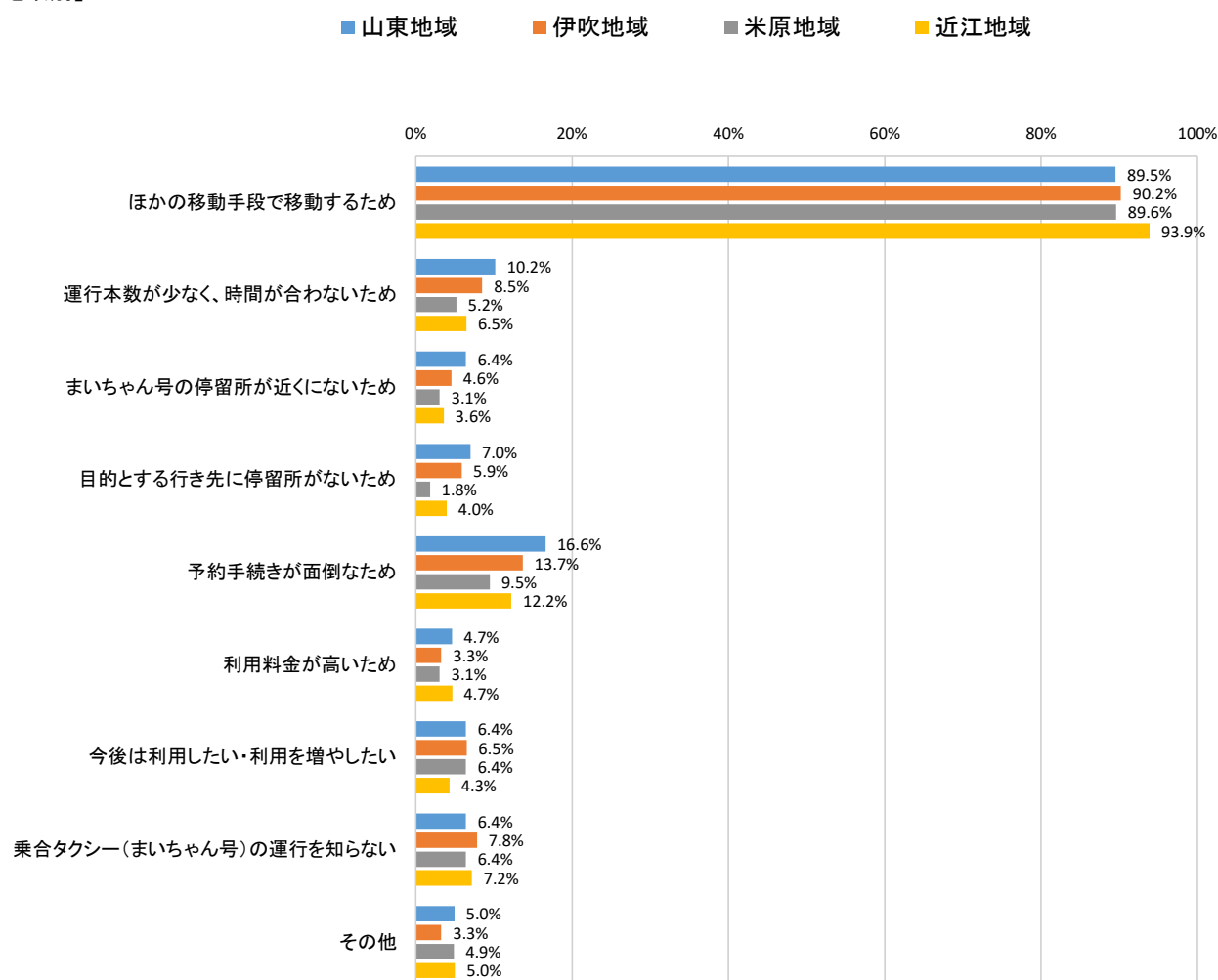
【年代別】



地域別に見ると、「ほかの移動手段で移動するため」では近江地域が9割強と他の地域より高くなっています。

また、「運行本数が少なく、時間が合わないため」「まいちゃん号の停留所が近くにないため」「目的とする行き先に停留所がないため」「予約手続きが面倒なため」では、いずれも山東地域の割合が高くなっています。

【地域別】

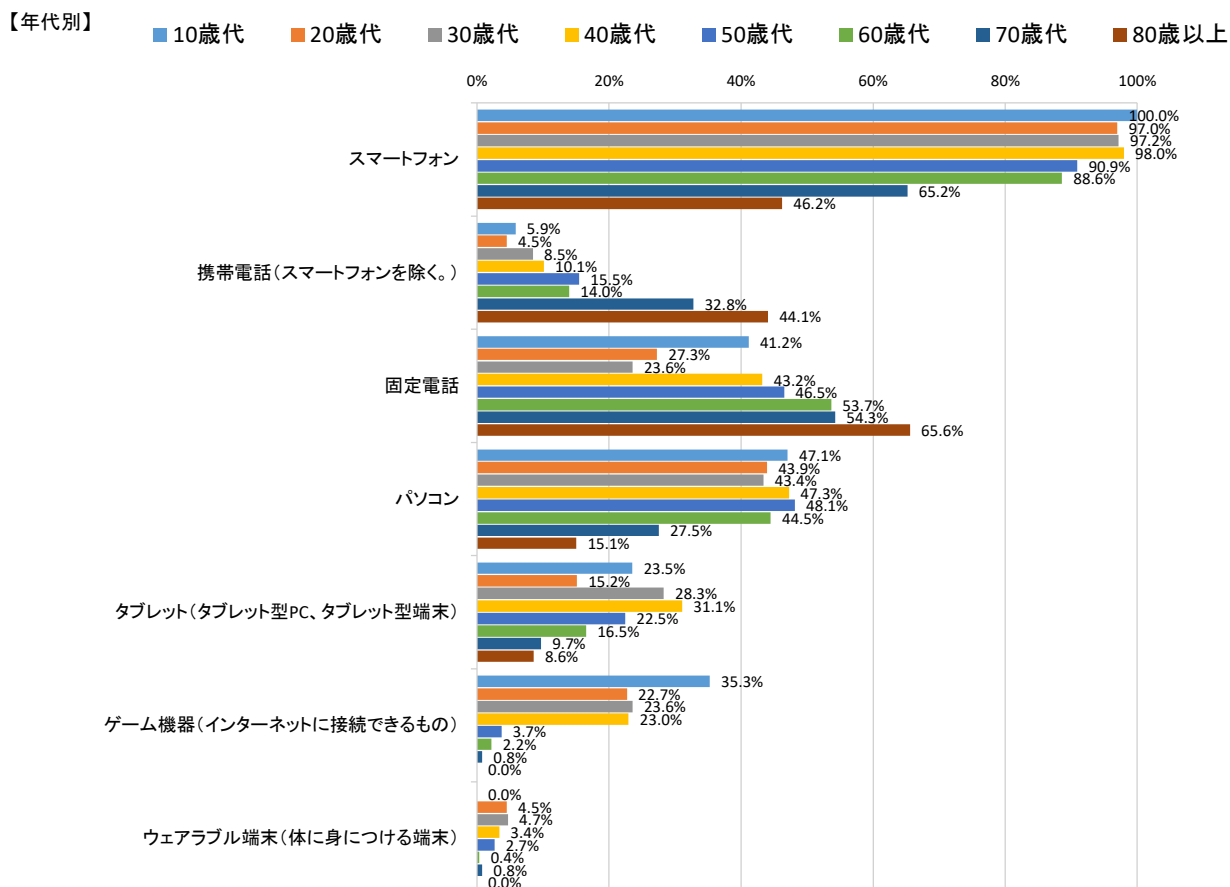
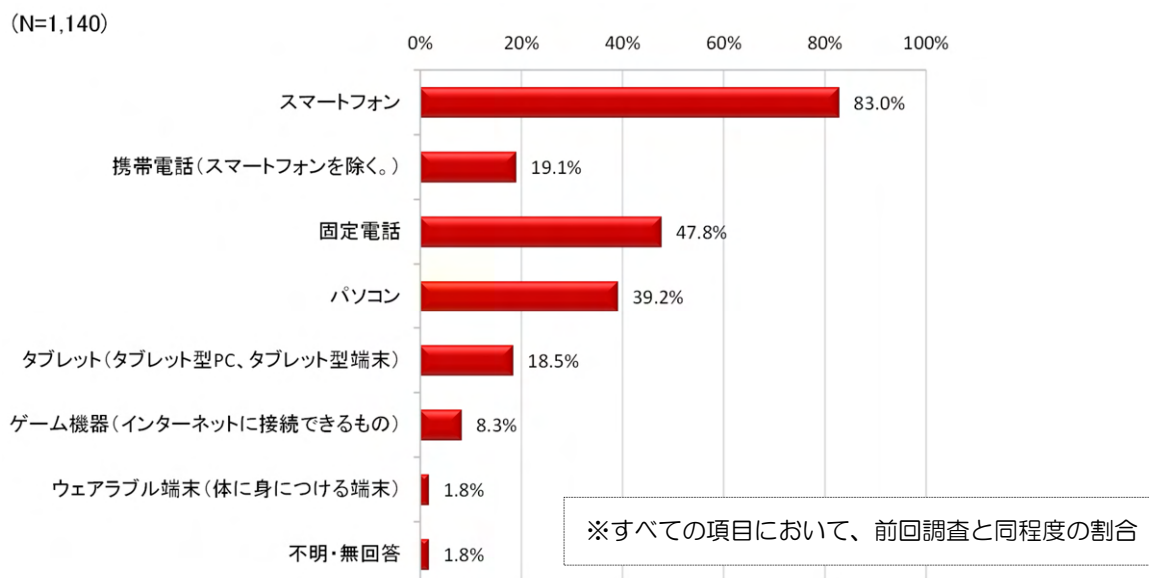


6. まちづくりを進めるための基盤 に関する設問です。

問 29 あなたご自身またはご家庭で利用している情報通信機器はどれですか。 (あてはまるものすべて)

自身または家庭で利用している情報通信機器の設問については、「スマートフォン」が83.0%と最も高く、次いで「固定電話」が47.8%、「パソコン」が39.2%となっています。

年代別に見ると、「スマートフォン」については年代が上がるにつれて割合が低くなっています。一方、「固定電話」では30歳代以降、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

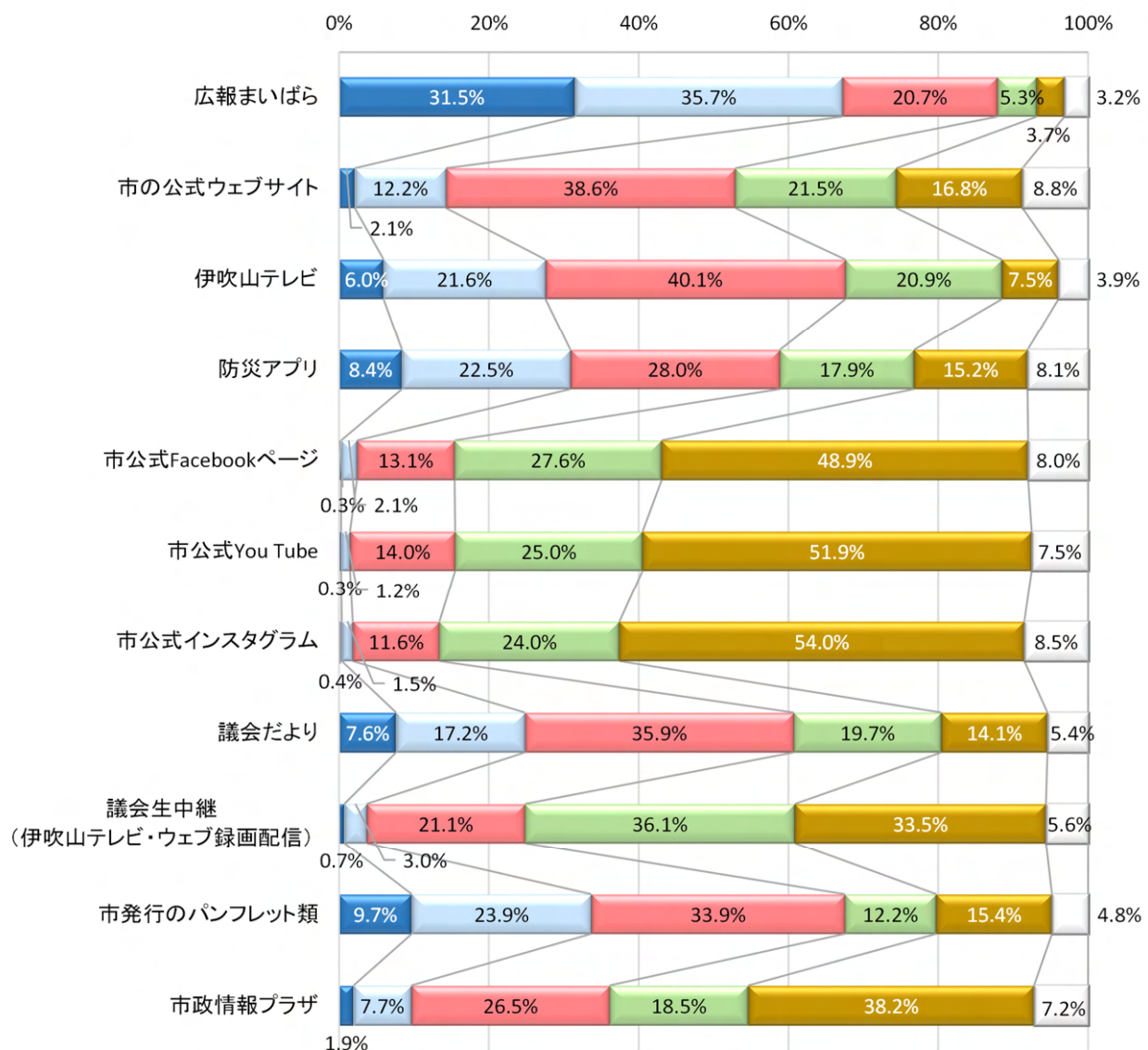


問30 市では、様々な方法により情報発信をしています。あなたは、どの程度ご覧になりますか。1～11のそれぞれの項目についてお答えください。
(それぞれ1つ)

市が発信している情報を、どのような頻度で得ているかについて見ると、「かかさず見ている」が最も多いのは「広報まいばら」で31.5%、次いで「市発行のパンフレット類」が9.7%となっています。
一方、「市公式Facebookページ」、「市公式You Tube」、「市公式Instagram」については、「知らない」が半数程度となっており、情報源として十分な認知を得られていない結果となっています。

(N=1,140)

■ かかさず見ている ■ 見ることが多い ■ 見ることが少ない ■ 知っているが 見たことがない ■ 知らない ■ 不明・無回答



※すべての項目において、前回調査と同程度の割合

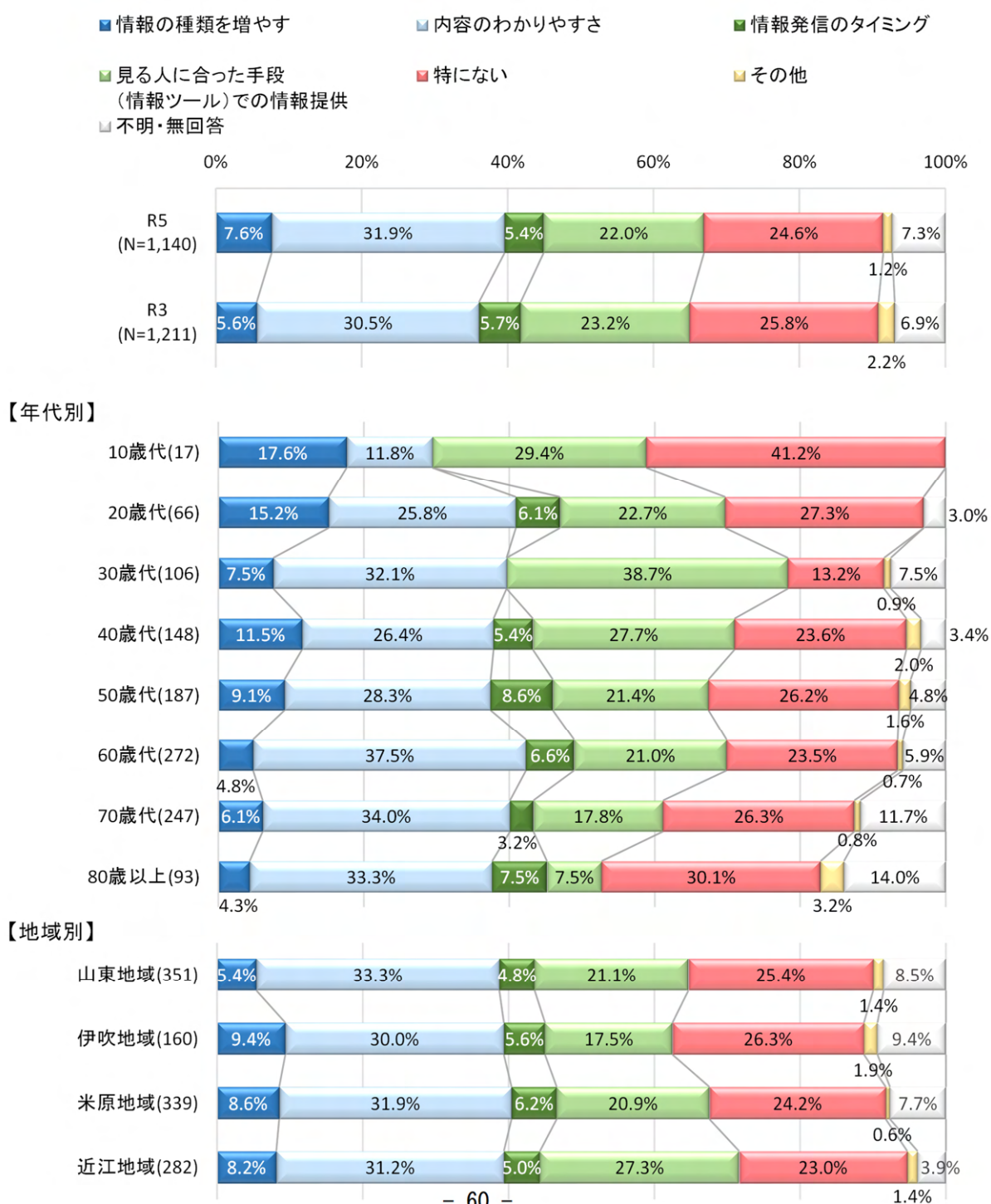
問 31 市の情報発信について充実させてほしいことは何ですか。(1つ)

市の情報発信について充実させてほしいことについて見ると、「内容のわかりやすさ」が最も高く31.9%、次いで「特にない」が24.6%、「見る人に合った手段（情報ツール）での情報提供」が22.0%となっています。

経年変化で見ると、前回調査より「情報の種類を増やす」が2.0ポイント、「内容のわかりやすさ」が1.4ポイントとそれぞれ高くなっています。

年代別に見ると、「情報の種類を増やす」では10歳代で最も高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向が見られます。一方、「内容のわかりやすさ」は60歳代以上で高くなっています。

地域別に見ると、「見る人に合った手段（情報ツール）での情報提供」が近江地域で高くなっています。

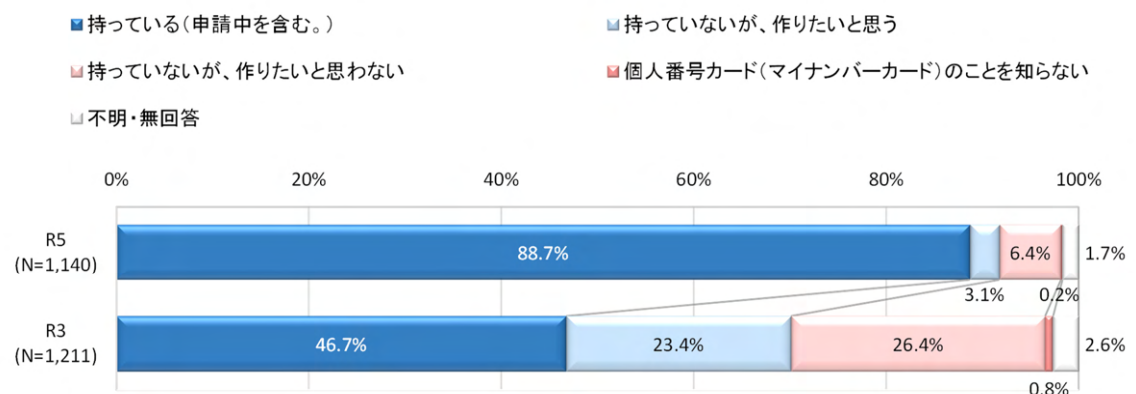


問 32 あなたは、個人番号カード（マイナンバーカード）を持っていますか。（1つ）

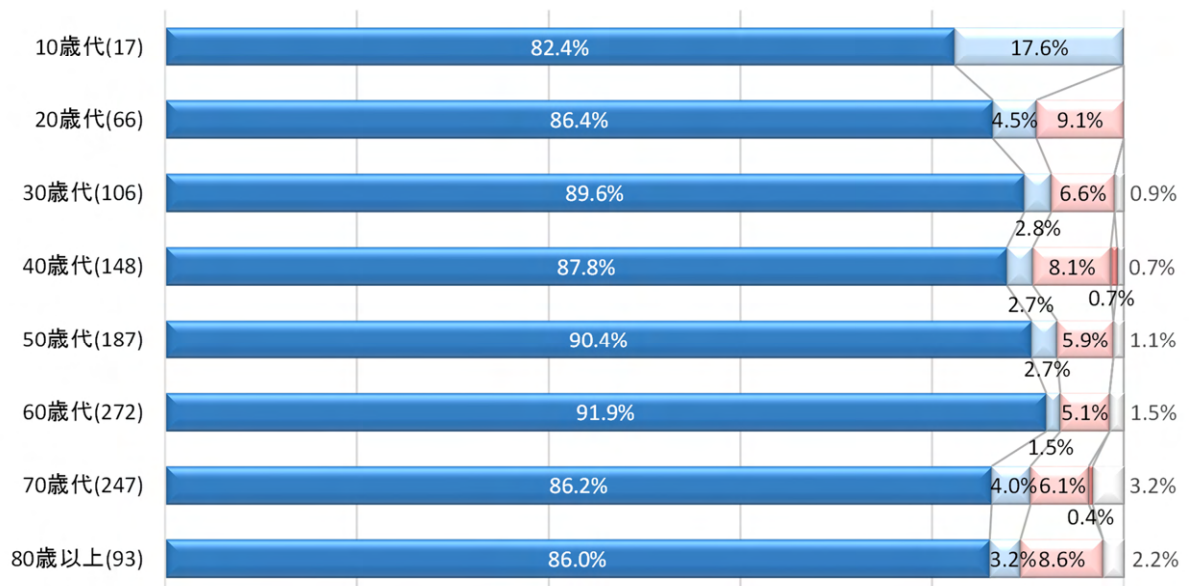
個人番号カード（マイナンバーカード）を持っているかどうかについて見ると、「持っている（申請中を含む。）」が最も高く 88.7%、次いで「持っていないが、作りたいと思わない」が 6.4%、「持っていないが、作りたいと思う」が 3.1%となっています。

経年変化で見ると、前回調査より「持っている（申請中を含む。）」が 42.0 ポイント高くなっています。

年代別に見ると、「持っている（申請中を含む。）」はどの年代でも 8 割を超えています。「持っていないが、作りたいと思わない」は 20 歳代、80 歳代以上で高くなっています。



【年代別】

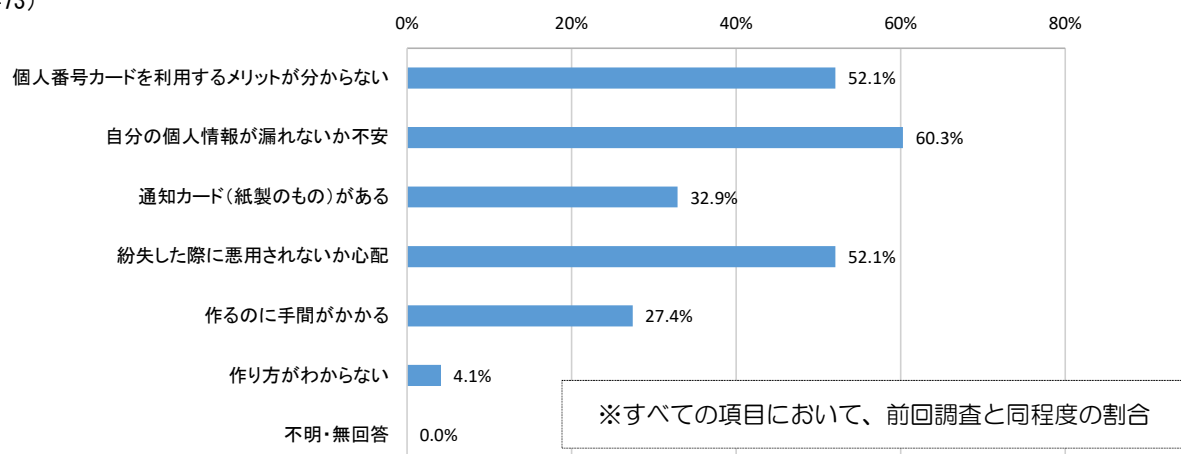


付問6 【問32で「持っていないが、作りたいとは思わない」と答えられた方】
「作りたいとは思わない」とする理由をお答えください。(あてはまるものすべて)

個人番号カードについて「持っていないが、作りたいとは思わない」と答えられた方の理由について見ると、「自分の個人情報が漏れないか不安」が60.3%と最も高く、次いで「個人番号カードを利用するメリットが分からない」「紛失した際に悪用されないか心配」が52.1%となっています。

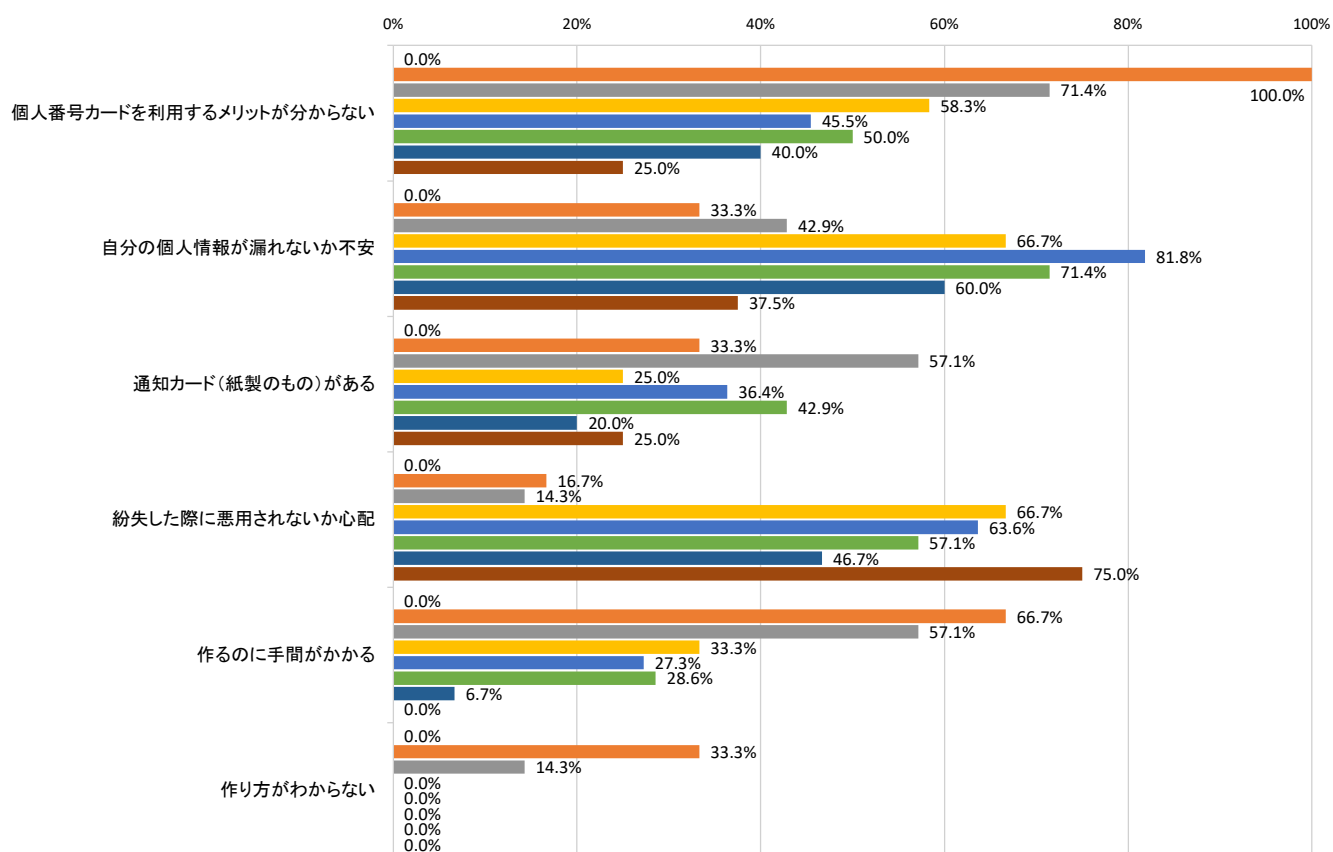
年代別に見ると、「自分の個人情報が漏れないか不安」では50歳代で、「個人番号カードを利用するメリットが分からない」では20歳代の全ての回答者で、「紛失した際に悪用されないか心配」では80歳代以上でそれぞれ高くなっています。

(N=73)



【年代別】

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上



問 33 あなたは、これまでにまちづくり活動に参加・参画したことがありますか。また、参加・参画したことがない方は、今後のお考えについてお答えください。
(それぞれ1つ)

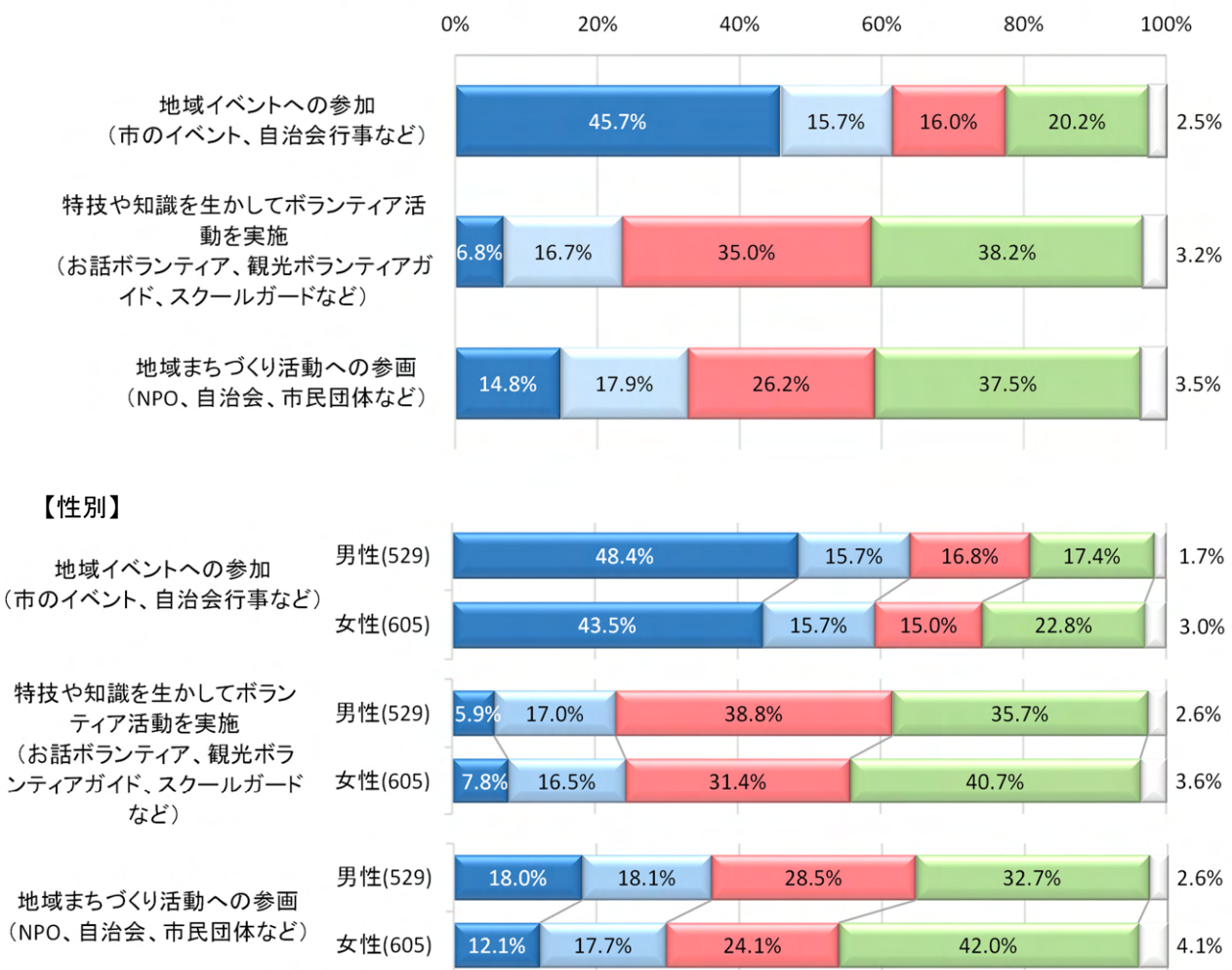
まちづくり活動に参加・参画について見ると、「地域イベントへの参加（市のイベント、自治会行事など）」では「すでに参加・参画している」が45.7%、「今後は、参加・参画したい」が15.7%と前向きな回答がありました。

「特技や知識を生かしてボランティア活動を実施（お話ボランティア、観光ボランティアガイド、スクールガードなど）」と「地域まちづくり活動への参画（NPO、自治会、市民団体など）」では、「今後も、参加・参画できない」が高くなっています。

性別で見ると、男性では「地域イベントへの参加」と「地域まちづくり活動への参画」の「参加・参画」意向が、女性では「特技や知識を生かしてボランティア活動を実施」の「参加・参画」意向が高い傾向が見られます。

(N=1,140)

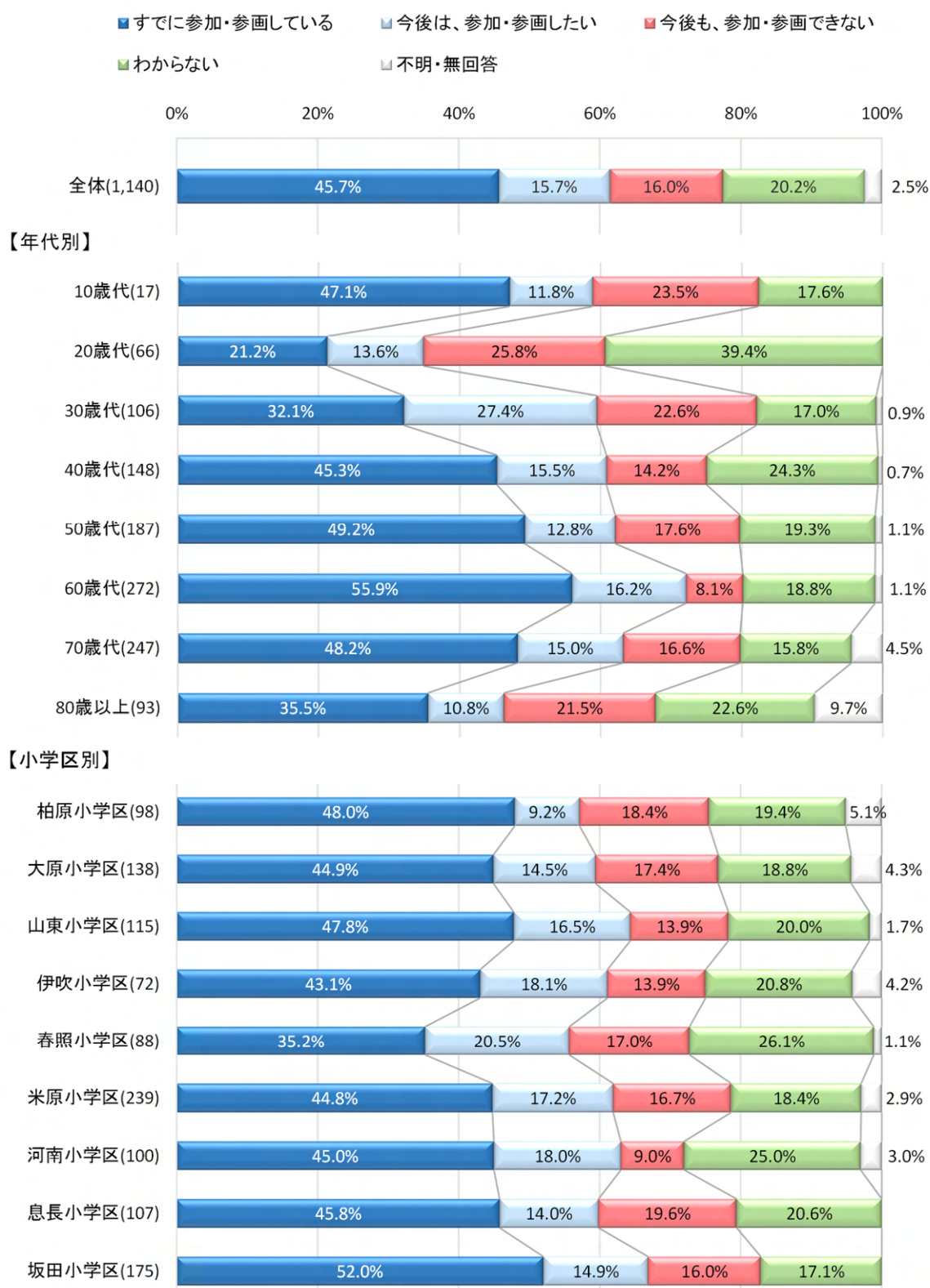
■すでに参加・参画している ■今後は、参加・参画したい ■今後も、参加・参画できない
■わからない ■不明・無回答



◆地域イベントへの参加（市のイベント、自治会行事など）

年代別に見ると、「すでに参加・参画している」では10歳代と40～70歳代、「今後は、参加・参画したい」では30歳代がそれぞれ高くなっています。

小学区別では、「すでに参加・参画している」については、坂田小学区で半数以上と他の小学校区より高くなっています。



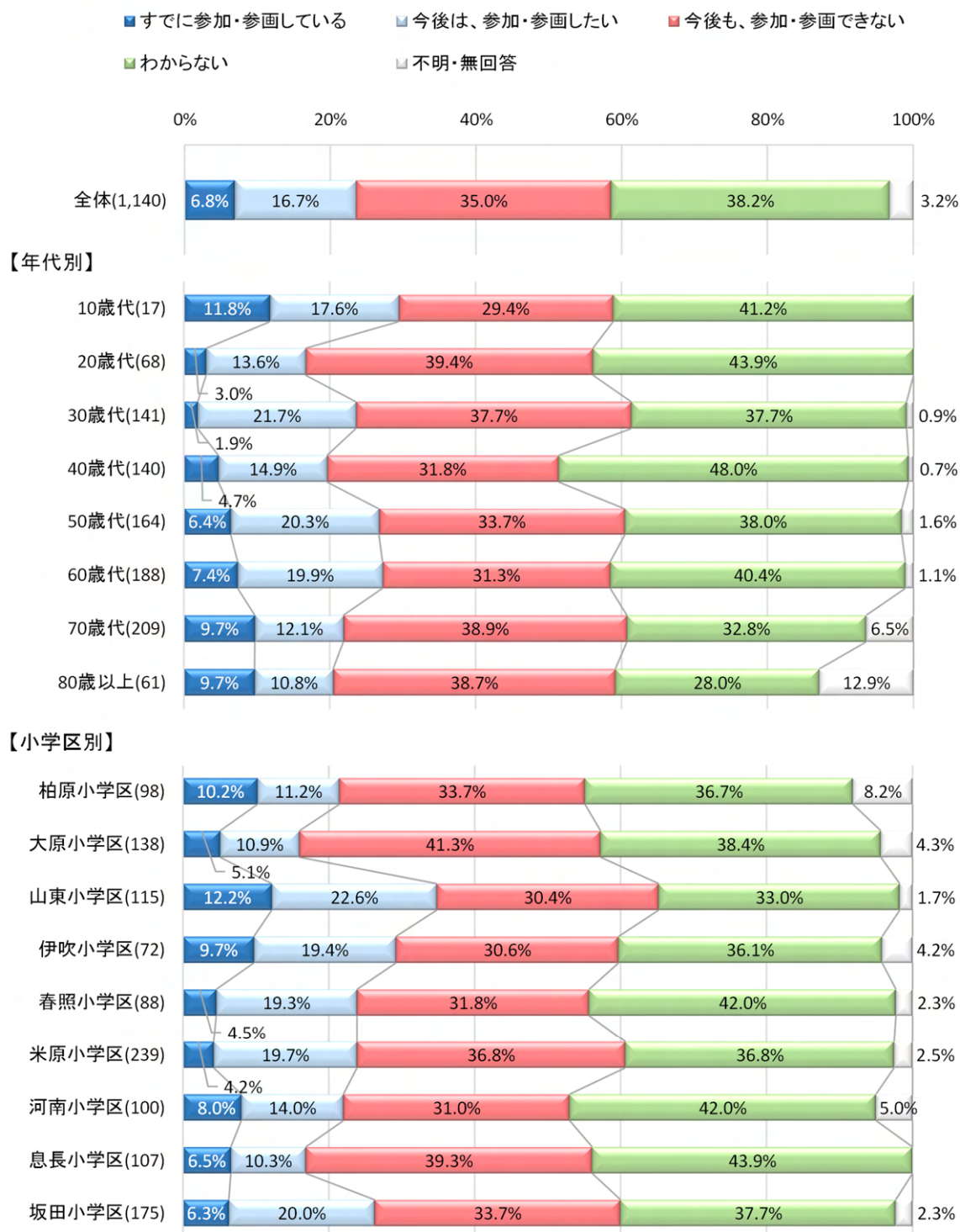
◆特技や知識を生かしてボランティア活動を実施

(お話ボランティア、観光ボランティアガイド、スクールガードなど)

「わからない」としている回答が多いなかで年代別に見ると、「すでに参加・参画している」では10歳代と70歳代以上で高く、「今後は、参加・参画したい」では30歳代と50～60歳代で高くなっています。

小学区別に見ると、「すでに参加・参画している」では山東小学区と柏原小学区で高くなっています。

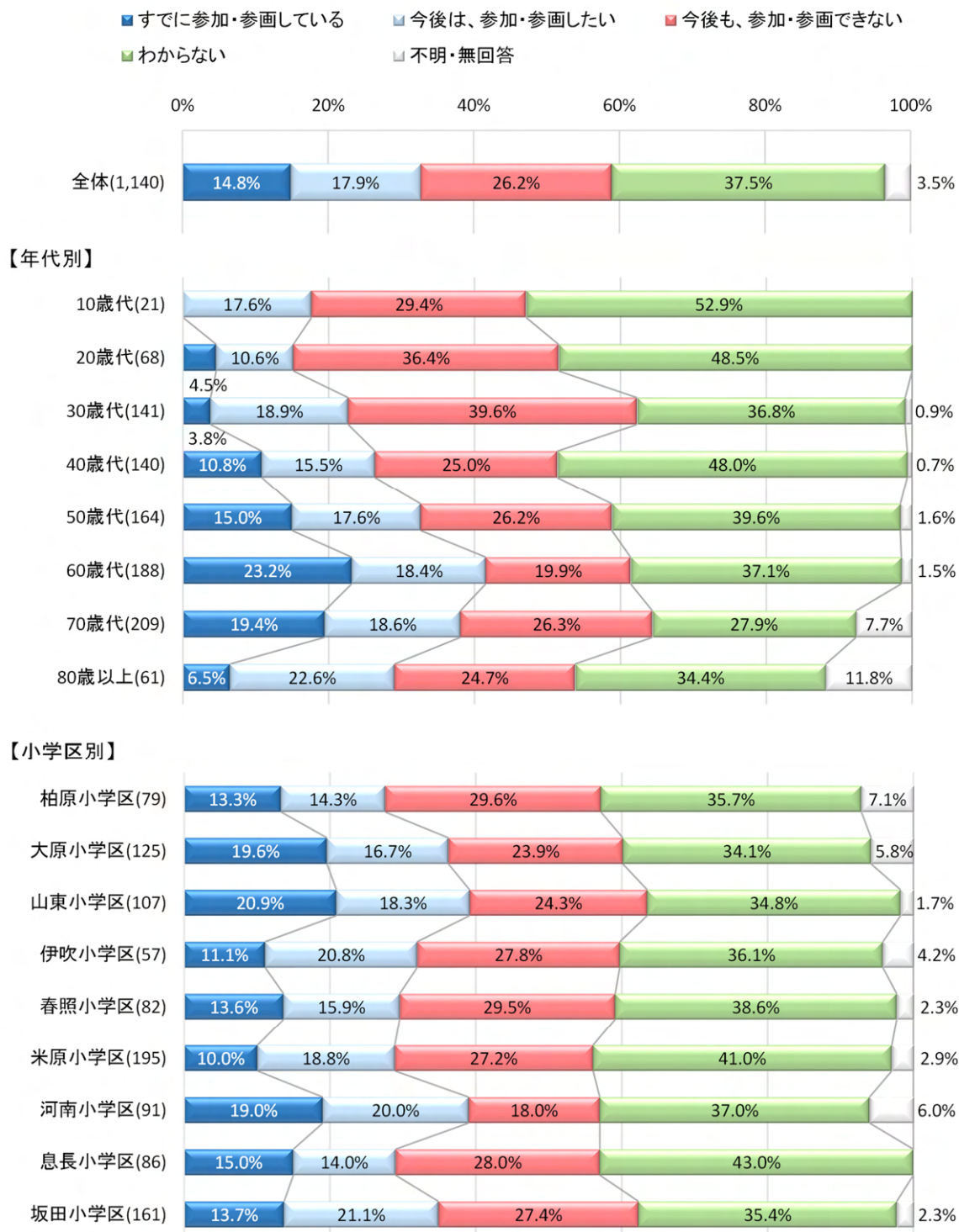
また、「今後も、参加・参画できない」では大原小学区と息長小学区で他の小学区より高くなっています。



◆地域まちづくり活動への参画（NPO、自治会、市民団体など）

「わからない」としている回答が多いなかで年代別に見ると、「すでに参加・参画している」では40～70歳代、「今後も、参加・参画できない」では10～30歳代がそれぞれ高くなっています。

小学区別に見ると、「すでに参加・参画している」「今後は、参加・参画したい」では山東小学区と河南小学区で約4割と高くなっています。一方、「今後も、参加・参画できない」では柏原小学区と春照小学区でそれぞれ高くなっています。

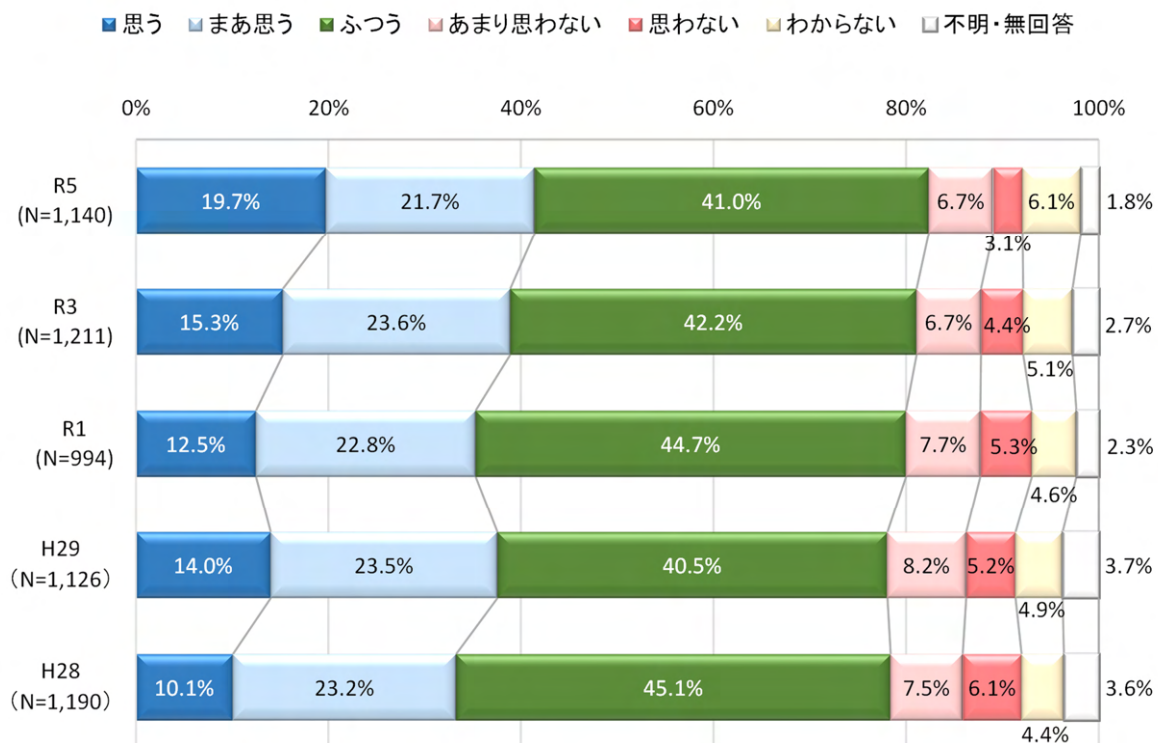


問 34 あなたは、市役所職員の対応はよいと思いますか。(1 つ)

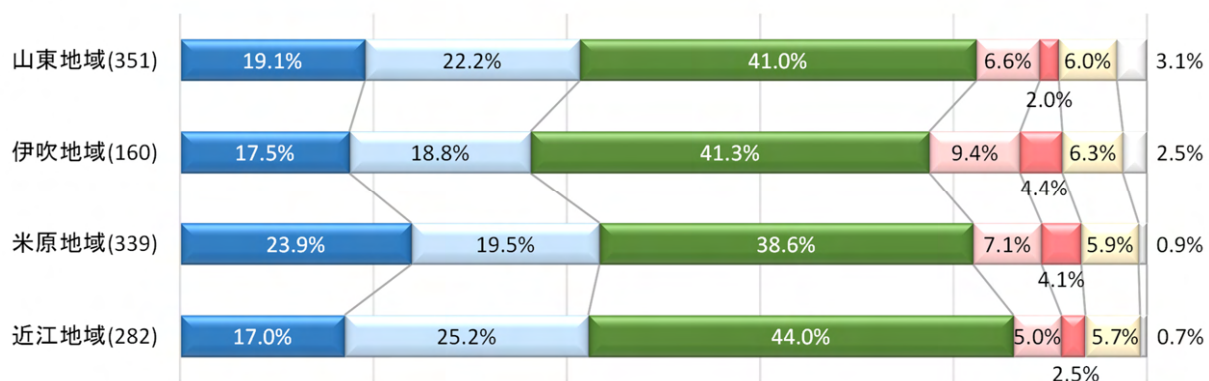
市役所職員の対応の印象については、「ふつう」が41.0%となっています。

経年変化で見ると、職員の対応はよいと「思う」・「まあ思う」は41.4%と前回調査より2.5ポイント高く、「あまり思わない」・「思わない」は9.8%と前回調査より1.3ポイント低くなっています。

地域別に見ると、伊吹地域では「思う」・「まあ思う」の合計が、他の地域よりも低くなっています。



【地域別】



人口減少対策について、お伺いします。

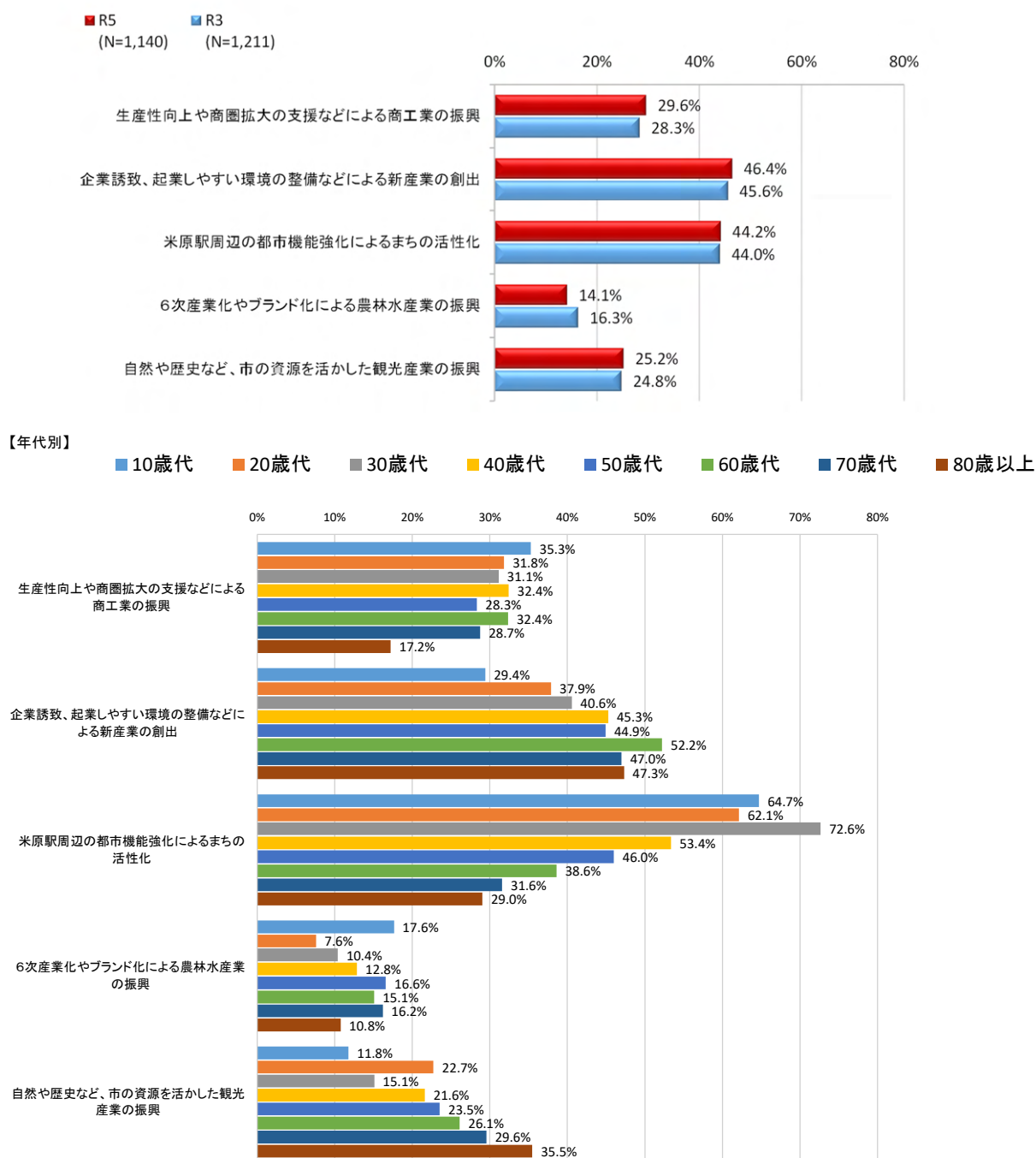
問 35 人口減少に立ち向かい、持続可能な社会を目指して、米原市がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次のA～Dについて、それぞれお答えください。

A. 地域経済の活性化に関する取組（2つまで）

地域経済の活性化に関する取組について見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」が最も高く 46.4%、次いで「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」が 44.2% となっています。

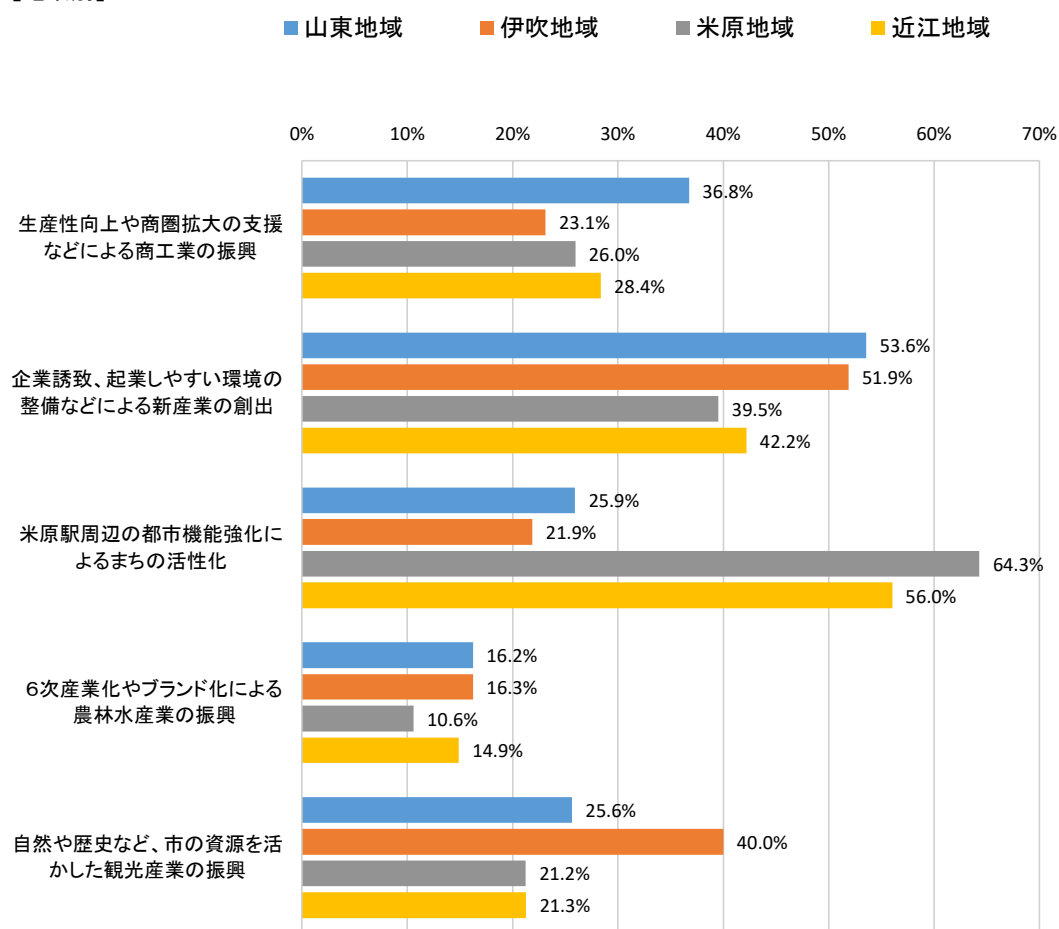
前回調査と比較すると、ほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」は 20 歳代以上で高くなっています。「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」は 10～30 歳代で高く、年代が上がるにつれて低くなっています。



地域別に見ると、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出」では山東地域と伊吹地域が、「米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化」では米原地域と近江地域が、他の地域よりも高くなっています。

【地域別】



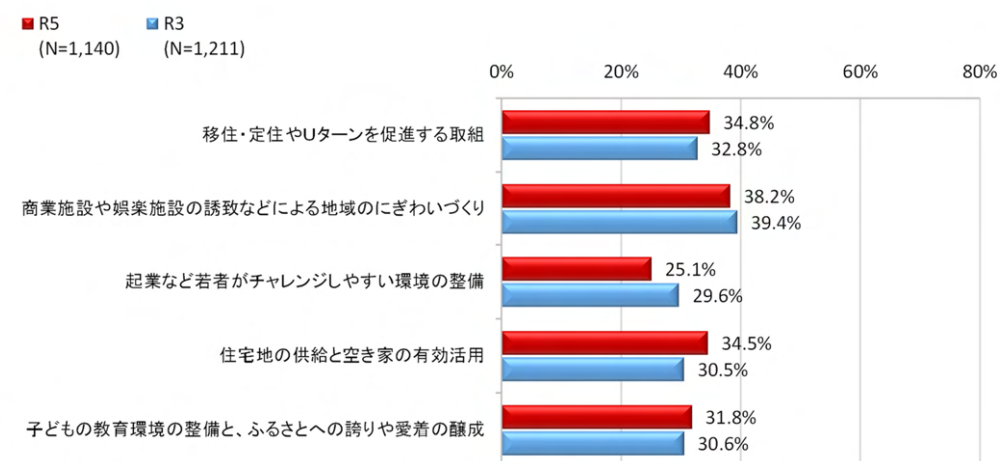
B. 人口の流出抑制と流入促進に関する取組（2つまで）

人口の流出抑制と流入促進に関する取組について見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」が38.2%で最も高く、次いで「移住・定住やUターンを促進する取組」が34.8%となっています。

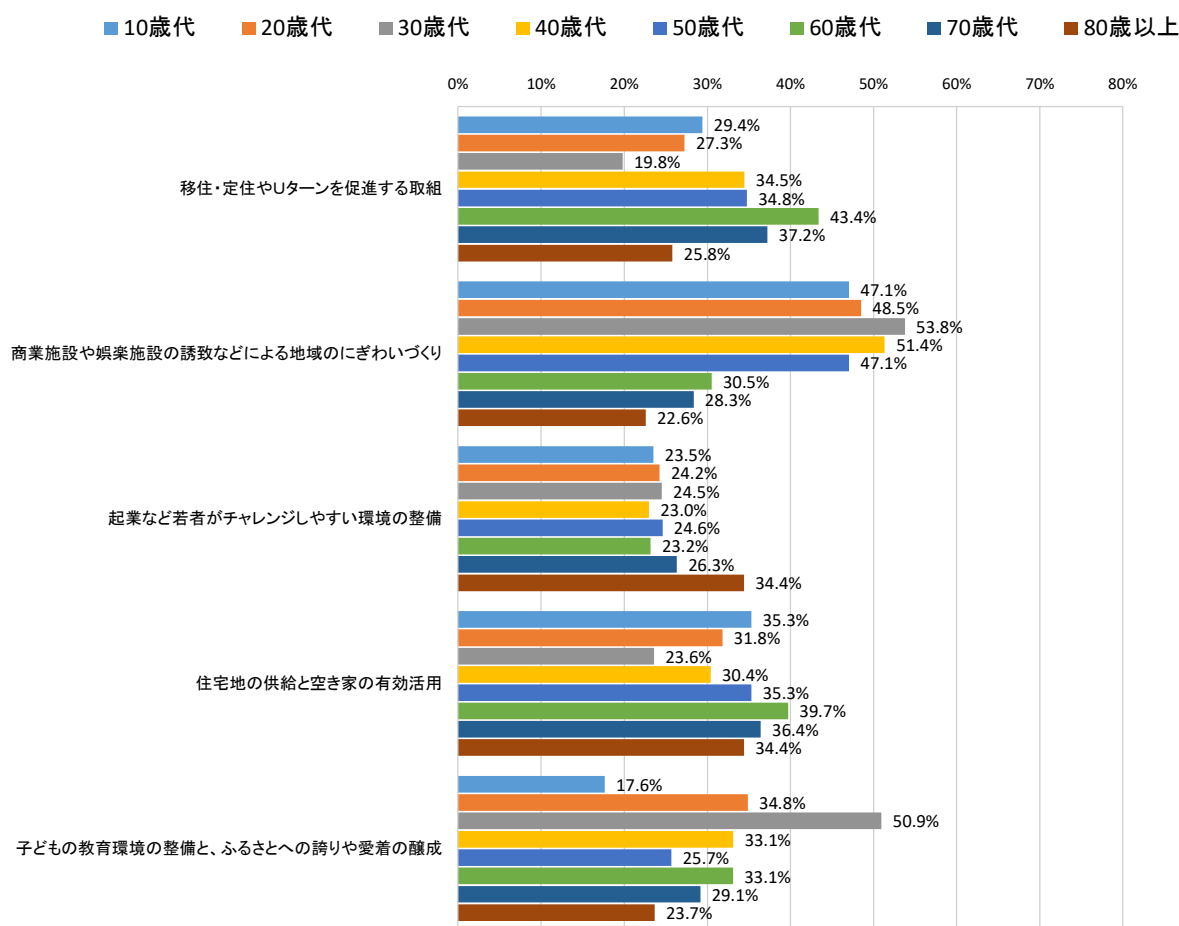
前回調査と比較すると、「起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備」では4.5ポイント低くなっているものの、「住宅地の供給と空き家の有効活用」では4.0ポイント高くなっています。

年代別に見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」は10～50歳代で、「移住・定住やUターンを促進する取組」は40～70歳代でそれぞれ高くなっています。

また、「子どもの教育環境の整備と、ふるさとへの誇りや愛着の醸成」は30歳代が最も高くなっています。

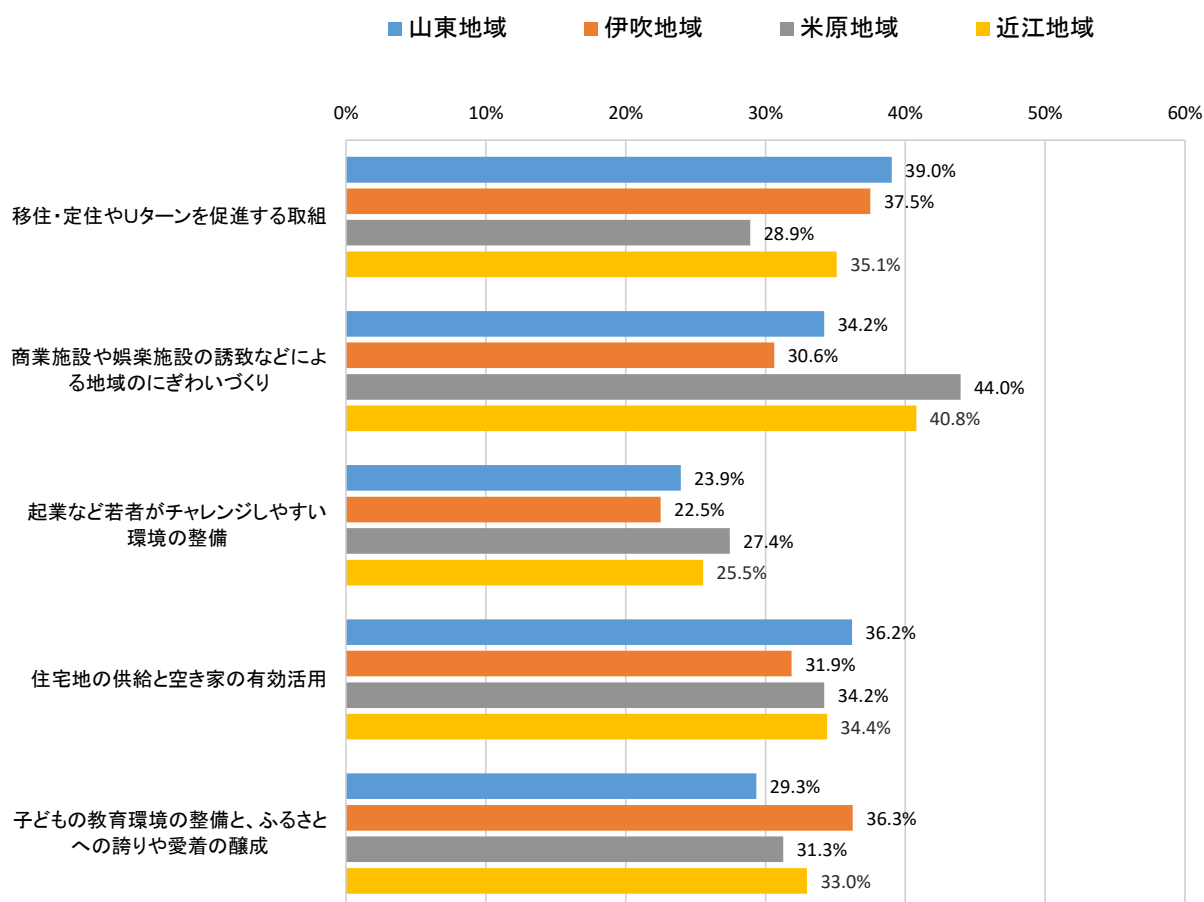


【年代別】



地域別に見ると、「商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり」では米原地域が、「移住・定住やUターンを促進する取組」「住宅地の供給と空き家の有効活用」では山東地域が、「子どもの教育環境の整備と、ふるさとへの誇りや愛着の醸成」では伊吹地域が、他の地域よりそれぞれ高くなっています。

【地域別】

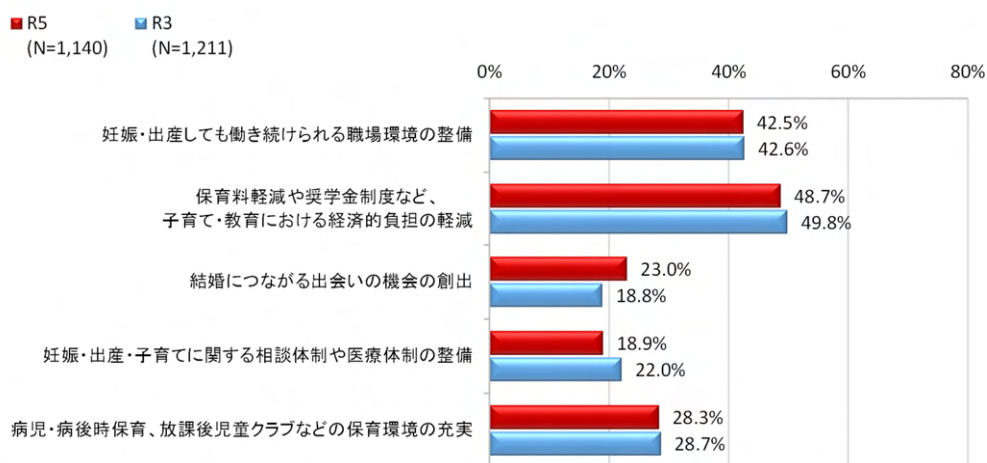


C. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組（2つまで）

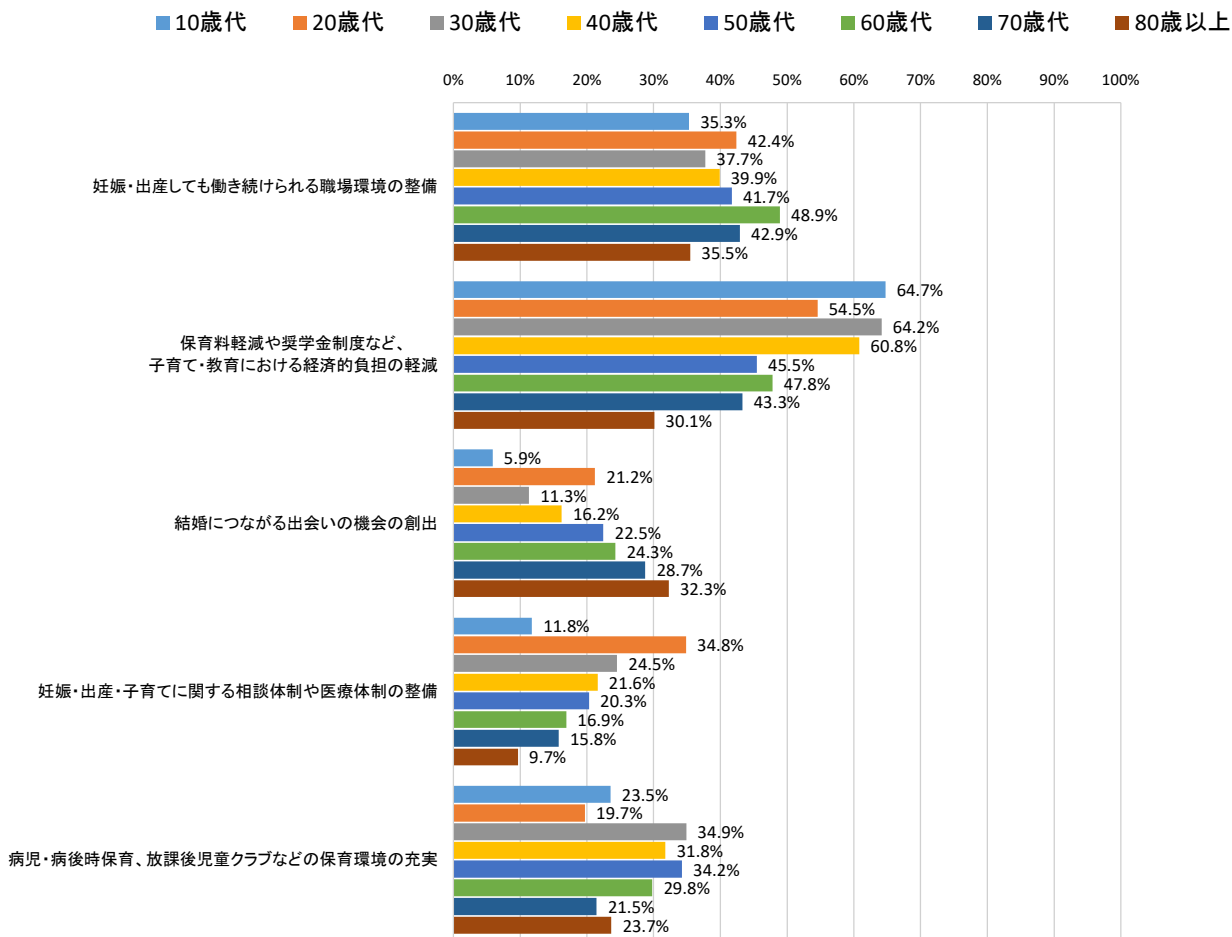
結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組について見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」が48.7%と最も高く、次いで「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」が42.5%となっています。

前回調査と比較すると、「結婚につながる出会いの機会の創出」が4.2ポイント高くなっています。その他の項目では、前回調査とほぼ同様な傾向が見られます。

年代別に見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」と「妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備」では、年代が上がるにつれて低くなる傾向が伺えます。

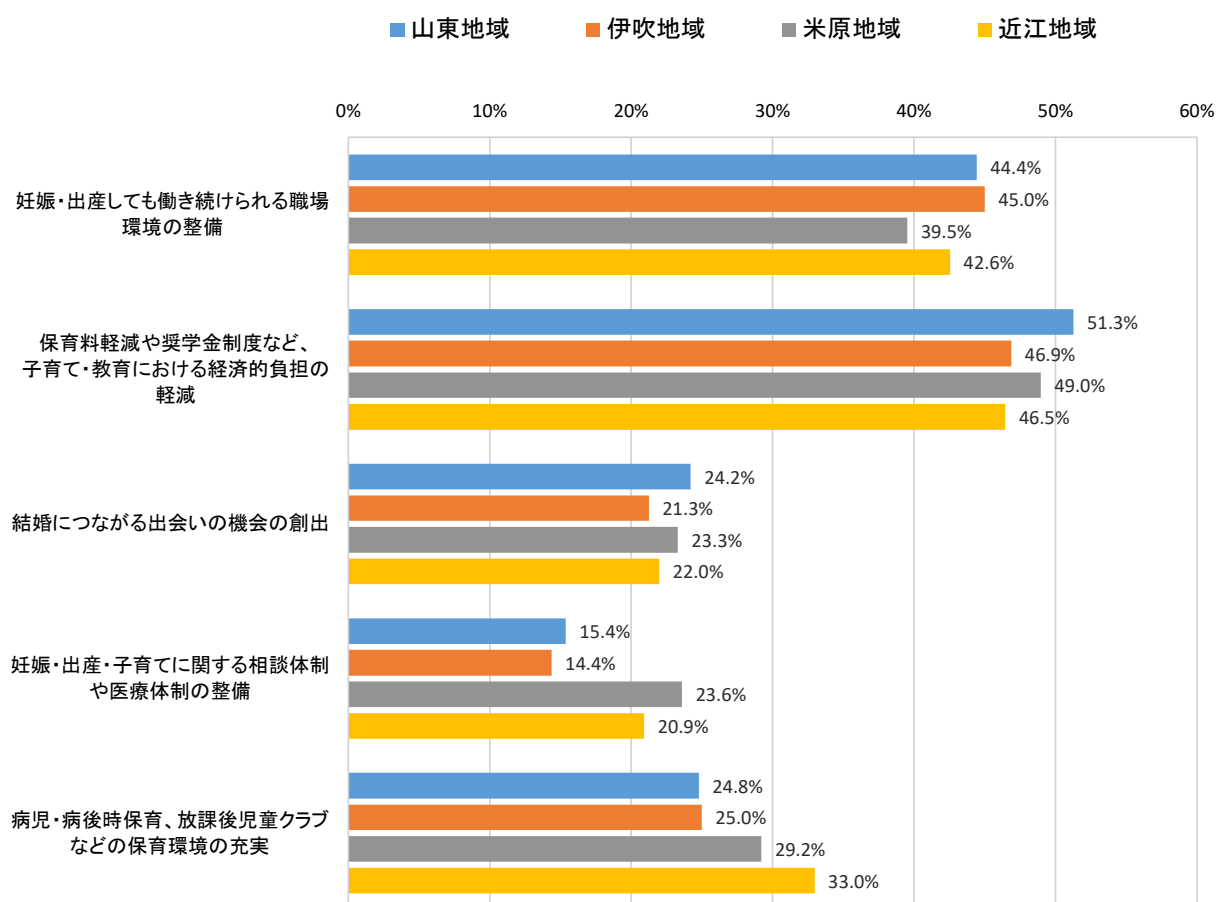


【年代別】



地域別に見ると、「保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減」では山東地域が、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」では山東地域と伊吹地域が、「妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備」では米原地域と近江地域が、他の地域よりも高くなっています。

【地域別】

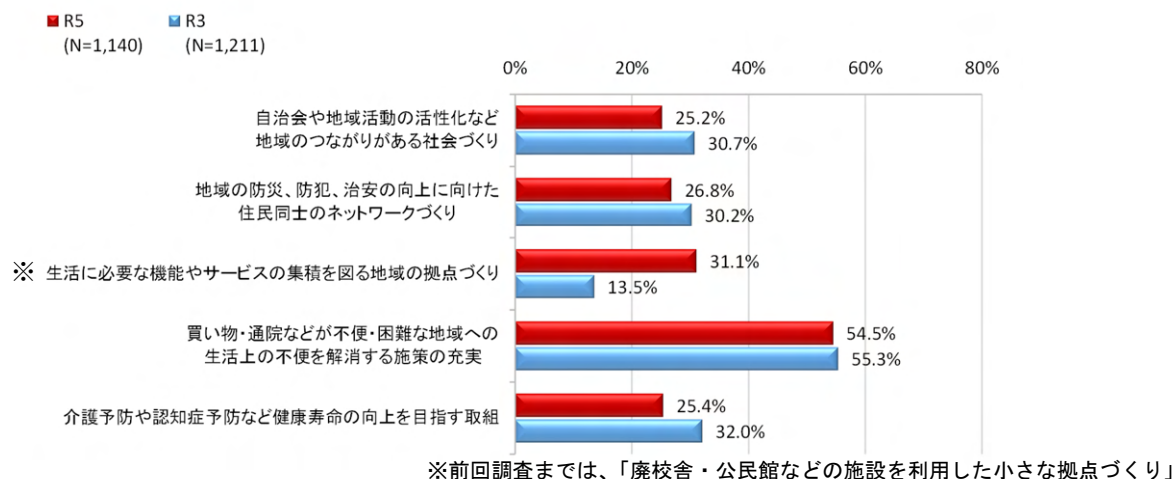


D. 安心して暮らせる地域づくりに関する取組（2つまで）

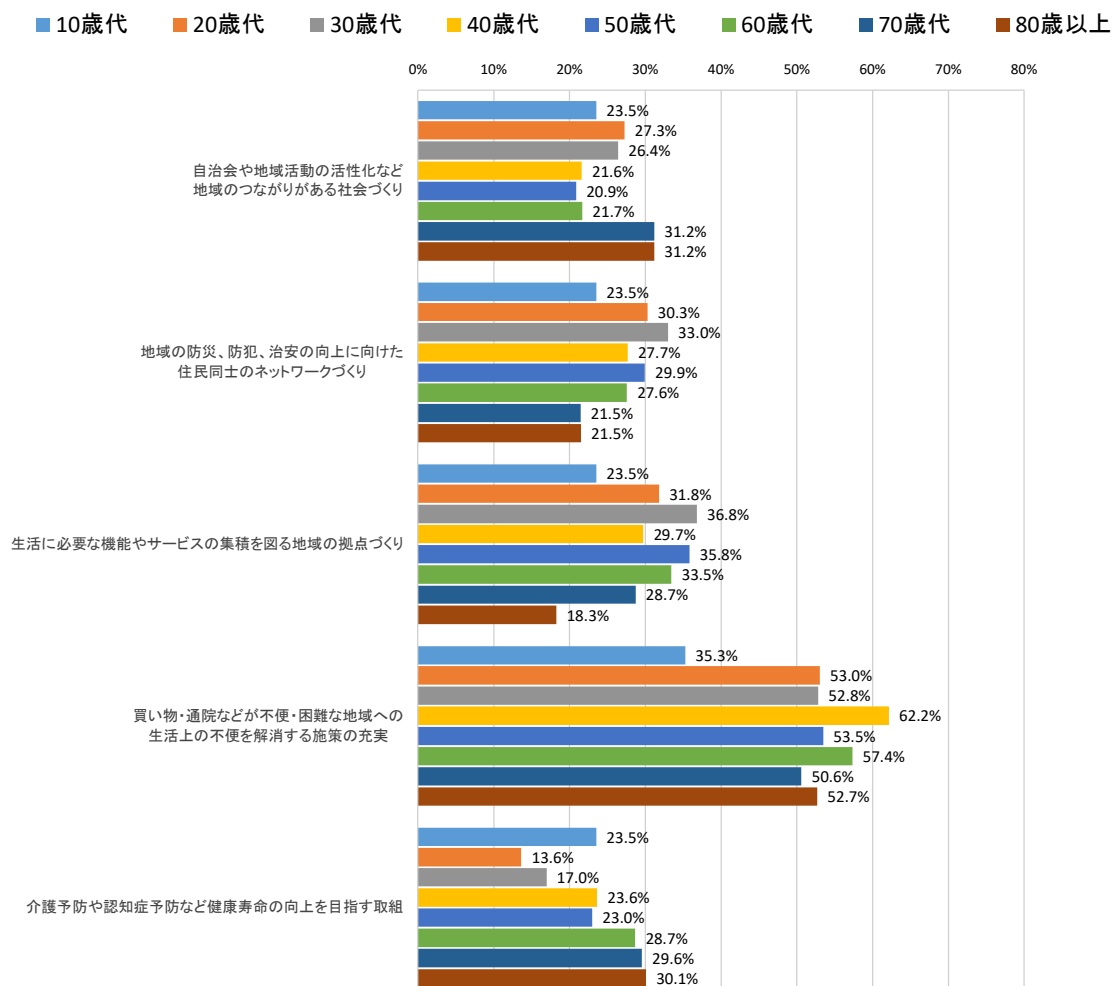
安心して暮らせる地域づくりに関する取組について見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」が54.5%と最も高く、次いで「生活に必要な機能やサービスの集積を図る地域の拠点づくり」が31.1%となっています。

前回調査と比較すると、「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」が6.6ポイント低くなっています。

年代別に見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」では20歳代以上で5割を超えています。「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」では60歳代以上で高い傾向が見られます。

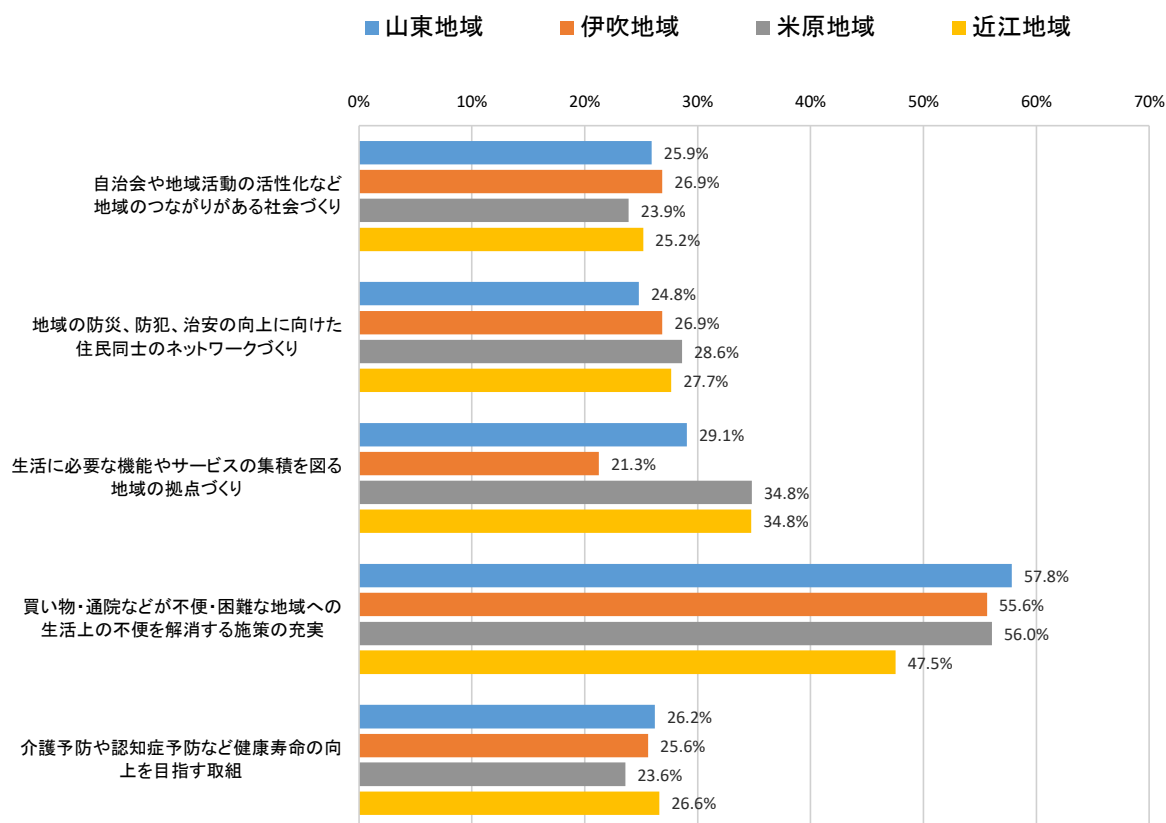


【年代別】



地域別に見ると、「買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実」では近江地域が、「生活に必要な機能やサービスの集積を図る地域の拠点づくり」では伊吹地域が、「介護予防や認知症予防など健康寿命の向上を目指す取組」では米原地域が、他の地域よりも低くなっています。

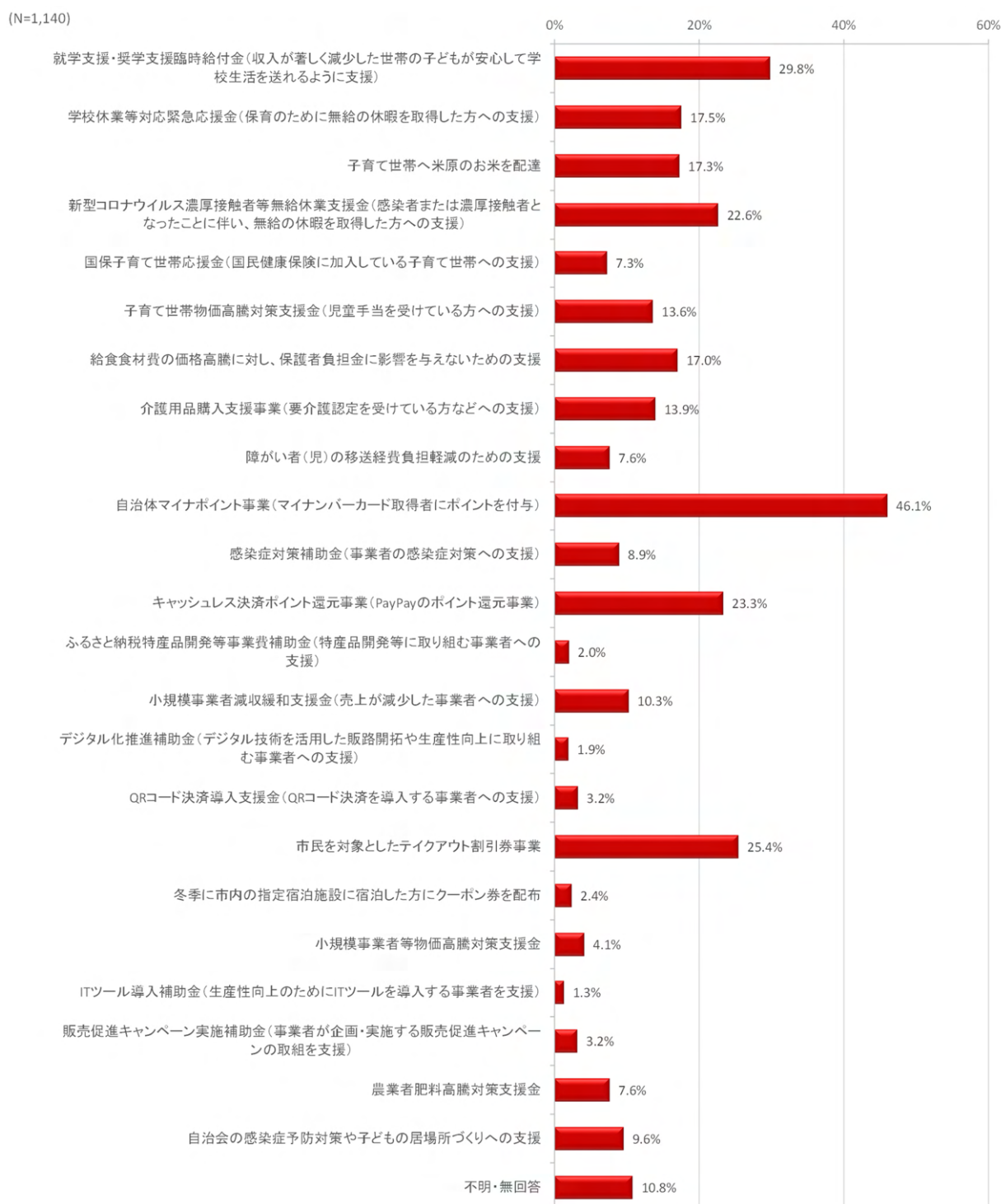
【地域別】



新型コロナウイルス感染症対策について、お伺いします。

問 36 あなたは、米原市が行った新型コロナウイルス感染症対策の個別の施策について、どの施策を評価しますか。(5 つまで)

市が行った新型コロナウイルス感染症対策の個別の施策について見ると、「自治体マイナポイント事業（マイナンバーカード取得者にポイントを付与）」が最も高く 46.1%、次いで「就学支援・奨学支援臨時給付金（収入が著しく減少した世帯の子どもが安心して学校生活を送れるように支援）」が 29.8%、「市民を対象としたテイクアウト割引券事業」が 25.4%となっています。



性別において上位3番までの項目を見ると、2つの項目は同じですが、男性では「新型コロナウイルス濃厚接触者等無給休業支援金（感染者または濃厚接触者となったことに伴い、無給の休暇を取得した方への支援）」、女性では「市民を対象としたテイクアウト割引券事業」の異なった項目が挙がっています。

年代別、小学区別でも全体と同様な割合となっていますが、「キャッシュレス決済ポイント還元事業（PayPayのポイント還元事業）」は10～50歳代および山東小学区と米原小学区で高くなっています。

※上段は回答数、下段は回答者数に対する割合
各項目で上位3番まで着色

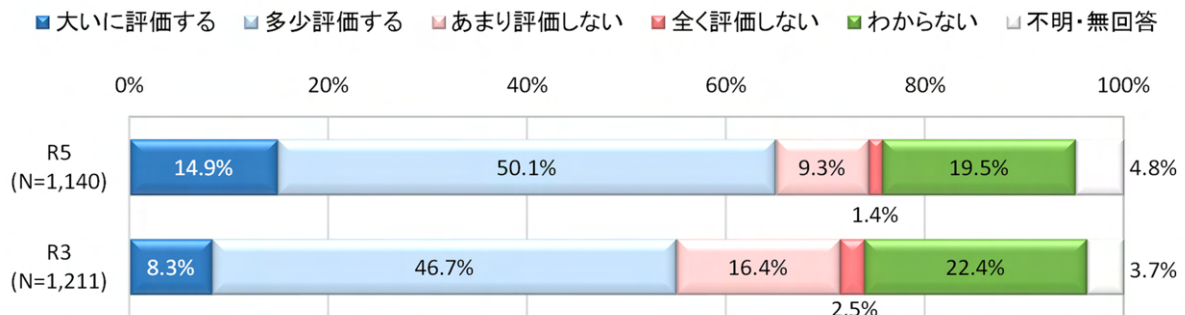
	計	就学支援・奨学支援臨時給付金（収入が著しく減少した世帯の子どもが安心して学校生活を送れるように支援）	学校休業等対応緊急応援金（保育のために無給の休暇を取得した方への支援）	子育て世帯へ米原のお米を配達	新型コロナウイルス濃厚接触者等無給休業支援金（感染者または濃厚接触者となったことに伴い、無給の休暇を取得した方への支援）	国保子育て世帯応援金（国民健康保険に加入している子育て世帯への支援）	子育て世帯物価高騰対策支援金（児童手当を受けている方への支援）	給食食材費の価格高騰に対し、保護者負担金に影響を与えないための支援	介護用品購入支援事業（要介護認定を受けている方への支援）	障がい者（児）の移送経費負担軽減のための支援	自治体マイナポイント事業（マイナンバーカード取得者にポイントを付与）	感染症対策補助金（事業者の感染症対策への支援）	キャッシュレス決済ポイント還元事業（PayPayのポイント還元事業）	ふるさと納税特産品開発等事業費補助金（売上が減少した事業者への支援）	小規模事業者減収緩和支援金（売上が減少した事業者への支援）	デジタル化推進補助金（デジタル技術を活用した販路開拓や生産性向上に取り組む事業者への支援）	QRコード決済導入支援金（QRコード決済を導入する事業者への支援）	市民を対象としたテイクアウト割引券事業	冬季に市内の指定宿泊施設に宿泊した方にクーポン券を配布	小規模事業者等物価高騰対策支援金	ITツール導入補助金（生産性向上のためにITツールを導入する事業者を支援）	販売促進キャンペーン実施補助金（事業者が企画・実施する販売促進キャンペーンの取組を支援）	農業者肥料高騰対策支援金	自治会の感染症予防対策や子どもの居場所づくりへの支援	不明・無回答	
性別	男性	529 100.0%	165 31.2%	99 18.7%	75 14.2%	127 24.0%	45 8.5%	84 15.9%	91 17.2%	60 11.3%	43 8.1%	220 41.6%	49 9.3%	118 22.3%	13 2.5%	52 9.8%	13 2.5%	16 3.0%	114 21.6%	17 3.2%	28 5.3%	10 1.9%	20 3.8%	63 11.9%	60 11.3%	63 11.9%
	女性	605 100.0%	173 28.6%	101 16.7%	121 20.0%	131 21.7%	38 6.3%	71 11.7%	102 16.9%	98 16.2%	44 7.3%	304 50.2%	52 8.6%	146 24.1%	10 1.7%	63 10.4%	8 1.3%	21 3.5%	175 28.9%	10 1.7%	19 3.1%	4 0.7%	15 2.5%	23 3.8%	48 7.9%	59 9.8%
年代別	10歳代	17 100.0%	5 29.4%	3 17.6%	1 5.9%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%	4 23.5%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%
	20歳代	66 100.0%	17 25.8%	11 16.7%	8 12.1%	13 19.7%	8 12.1%	4 6.1%	7 10.6%	4 6.1%	9 13.6%	30 45.5%	2 3.0%	26 39.4%	0 0.0%	3 4.5%	2 3.0%	6 9.1%	13 19.7%	4 6.1%	3 4.5%	2 3.0%	3 4.5%	1 1.5%	9 13.6%	5 7.6%
	30歳代	106 100.0%	30 28.3%	28 26.4%	42 39.6%	21 19.8%	7 6.6%	32 30.2%	21 19.8%	6 5.7%	4 3.8%	52 49.1%	7 6.6%	41 38.7%	1 0.9%	6 5.7%	2 1.9%	6 5.7%	24 22.6%	4 3.8%	4 3.8%	0 0.0%	3 2.8%	6 5.7%	6 5.7%	11 10.4%
	40歳代	148 100.0%	50 33.8%	28 18.9%	42 28.4%	37 25.0%	8 5.4%	31 20.9%	33 22.3%	9 6.1%	14 9.5%	73 49.3%	17 11.5%	43 29.1%	0 0.0%	10 6.8%	3 2.0%	7 4.7%	40 27.0%	2 1.4%	2 1.4%	1 0.7%	3 2.0%	10 6.8%	7 4.7%	9 6.1%
	50歳代	187 100.0%	51 27.3%	35 18.7%	25 13.4%	47 25.1%	14 7.5%	15 8.0%	26 13.9%	26 13.9%	15 8.0%	87 46.5%	15 8.0%	54 28.9%	5 2.7%	23 12.3%	2 1.1%	9 4.8%	47 25.1%	5 2.7%	5 2.7%	6 3.2%	5 2.7%	8 4.3%	8 4.3%	10 5.3%
	60歳代	272 100.0%	76 27.9%	50 18.4%	28 10.3%	69 25.4%	18 6.6%	31 11.4%	38 14.0%	43 15.8%	18 6.6%	139 51.1%	24 8.8%	67 24.6%	5 1.8%	24 8.8%	7 2.6%	6 2.2%	82 30.1%	3 1.1%	9 3.3%	2 0.7%	10 3.7%	20 7.4%	29 10.7%	31 11.4%
	70歳代	247 100.0%	81 32.8%	34 13.8%	42 17.0%	53 21.5%	20 8.1%	32 13.0%	52 21.1%	49 19.8%	16 6.5%	109 44.1%	27 10.9%	25 10.1%	7 2.8%	36 14.6%	4 1.6%	1 0.4%	67 27.1%	5 2.0%	18 7.3%	1 0.4%	8 3.2%	25 10.1%	36 14.6%	33 13.4%
	80歳以上	93 100.0%	28 30.1%	10 10.8%	9 9.7%	14 15.1%	7 7.5%	8 8.6%	13 14.0%	21 22.6%	11 11.8%	30 32.3%	8 8.6%	5 5.4%	5 5.4%	15 16.1%	1 1.1%	0 0.0%	12 12.9%	4 4.3%	6 6.5%	2 2.2%	3 3.2%	16 17.2%	11 11.8%	22 23.7%
小学区別	柏原小学区	98 100.0%	30 30.6%	17 17.3%	14 14.3%	15 15.3%	8 8.2%	7 7.1%	17 17.3%	20 20.4%	5 5.1%	55 56.1%	9 9.2%	16 16.3%	4 4.1%	8 8.2%	0 0.0%	1 1.0%	25 25.5%	2 2.0%	2 2.0%	0 0.0%	1 1.0%	7 7.1%	10 10.2%	18 18.4%
	大原小学区	138 100.0%	47 34.1%	26 18.8%	24 17.4%	37 26.8%	10 7.2%	29 21.0%	26 18.8%	16 11.6%	11 8.0%	57 41.3%	18 13.0%	29 21.0%	2 1.4%	11 8.0%	1 0.7%	1 0.7%	34 24.6%	4 2.9%	3 2.2%	2 1.4%	5 3.6%	18 13.0%	16 11.6%	10 7.2%
	山東小学区	115 100.0%	37 32.2%	23 20.0%	15 13.0%	25 21.7%	4 3.5%	14 12.2%	14 12.2%	23 20.0%	7 6.1%	54 47.0%	5 4.3%	34 29.6%	1 0.9%	11 9.6%	2 1.7%	4 3.5%	32 27.8%	3 2.6%	2 1.7%	2 1.7%	6 5.2%	9 7.8%	11 9.6%	13 11.3%
	伊吹小学区	72 100.0%	20 27.8%	13 18.1%	7 9.7%	11 15.3%	5 6.9%	6 8.3%	13 18.1%	6 8.3%	6 8.3%	31 43.1%	7 9.7%	13 18.1%	4 5.6%	8 11.1%	3 4.2%	2 2.8%	22 30.6%	1 1.4%	6 8.3%	0 0.0%	2 2.8%	6 8.3%	3 4.2%	14 19.4%
	春照小学区	88 100.0%	29 33.0%	15 17.0%	18 20.5%	30 34.1%	6 6.8%	8 9.1%	17 19.3%	11 12.5%	12 13.6%	38 43.2%	11 12.5%	19 21.6%	1 1.1%	11 12.5%	7 8.0%	2 2.3%	19 21.6%	1 1.1%	5 5.7%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.5%	7 8.0%	6 6.8%
	米原小学区	239 100.0%	62 25.9%	36 15.1%	59 24.7%	49 20.5%	21 8.8%	43 18.0%	42 17.6%	28 11.7%	16 6.7%	111 46.4%	16 6.7%	67 28.0%	2 0.8%	19 7.9%	6 2.5%	10 4.2%	61 25.5%	7 2.9%	13 5.4%	3 1.3%	5 2.1%	19 7.9%	22 9.2%	25 10.5%
	河南小学区	100 100.0%	33 33.0%	13 13.0%	10 10.0%	18 18.0%	9 9.0%	10 10.0%	22 22.0%	21 21.0%	10 10.0%	45 45.0%	12 12.0%	19 19.0%	4 4.0%	12 12.0%	0 0.0%	1 1.0%	25 25.0%	4 4.0%	7 7.0%	4 4.0%	5 5.0%	8 8.0%	10 10.0%	10 10.0%
	息長小学区	107 100.0%	30 28.0%	26 24.3%	10 9.3%	29 27.1%	5 4.7%	10 9.3%	19 17.8%	11 10.3%	10 9.3%	53 49.5%	12 11.2%	25 23.4%	3 2.8%	11 10.3%	1 0.9%	9 8.4%	24 22.4%	1 0.9%	3 2.8%	1 0.9%	5 4.7%	10 9.3%	10 9.3%	7 6.5%
	坂田小学区	175 100.0%	49 28.0%	30 17.1%	39 22.3%	44 25.1%	15 8.6%	27 15.4%	23 13.1%	23 13.1%	10 5.7%	79 45.1%	11 6.3%	42 24.0%	2 1.1%	26 14.9%	2 1.1%	7 4.0%	46 26.3%	4 2.3%	6 3.4%	3 1.7%	6 3.4%	6 3.4%	19 10.9%	17 9.7%

問 37 あなたは、米原市が行った新型コロナウイルス感染症対策全般についての施策をどう評価しますか。(1 つ)

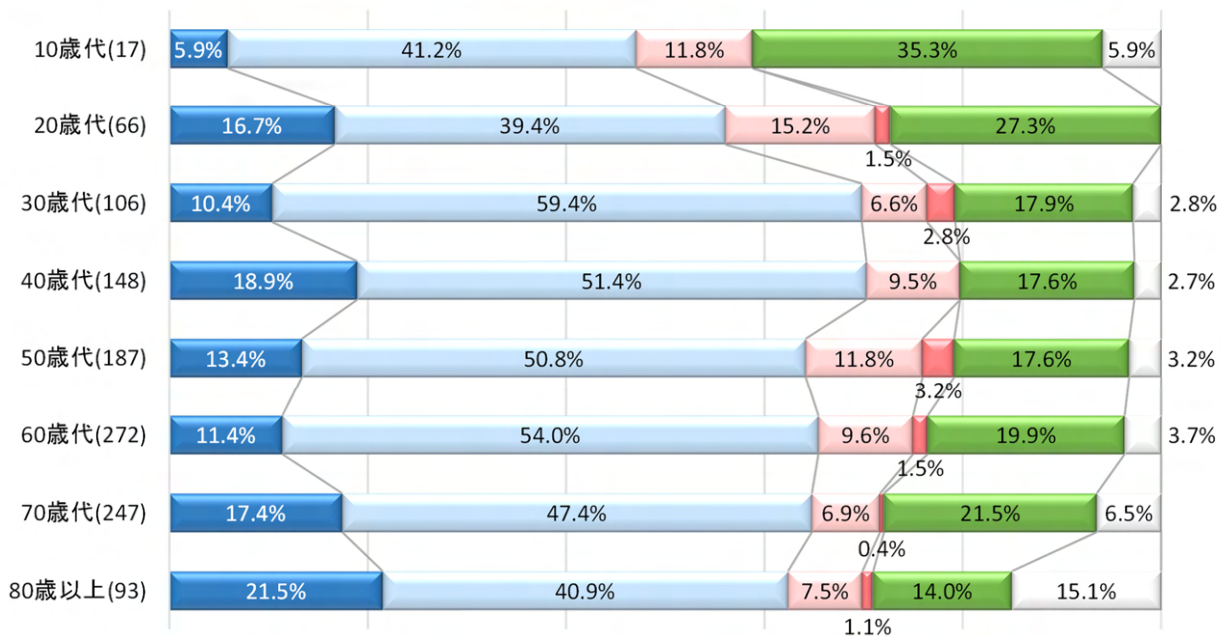
市が行った新型コロナウイルス感染症対策全般についての施策の評価について、「大いに評価する」と「多少評価する」を合わせた『評価する』は6割を超え、市民から評価が得られています。

前回調査と比較すると、『評価する』は10.0ポイント高くなっています。

年代別に見ると、「大いに評価する」は80歳以上で21.5%、「全く評価しない」は50歳代で3.2%と、それぞれ他の年代より高くなっています。



【年代別】

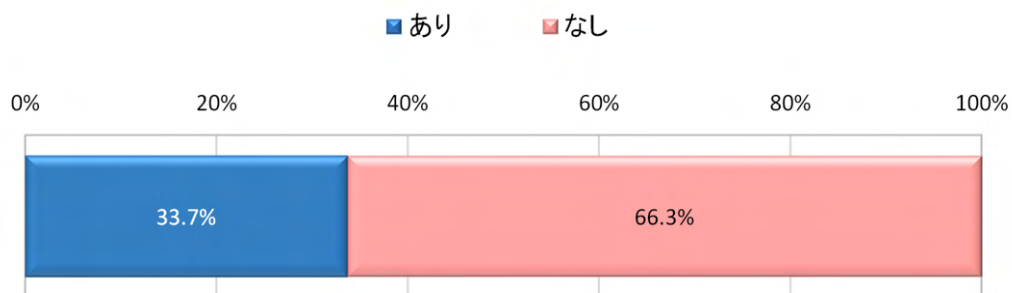


自由記述欄

問 38 あなたが、米原市に住んでいて感じることや、これからのまちづくりに対する意見、またこのアンケートに回答する中で気が付いたことなどを、ご自由にお書きください。

(※自由記述のため未掲載、回答割合は以下のとおりです。)

(N=1,140)



Ⅲ 資料編（調査票）

あなたの調査票番号は、

です。

令和5年度

米原市民意識調査

～ ご協力のお願い ～

日頃から米原市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市民の皆さまの市政に対する評価と、まちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握し、今後の市政運営に当たっての大切な基礎資料とするため、「米原市民意識調査」を実施しています。

今回の調査の実施に当たり、18歳以上の米原市民2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に調査をお願いすることとなりました。

この調査は、無記名で回答していただくものであり、回答の集計結果は、統計的な処理を行いますので、個人が特定されることはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いします。

令和5年4月 米原市

《ご記入にあたってのお願い》

- ◆ ご回答は、封筒のあて名のご本人様をお願いします。ご本人が記入することが難しい場合は、ご本人の意見を聞いて家族の方が代筆されても構いません。
- ◆ ご回答は、調査票での回答またはインターネットでの回答のいずれか1回をお願いします。

➤ 調査票での回答を希望される方

- ・同封の調査票に設問ごとに当てはまる番号を○で囲むか、具体的な内容を記入してください。
- ・記入後は、お名前を書かずに同封の返信用封筒にて郵送してください。（切手は不要です。）

➤ インターネット回答を希望される方

- ・2ページの《インターネット回答のご案内》をご覧ください。
- ・その際必要となる“調査票番号”は、このページの右上に記載してあります。
- ・調査票番号は、アンケートの重複回答を避けるためのものであり、個人を特定するものではありません。

- ◆ 令和5年5月8日（月） までにご回答ください。

注1）返信用封筒に印刷しているバーコードは送付先（市役所）の住所を記号化しているものであり、個人を特定するものではありません。

注2）返信用封筒の郵便番号（〒522-8790）は、今回のアンケートのみに使用される郵便番号であるため、市役所（本庁舎）の郵便番号と異なりますが、誤りではありません。



米原市シンボルキャラクター
ホタルン

お問い合わせ先：米原市役所 政策推進部 政策推進課
住 所：〒521-8501 米原市米原1016番地（本庁舎）
電 話：0749-53-5162 F A X：0749-53-5148
E-mail：sousei@city.maibara.lg.jp

《 インターネット回答のご案内 》

米原市民意識調査にご回答いただく皆さまへ

インターネット回答がご利用いただけます

以下の「Step1」から「Step3」の手順によりアンケートにお答えください。

Step 1 パソコン・スマートフォンなどからアンケートページにアクセスしてください。

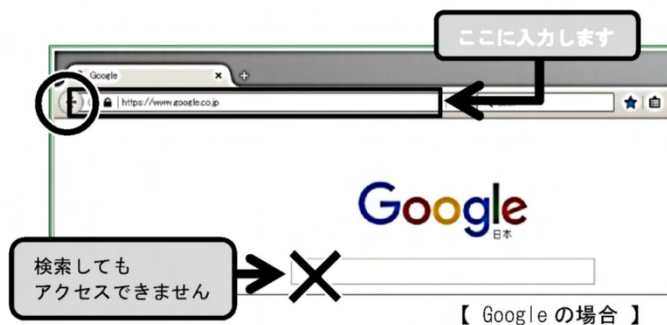
QRコードの読み取りまたはウェブブラウザのインターネットアドレス欄に以下
【アンケートURL】を入力して、アンケートページにアクセスしてください。

【QRコード】



※QRコードの読み取りには、
読み取りアプリが必要です。

【アンケートURL】 https://questant.jp/q/maibara_ishiki2023



Step 2 調査票の右上に記載している、“あなたの調査票番号”（5桁の半角数字）
を入力して、アンケートにご回答ください。

Q 1. “あなたの調査票番号”

Q 1. お送りしている調査票表面に記載されている
“あなたの調査票番号”（5桁の半角数字）を入力してください。
※ 調査票番号は、個人を特定するものではありません。

調査票番号【必ず回答】

● ● ● ● ●

（半角英数字）

※この番号は、個人を特定するものではありません。

《 申請書入力画面 》

Step 3 アンケート入力後、確認の上“送信”をクリックしてください。

インターネット回答では、アンケートの入力がしやすく、かつ、回答集計の精度を高める
ため、設問数が多く表示されますが、調査票と設問内容は変わりありません。

インターネット回答の入力は以上です。

米原市民意識調査 アンケート調査票

インターネットでの回答もできます。2ページの《インターネット回答のご案内》をご覧ください。

あなた自身のことについて、お伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は満でいくつですか。(1つ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたのご職業は何ですか。(1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 会社員・公務員・団体職員など | 2. 自営業（農業等含む。） |
| 3. パート・アルバイト | 4. 家事従事者 |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他 | |

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 柏原小学区 | 2. 大原小学区 | 3. 山東小学区 |
| 4. 伊吹小学区 | 5. 春照小学区 | 6. 米原小学区 |
| 7. 河南小学区 | 8. 息長小学区 | 9. 坂田小学区 |

各小学校区は、下記に示す4つの地域に含まれています。

1～3学区：山東地域、4～5学区：伊吹地域、6～7学区：米原地域、8～9学区：近江地域

問5 あなたのご家族の構成はどれですか。また、「3.親と子(2世代世帯)」、「4.3世代以上の世帯」と答えられた方は15歳以下の子どもが「いる」、「いない」についてもお答えください。

(1つ)

- | |
|---|
| 1. 一人暮らし（単身世帯） |
| 2. 夫婦のみ（1世代世帯） |
| 3. 親と子（2世代世帯）→→→→ 15歳以下の子ども（ いる ・ いない ） |
| 4. 3世代以上の世帯 →→→→→ 15歳以下の子ども（ いる ・ いない ） |
| 5. その他（具体的に： _____ ） |

問6 あなたは、いつから米原市にお住まいですか。 **(1つ)**

1. 生まれてからずっと米原市に住んでいる
2. 米原市に生まれて、市外に転出後、再び米原市に転入した
3. 市外で生まれて、米原市に転入した

問7 あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか。 **(1つ)**

1. これからも住みたい →→→→ **【付問1 へお進みください。】**
2. 当分の間は住みたい →→→→ **【付問1 へお進みください。】**
3. 機会があれば市外へ出たい
4. すぐにでも市外へ出たい
5. わからない

付問1【問7で「1」、「2」と答えられた方】 今後も住みたい理由は何ですか。
(4つまで)

1. 永く住んでいて愛着があるから
2. 先祖から受け継いだ土地があるから
3. 自然環境が良いから
4. 通勤、通学に便利だから
5. 買い物や生活施設などが整っていて便利だから
6. 家賃が手頃な値段だから
7. 福祉や医療の条件が整っているから
8. 親が近くに住んでいるから
9. 親類・知人が近くに住んでいるから
10. 米原市の未来に希望が持てるから
11. その他（具体的に： ）

まちづくり全般について、お伺いします。

問8 あなたは、市のまちづくりの基本ルールである「米原市自治基本条例※」をご存じですか。
(1つ)

1. 内容までよく知っている 2. 知っている 3. 知らない

※米原市自治基本条例：米原市のまちづくりにおける基本理念を定めた条例です。

市のまちづくりについて、お伺いします。

問 9 市では、次に示す 34 項目の施策に取り組んでいます。

あなたは、次の各項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたの考えに一番近い番号を「1～5」の中からそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。難しく考えずに、イメージでお答えください。

(満足度と重要度にそれぞれ1つ)

施策（設定項目）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	普通である	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	普通である	あまり重要でない	重要でない
【記入例】 満足度と重要度のそれぞれの番号に○をつけてください。	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
「1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり」について										
1 子育て・子育て支援の充実 地域全体で子どもの育ちや子育てを支援できる環境づくりを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 地域福祉の推進 市民がともに支え合う地域社会の実現を目指し、市民の地域福祉活動を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 高齢者福祉の推進 住みなれた地域で安心して生き生きと暮らせるように、高齢者福祉の充実を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 障がい者福祉の充実 生活支援や自立支援、相談支援体制など、障がい者福祉の充実を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 健康づくりの推進 健康に関する教育、指導、相談体制を整え、地域全体の健康づくりを推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 地域の医療体制の充実 各医療機関との連携および役割分担により、地域の医療体制の充実を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり」について										
7 教育内容、施設の充実 就学前保育・教育、学校教育の内容の充実を図り、教育環境を整えます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 家庭・学校・地域の連携推進 地域の特性に応じた学校運営を推進し、家庭・地域の教育力を強化します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 生涯学習の推進 市民が生涯学習に取り組みやすい環境づくりを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 歴史・文化の継承と活用 地域固有の歴史・文化遺産を次代に引き継ぐため、保全と情報発信を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

★この質問は裏面に続いています。引き続きお答えください。

施策（設定項目）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	普通である	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	普通である	あまり重要でない	重要でない
【記入例】 満足度と重要度のそれぞれの番号に○をつけてください。	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
11 文化・芸術の振興 市民が文化、芸術に触れる機会の充実に取り組み、文化・芸術活動の活性化を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 スポーツの推進 米原らしさを生かしたスポーツの推進とともに、市民が親しみ楽しめるスポーツの振興を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 人権の尊重 同和問題、子ども、女性、高齢者、障がい者などの人権全般に対する理解や認識を深めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、個性や能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 多文化共生の推進 国際交流や外国籍市民との交流機会を増やし、ともに暮らしやすいまちを目指します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり」について										
16 自然環境の保全 自然に対する市民の意識を高め、豊かな自然環境を保全します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 生活環境の保全 身近な生活環境を守り、公害やごみのない快適で美しいまちを目指します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 循環社会の推進 ごみの減量や再資源化など、持続可能な循環型社会づくりを推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 新エネルギーの導入 太陽光、水力、森林資源など、地域資源を生かした新エネルギーの活用を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 やすらぎ環境の整備 景観の保全や公園整備などにより、市民にとってやすらぎのある環境整備を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 災害に強いまちづくりの推進 地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進 犯罪や交通事故の防止対策に取り組み、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

施策（設定項目）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足である	やや満足である	普通である	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	普通である	あまり重要でない	重要でない
【記入例】 満足度と重要度のそれぞれの番号に○をつけてください。	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
「4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり」について										
23 観光・イベントの振興 来訪者を増やし、まちのにぎわいを高めるため、観光やイベントの振興を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 農林水産業の振興 地産地消の推進や、付加価値の高い農林水産物の生産により、にぎわいのあるまちを創出します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 商工業の振興 立地条件や地域資源を生かし、にぎわいと魅力のある商工業を創出します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26 就労環境の整備 企業誘致の推進や企業活動への支援などにより、多様な雇用機会を創出します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり」について										
27 広域的な交流機能の整備 交通の要衝である強みを生かし、人や産業が集まる広域的な交流機能の整備を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28 持続可能な公共交通 適正な利用者負担と市の財政負担とのバランスに留意して、利便性の高い持続可能な公共交通を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29 快適な住環境の整備 計画的な都市づくりにより、良好で快適な住環境の整備を図ります。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30 市内への移住・定住の促進 移住希望者への総合相談窓口の設置や、空家などを活用した移住定住支援を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31 道路網の整備 市民の利便性向上のため、計画的な道路網の整備を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「6. まちづくりを進めるための基盤」について										
32 市民との情報共有の推進 様々な情報提供手段を活用し、市民との情報共有を進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33 市民と行政との協働のまちづくりの推進 市民と行政が対等な立場で協力し、市民自身が積極的に参画するまちづくりを進めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34 行財政改革の推進 財政基盤の強化、行政組織のスリム化、重点事業の集約化など行財政改革を推進します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

「1. 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり」に関する設問です。

問10 あなたは、米原市を子育てしやすいまちだと思いますか。 **(1つ)**

- | | | |
|---------------------------|------------------------|--------|
| 1. 思う | 2. まあ思う | 3. ふつう |
| 4. あまり思わない→【付問2へお進みください。】 | 5. 思わない→【付問2へお進みください。】 | |
| 6. わからない | | |

付問2【問10で「4」、「5」と答えられた方】 子育てにくいところはどんなところですか。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 子どもが安心して遊べる場所が少ない | 2. 子育てに関する情報が少ない |
| 3. 地域や近所の子育て支援が少ない | 4. 学校などの教育環境が整っていない |
| 5. 経済的な手当て・支援が少ない | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

問11 市内で実施している子育て支援に関する相談場所をいくつご存じですか。
(あてはまるものすべて)

- | |
|--------------------------|
| 1. 「子育て支援センター」の子育て相談 |
| 2. 「米原市役所子育て支援課」の子ども家庭相談 |
| 3. 「子育て世代包括支援センター」の相談 |
| 4. 「発達支援センター」の相談 |
| 5. すべての相談場所を知らない |

問12 あなたは、「手と手をつなぐ 米原市手話言語条例※」をご存じですか。 **(1つ)**

- | | | |
|----------------|----------|---------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. 知っている | 3. 知らない |
|----------------|----------|---------|

※手と手をつなぐ 米原市手話言語条例：

手話に対する理解の促進、手話を使用しやすい環境の構築を図り、聴覚障がいの有無にかかわらず、安心して心豊かに暮らすことができる共生社会の実現を目指すため、制定された条例。

「2. とともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり」に関する設問です。

問13 市では、市民のみなさんの生涯学習および交流の推進を図るため、公民館の利用制限を緩和し、営利や宣伝目的等にも幅広く利用できるよう、「学びあいステーション」とし、運用後2年が経過しました。

この学びあいステーションについて、お聞きます。

あなたは、この1年間で、学びあいステーション（米原学びあいステーション、近江学びあいステーション、山東学びあいステーション、伊吹薬草の里文化センター（伊吹学びあいステーション）を利用したことがありますか。 **(1つ)**

1. よく利用している（週1回以上の利用）
2. ときどき利用している（月数回程度の利用）
3. あまり利用していない（年数回程度の利用）
4. 利用したことがない

問14 あなたは、1か月に何冊くらい本を読みますか。 **(1つ)**

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 0冊 | 2. 1～2冊 | 3. 3～5冊 |
| 4. 6～10冊 | 5. 11～20冊 | 6. 21冊以上 |

問15 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度で運動、体操やスポーツを行いましたか。 **(1つ)**

1. ほとんど毎日 →→→→ **【付問3へお進みください。】**
2. 週に1～2日程度 →→→→ **【付問3へお進みください。】**
3. 月に1～2日程度 →→→→ **【付問3へお進みください。】**
4. ほとんどしなかった

付問3【問15で「1～3」と答えられた方】 どのような運動、体操、スポーツを行いましたか。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. ウォーキング・散歩 | 2. ラジオ体操・美容・健康体操 |
| 3. ランニング | 4. ヨガ・ダンス |
| 5. 競技スポーツ | 6. グラウンドゴルフなどのレクリエーションスポーツ |
| 7. その他（具体的に： | ） |

問16 あなたは、職場や地域で女性が活躍できる環境が整っていると思いますか。 **(1つ)**

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. どちらでもない |
|---------|-----------|------------|

問17 あなたは、市が「非核・平和都市宣言のまち※」であることをご存じですか。 **(1つ)**

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※非核・平和都市宣言：米原市は、「非核・平和都市」を宣言し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

「3. 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり」に関する設問です。

問18 あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。 **(1つ)**

1. 内容まで知っている
2. SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴ・アイコンを見たことがある
3. 知らない

問19 あなたは、「米原市営保護条例」で、市内全域がホテルの保護区域に定められていることをご存じですか。 **(1つ)**

1. 知っている
2. 知らない

問20 市では、市のシンボルとなるような市民公園づくりの検討を進めています。あなたは、どのような公園があればよいと思いますか。 **(3つ)**

1. 花や緑がたくさんある公園
2. 静かで落ち着いた公園
3. 子どもが安心して遊べる公園
4. 大型の遊具がある公園
5. 様々なイベントが開催される公園
6. 地域の行事が開催できる公園
7. 災害時の拠点となる防災機能を持つ公園
8. 軽い運動や健康づくりに取り組める公園
9. グラウンドや球場などがあり、総合的なスポーツが楽しめる公園
10. カフェやレストランがあり、家族や友人との交流ができる公園
11. その他（具体的に： _____）

問21 あなたは、災害時の市からの情報伝達体制は十分だと思いますか。 **(1つ)**

1. 十分である
2. まあ十分である
3. やや不十分である
4. 不十分である

問22 自分でできる災害対策として、日頃から何を備えていますか。 **(あてはまるものすべて)**

1. 家族との連絡方法
2. 近隣住民との連絡方法
3. 家具の固定、ガラス飛散防止などの屋内対策
4. 家屋の耐震化
5. 防災情報やニュースなど災害情報の取得
6. 避難訓練などへの参加
7. 防災備蓄品の準備
8. 避難場所（自治会、広域）や避難経路の確認
9. その他（具体的に： _____）

問23 市では、市からの防災情報を屋外スピーカーやスマートフォンアプリなどを活用して文字や音声でお知らせする防災情報伝達システムを整備しています。

あなたは、市からの防災情報を得るために何を利用していますか。 **(あてはまるものすべて)**

1. 屋外スピーカー
2. スマートフォン・携帯電話（防災アプリ）
3. 画面付の戸別受信機器（防災タブレット）
4. 電話確認システム（放送内容の音声確認）

問24 問23のほか、あなたはどのような方法で防災情報を得ていますか。 **(あてはまるものすべて)**

- | | | |
|---------------|-------------------------------|---------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 2. SNS (Twitter, Facebook など) | |
| 3. 市の公式ウェブサイト | 4. 伊吹山テレビ | 5. 自治会からの呼びかけ |
| 6. 家族からの連絡 | 7. 他にない | |
| 8. その他(具体的に: | |) |

問25 あなたは、米原市の水道水はおいしいと思いますか。 **(1つ)**

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらかといえば思わない | 4. 思わない |

「4. 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり」に関する設問です。

問26 あなたは、米原市を訪れる観光客など、お客さんを快く受入れていますか。 **(1つ)**

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| 1. 快く受け入れている | 2. 快く思わない | 3. どちらでもない |
|--------------|-----------|------------|

「5. 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり」に関する設問です。

問27 あなたは、市内を運行する路線バスを利用したことがありますか。 **(1つ)**

- | |
|---|
| 1. よく利用している (週1回以上の利用) |
| 2. ときどき利用している (月数回程度の利用) |
| 3. あまり利用していない (年数回程度の利用) →→→→【付問4へお進みください。】 |
| 4. 利用したことがない →→→→→【付問4へお進みください。】 |

付問4【問27で「3」、「4」と答えられた方】 利用していない理由(利用数が少ない理由)などをお聞かせください。 **(あてはまるものすべて)**

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. ほかの移動手段で移動するため | 2. 運行本数が少なく、時間が合わないため |
| 3. 路線バスの停留所が近くにないため | 4. 目的とする行き先に停留所がないため |
| 5. 運賃が高いため | 6. 今後は利用したい・利用を増やしたい |
| 7. 路線バスの運行を知らない | |
| 8. その他(具体的に: |) |

問28 あなたは、乗合タクシー(まいちゃん号)を利用したことがありますか。 **(1つ)**

- | |
|---|
| 1. よく利用している (週1回以上の利用) |
| 2. ときどき利用している (月数回程度の利用) |
| 3. あまり利用していない (年数回程度の利用) →→→→【付問5へお進みください。】 |
| 4. 利用したことがない →→→→→【付問5へお進みください。】 |

付問5【問28で「3」、「4」と答えられた方】 利用していない理由（利用数が少ない理由）などをお聞かせください。（**あてはまるものすべて**）

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. ほかの移動手段で移動するため | 2. 運行本数が少なく、時間が合わないため |
| 3. まいちゃん号の停留所が近くにないため | 4. 目的とする行き先に停留所がないため |
| 5. 予約手続きが面倒なため | 6. 利用料金が高いため |
| 7. 今後は利用したい・利用を増やしたい | |
| 8. 乗合タクシー（まいちゃん号）の運行を知らない | |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

「6. まちづくりを進めるための基盤」に関する設問です。

問29 あなたご自身またはご家庭で利用している情報通信機器はどれですか。

（**あてはまるものすべて**）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. スマートフォン | 2. 携帯電話（スマートフォンを除く。） |
| 3. 固定電話 | 4. パソコン |
| 5. タブレット（タブレット型PC、タブレット型端末） | |
| 6. ゲーム機器（インターネットに接続できるもの） | |
| 7. ウェアラブル端末（体に身につける端末） | |

問30 市では、様々な方法により情報発信をしています。あなたは、どの程度ご覧になりますか。

1～11のそれぞれの項目についてお答えください。（**それぞれ1つ**）

設問項目	かかさず 見ている	見ることが 多い	見ることが 少ない	知っているが 見たことがない	知らない
【記入例】	1	②	3	4	5
1. 広報まいばら	1	2	3	4	5
2. 市の公式ウェブサイト	1	2	3	4	5
3. 伊吹山テレビ	1	2	3	4	5
4. 防災アプリ	1	2	3	4	5
5. 市公式Facebook ページ	1	2	3	4	5
6. 市公式You Tube	1	2	3	4	5
7. 市公式インスタグラム	1	2	3	4	5
8. 議会だより	1	2	3	4	5
9. 議会生中継 （伊吹山テレビ・ウェブ録画配信）	1	2	3	4	5
10. 市発行のパンフレット類	1	2	3	4	5
11. 市政情報プラザ	1	2	3	4	5

問3 1 市の情報発信について充実させてほしいことは何ですか。 **(1つ)**

- | | | |
|---------------------------|--------------|---------------|
| 1. 情報の種類を増やす | 2. 内容のわかりやすさ | 3. 情報発信のタイミング |
| 4. 見る人に合った手段（情報ツール）での情報提供 | 5. 特にない | |
| 6. その他（具体的に：_____） | | |

問3 2 あなたは、個人番号カード（マイナンバーカード）を持っていますか。 **(1つ)**

- | |
|--|
| 1. 持っている（申請中を含む。） |
| 2. 持っていないが、作りたいと思う |
| 3. 持っていないが、作りたいと思わない →→→ 【付問6へお進みください。】 |
| 4. 個人番号カード（マイナンバーカード）のことを知らない |

付問6 【問3 2で「3」と答えられた方】 「作りたいと思わない」とする理由をお答えください。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 個人番号カードを利用するメリットが分からない | 3. 通知カード（紙製のもの）がある |
| 2. 自分の個人情報が漏れないか不安 | 5. 作るのに手間がかかる |
| 4. 紛失した際に悪用されないか心配 | |
| 6. 作り方がわからない | |

問3 3 あなたは、これまでにまちづくり活動に参加・参画したことがありますか。また、参加・参画したことがない方は、今後のお考えについてお答えください。 **(それぞれ1つ)**

設問項目	すでに 参加・参画している	今後は、 参加・参画したい	今後も、 参加・参画できない	わからない
【記入例】	1	②	3	4
1. 地域イベントへの参加 （市のイベント、自治会行事など）	1	2	3	4
2. 特技や知識を生かしてボランティア活動を実施 （お話ボランティア、観光ボランティアガイド、 スクールガードなど）	1	2	3	4
3. 地域まちづくり活動への参画 （NPO、自治会、市民団体など）	1	2	3	4

問3 4 あなたは、市役所職員の対応はよいと思いますか。 **(1つ)**

- | | | |
|------------|---------|----------|
| 1. 思う | 2. まあ思う | 3. ふつう |
| 4. あまり思わない | 5. 思わない | 6. わからない |

人口減少対策について、お伺いします。

問35 人口減少に立ち向かい、持続可能な社会を目指して、米原市がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次のA～Dについて、それぞれお答えください。

A. 地域経済の活性化に関する取組（2つまで）

1. 生産性向上や商圈拡大の支援などによる商工業の振興
2. 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新産業の創出
3. 米原駅周辺の都市機能強化によるまちの活性化
4. 6次産業化※やブランド化による農林水産業の振興
5. 自然や歴史など、市の資源を活かした観光産業の振興
6. その他（具体的に： _____）

※6次産業化：農林漁業者（第1次産業）が、生産の価値を高めるために加工・ブランド化（第2次産業）などを行い、流通・販売すること（第3次産業）で利益を向上させること。

B. 人口の流出抑制と流入促進に関する取組（2つまで）

1. 移住・定住やUターンを促進する取組
2. 商業施設や娯楽施設の誘致などによる地域のにぎわいづくり
3. 起業など若者がチャレンジしやすい環境の整備
4. 住宅地の供給と空き家の有効活用
5. 子どもの教育環境の整備と、ふるさとへの誇りや愛着の醸成
6. その他（具体的に： _____）

C. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組（2つまで）

1. 妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備
2. 保育料軽減や奨学金制度など、子育て・教育における経済的負担の軽減
3. 結婚につながる出会いの機会の創出
4. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
5. 病児・病後時保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実
6. その他（具体的に： _____）

D. 安心して暮らせる地域づくりに関する取組（2つまで）

1. 自治会や地域活動の活性化など地域のつながりがある社会づくり
2. 地域の防災、防犯、治安の向上に向けた住民同士のネットワークづくり
3. 生活に必要な機能やサービスの集積を図る地域の拠点※づくり
4. 買い物・通院などが不便・困難な地域への生活上の不便を解消する施策の充実
5. 介護予防や認知症予防など健康寿命※の向上を目指す取組
6. その他（具体的に： _____）

※地域の拠点：日常生活に必要な商業・サービスをはじめ、行政・福祉、観光などの機能を地域の特性に応じて駅周辺などに集積する地域の拠点づくりを推進し、近隣集落と公共交通ネットワークで結ぶことを目指す取組。

※健康寿命：日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間のこと。

新型コロナウイルス感染症対策について、お伺いします。

問36 あなたは、米原市が行った新型コロナウイルス感染症対策の個別の施策について、どの施策を評価しますか。 **(5つまで)**

1. 就学支援・奨学支援臨時給付金
(収入が著しく減少した世帯の子どもが安心して学校生活を送れるように支援)
2. 学校休業等対応緊急応援金 (保育のために無給の休暇を取得した方への支援)
3. 子育て世帯へ米原のお米を配達
4. 新型コロナウイルス濃厚接触者等無給休業支援金
(感染者または濃厚接触者となったことに伴い、無給の休暇を取得した方への支援)
5. 国保子育て世帯応援金 (国民健康保険に加入している子育て世帯への支援)
6. 子育て世帯物価高騰対策支援金 (児童手当を受けている方への支援)
7. 給食食材費の価格高騰に対し、保護者負担金に影響を与えないための支援
8. 介護用品購入支援事業 (要介護認定を受けている方などへの支援)
9. 障がい者 (児) の移送経費負担軽減のための支援
10. 自治体マイナポイント事業 (マイナンバーカード取得者にポイントを付与)
11. 感染症対策補助金 (事業者の感染症対策への支援)
12. キャッシュレス決済ポイント還元事業 (PayPay のポイント還元事業)
13. ふるさと納税特産品開発等事業費補助金 (特産品開発等に取り組む事業者への支援)
14. 小規模事業者減収緩和支援金 (売上が減少した事業者への支援)
15. デジタル化推進補助金
(デジタル技術を活用した販路開拓や生産性向上に取り組む事業者への支援)
16. QR コード決済導入支援金 (QR コード決済を導入する事業者への支援)
17. 市民を対象としたテイクアウト割引券事業
18. 冬季に市内の指定宿泊施設に宿泊した方にクーポン券を配布
19. 小規模事業者等物価高騰対策支援金
20. IT ツール導入補助金 (生産性向上のために IT ツールを導入する事業者を支援)
21. 販売促進キャンペーン実施補助金
(事業者が企画・実施する販売促進キャンペーンの取組を支援)
22. 農業者肥料高騰対策支援金
23. 自治会の感染症予防対策や子どもの居場所づくりへの支援

問37 あなたは、米原市が行った新型コロナウイルス感染症対策全般についての施策をどう評価しますか。 **(1つ)**

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 大いに評価する | 2. 多少評価する | 3. あまり評価しない |
| 4. 全く評価しない | 5. わからない | |

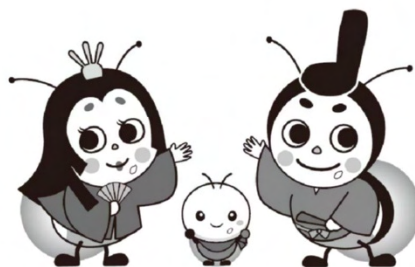
自由記述欄

問38 あなたが、米原市に住んでいて感じることや、これからのまちづくりに対する意見、またこのアンケートに回答する中で気が付いたことなどを、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。

この冊子を返信用封筒に入れ、**5月8（月）まで**に郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。



米原市シンボルキャラクター
ホタルン



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。